

Trinitron[®] ***Color Video Monitor***

取扱説明書 2 ページ	JP
Instructions for Use page 20	GB
Mode d'emploi page 34	FR
Gebrauchsanweisung seite 50	DE
Manual de instrucciones página 66	ES
Instruzioni per l'uso pagina 82	IT
使用说明书 98 页	CS



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しております。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Trinitron

**PVM-9L3
PVM-9L2
PVM-14L2
PVM-20L2**

安全のために

ソニーのモニターは正しく使用すれば事故が起きないよう、安全には充分配慮して設計されています。しかし、内部に非常に高い電圧を使用しているので、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4 ~ 6 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。

7 ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期点検をする

5 年に 1 度は、内部の点検を、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください(有料)。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・モニターを落としたり、キャビネットを破損したときは

- ① 電源を切る。
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



注意 火災 感電 破裂 高温

行為を禁止する記号



禁止 分解禁止 水ぬれ禁止 ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示 フラグをコンセントから抜く

目次

使用上のご注意（モニターの性能を保持するために）	7
磁気に対するご注意	7
ブラウン管について	7
クリーニングについて	7
ラックマウントについて	7
特長	7
接続	8
電源コードの取り付けかた	8
各部の名称と働き	9
操作パネル	9
背面パネル	10
メニュー表示言語の切り換え	11
メニューの操作方法	12
メニューを使った調整	13
項目一覧	13
調整と設定	13
設定状態メニュー	13
ホワイトバランスメニュー	14
ユーザーコントロールメニュー	14
ユーザー設定メニュー	14
リモートメニュー	15
オプション設定メニュー	15
故障かな？と思ったら	16
保証書とアフターサービス	16
保証書	16
アフターサービス	16
主な仕様	16
寸法図	i
バッテリーの取り付けかた	
(PVM-9L3/PVM-9L2 のみ)	裏表紙

この取扱説明書について

本書は、以下のカラービデオモニターに共通のものです。

- PVM-9L3 (9 インチモニター)
- PVM-9L2 (9 インチモニター)
- PVM-14L2 (14 インチモニター)
- PVM-20L2 (20 インチモニター)

上記機種で説明が異なる場合は、別々に説明してありますので該当する部分をお読みください。

本書のイラストは、特に表示のない場合すべて PVM-14L2 を使用しています。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

⚠️ 警告



火災

感電

下記の注意を守らないと、火災や感電で大けがにつながることがあります。



キャビネットをはずさない、改造しない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたなどをはずしたり、改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の調整や設定、点検、修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。



指示

規定の電源電圧で使う

取扱説明書に記されている電源電圧でお使いください。

DC（直流）電源で動作できるモニターは、取扱説明書に記されている電源アダプターあるいはバッテリーパックでお使いください。

規定外の電源電圧での使用は、火災や感電の原因となります。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。

この取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。



指示

ラックマウント時は専用ブレーカーを取り付ける

ラックマウント時は前面より電源を切ることができません。設置の際は専用ブレーカーを取り付けて使用してください。



禁止

ラックマウントした機器を、2台以上同時に引き出さない

2台以上同時に引き出すと、機器の重みでラックが転倒し、けがの原因となります。

一度にラックから引き出すのは1台だけにしてください。

また、ラックが転倒・移動しないように適切な処置をとってください。

⚠ 注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



注意

接続の際は電源を切る

電源コードや接続ケーブルを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。



注意

指定された電源コード、接続ケーブルを使う

付属の、あるいは取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。他の電源コードや接続ケーブルを使用する場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



注意

バッテリーパックは確実に取り付ける

本機に AC/DC 電源やリチウムイオンバッテリーパックを取り付けるときは、この取扱説明書の該当する箇所をよく読んだうえ確実に取り付けてロックしたことを確認してください。取り付け方法を誤ると落下してけがをすることがあります。



禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 壁から 10cm 以上離して設置する。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・ 布などで包まない。
- ・ あお向けや横倒し、逆さまにしない。



水ぬれ禁止

水のある場所に設置しない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となることがあります。雨天や降雪中、海岸や水辺での使用は特にご注意ください。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、モニターが落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

真夏の、窓を閉め切った自動車内では 50 を越えることがありますので、ご注意ください。



注意

モニターは、2人以上で開梱・運搬する

モニターは見た目より重量があります。開梱や運搬は、けがや事故を防ぐため、必ず2人以上で行ってください。1人で行うと腰を痛めることができます。



注意

転倒、移動防止の処置をする

モニターをラックに取り付け・取りはずしをするときは、転倒・移動防止の処置をしないと、倒れたり、動いたりして、けがの原因となることがあります。安定した姿勢で注意深く作業してください。

また、ラックの設置状況、強度を充分にお確かめください。



禁止

モニターの上に乗らない、重いものを載せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。



注意

移動させるときは電源コード、接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると、電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



注意

定期的に内部の掃除を依頼する

長い間掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。

特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。



注意

電源プラグは突きあたるまで差し込む

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。



アース線を接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電することができます。

次の方法でアースを接続してください。
指定の電源コードから出ている緑色のアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。

安全アースを取りつけることができない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

電池についての安全上のご注意

ここでは、PVM-9L3/PVM-9L2での使用が可能なソニー製リチウム電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

煙が出たら

- ① 機器の電源スイッチを切る。
- ② ソニーのサービス担当者に連絡する。

電池の液が目に入ったら

すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。

電池の液が皮膚や衣服に付いたら

すぐにきれいな水で洗い流す。

バッテリー収納部内で液が漏れたら

よくふき取ってから、新しい電池を入れる。

⚠ 危険



破裂

高温

下記の注意事項を守らないと、破裂・発火・発熱・液漏れにより、死亡や大けがになることがあります。

- ・ 火中に投入、加熱、はんだ付けをしない。
- ・ 分解、改造をしない。
- ・ 直射日光の当たるところ、炎天下の車、ストーブのそばなど高温の場所で、使用・放置・充電をしない。
- ・ ハンマーでたたくなどの強い衝撃を与えたり、踏みつけたりしない。
- ・ 接点部や \oplus 極と \ominus 極をショートさせたり、金属製のものと一緒に携帯・保管をしない。

⚠ 警告



破裂

高温

下記の注意事項を守らないと、破裂・発火・発熱・液漏れにより、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。

- ・ 電池使用中や保管時に異臭がしたり、発熱・液漏れ・変色・変形などがあったときは、すぐに使用や充電をやめ、火気から遠ざける。

使用上のご注意（モニターの性能を保持するために）

磁気に対するご注意

- ・磁気を発生するものを近づけないでください。画面が揺れたり、色が乱れたりすることがあります。
- ・モニターの設置の向きによっては、画面が傾いたり、色が乱れることがあります、故障ではありません。このときは、一度電源を切り、再び電源を入れてください。自動消磁されます。または操作パネルの DEGAUSS (消磁) ボタンを押して消磁することもできます。DEGAUSS ボタンについて詳しくは、9 ページの ⑯ DEGAUSS ボタンをご覧ください。

ブラウン管について

- ・柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。手の油や指紋などは水で薄めた中性洗剤溶液を含ませた柔らかい布で拭いてください。
- ・表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたり、ものをぶつけたりしないでください。研磨剤を含むもの、アルカリ系洗剤、アルコールやベンジン、シンナーなどを含んだ溶剤は、表面を傷める原因になる恐れがありますのでご使用にならないでください。

クリーニングについて

- ・お手入れの際は、必ず電源を切って電源プラグを抜いてください。
- ・キャビネットの汚れがひどいときは、水で 5 ~ 6 倍に薄めた中性洗剤液に柔らかい布をひたし、かたくしぼってから汚れを拭きとります。このあと乾いた布でから拭きしてください。
- ・シンナーやベンジンなどの薬品類は、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがありますので、使用しないでください。

ラックマウントについて

ラックマウント時は、モニターの性能維持のため上下に 1 U 空けて、通気孔の確保や通気ファンの設置を行ってください。

特長

画像

解像度

トリニトロン¹⁾管の採用により、中心部の解像度が 600 本以上の画像が得られます。（PVM-14L2/PVM-20L2 のみ）

くし形フィルター

くし形フィルターの採用により、NTSC 信号のクロスカラー妨害（文字のまわりの虹）やカラーノイズ（色のにじみ）をなくし、きめ細かで透明度の高い画像が得られます。

ピームカレントフィードバック回路

長期間安定したホワイトバランスが得られます。

2 カラー方式

NTSC、PAL の 2 つのカラー方式に自動で切り換わります。

入力

アナログ RGB / コンポーネント入力端子（PVM-14L2 / PVM-20L2 のみ）

ビデオ機器のアナログ RGB、コンポーネント信号を入力できます。操作パネルの RGB/COMPONENT ボタンを押してモニターします。

Y/C 入力端子（S 入力端子）

ビデオ機器などの映像信号を、輝度信号（Y）と色信号（C）の 2 つに分離したまま入力できます。これにより、色のにじみやちらつきの少ない、鮮明な画像が得られます。

拡張可能な入力機能

本機背面のオプションスロットに別売りの入力拡張用オプションボードを装着することで、入力系統を容易に拡張できます。入力拡張用オプションボードは 1 枚のみ装着できます。2 枚装着すると、機能しません。

外部同期信号入力端子

外部同期信号発生器などからの同期信号を入力できます。操作パネルの EXT SYNC ボタンを押すと、外部同期で動作します。

1) “トリニトロン”はソニー株式会社の登録商標です。

自動終端解放（Wマーク付きの端子）

後面の入力端子は、出力端子に何も接続していないときは、内部的に 75Ω で終端されています。出力端子にケーブルが接続されると、内部の終端が自動的に解放され、入力端子に入力された信号が出力端子に出力されます（ループスルー）。

機能

オートクロマ・フェーズ機能を標準装備

色の濃さ（クロマ）や色相（フェーズ）を自動調整する機能を標準装備しています。

ブルーオンリーモード

ブルーオンリーモードにすると、入力信号の青色成分が表示されます。色の濃さ（クロマ）や色相（フェーズ）の調整、VTR ノイズの監視に便利です。

アンダースキャンモード

通常、画面外に走査されている信号まで画面に表示し、画像全体をモニターすることができます。

ご注意

アンダースキャン時に、画面上端に赤青緑の走査線が見えますが、これは本体内部の動作によるものです。

16:9 表示モード

横縦比 4:3 の信号だけでなく、横縦比 16:9 の入力信号を正しくモニターすることができます。

自動 / 手動消磁機能

ブラウン管は、電源投入時に自動的に消磁されます。また、DEGAUSS ボタンを押すと手動で消磁できます。電源投入後から、自動的に消磁されるまでの時間をメニューで設定することもできます。

スクリーンメニュー機能

画面にメニューを出して、接続するシステムに最適なモニターの設定や調整をすることができます。

オプション

EIA 規格の 19 インチラックに収納可能

別売りのマウンティングブラケット MB-520 (PVM-9L3/PVM-9L2 用) / MB-502B (PVM-14L2 用) またはスライドレール SLR-103A (PVM-20L2 用) を使用すると、EIA19 インチラックにマウントすることができます。

マウント方法についてはマウンティングブラケットまたはスライドレールの取扱説明書をご覧ください。

キャッシュビジョン（クローズド・キャッシュビジョン）デコーダー対応可能

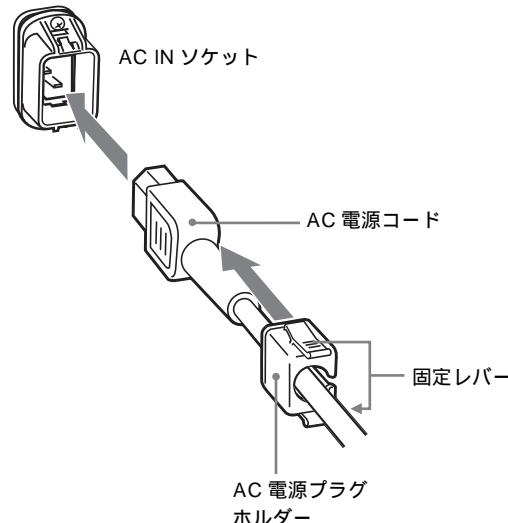
部品を 1 点追加することによりクローズドキャッシュビジョンに対応します。キャッシュビジョンのオン / オフとその種類の選択は、メニューで行います。追加部品について詳しくは、お買い上げ店にお問い合わせください。

接続

電源コードの取り付けかた

電源コードをつなぐには

AC 電源コードを後面の AC IN ソケットに差し込み、AC 電源プラグホルダーを AC 電源コードに取り付け、固定レバーがロックするまではめ込みます。



電源コードをはずすには

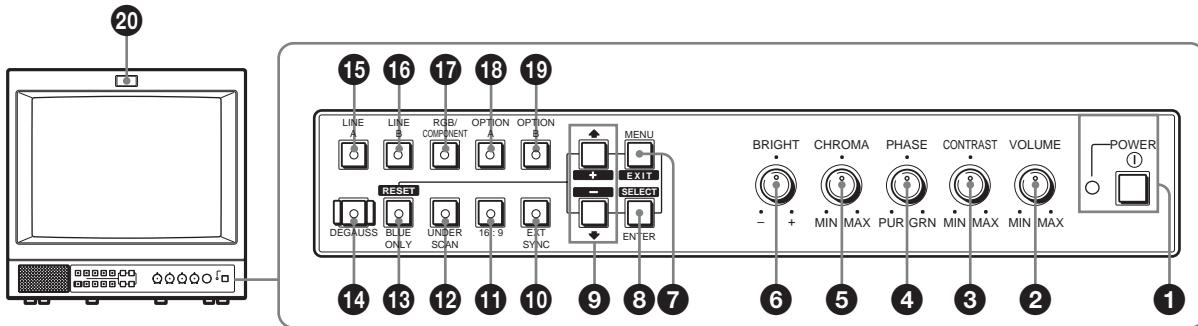
AC 電源プラグホルダーの固定レバーを両側からはさんでロックをはずし、引き抜きます。

PVM-9L3/PVM-9L2 は、ソニーリチウムイオンバッテリー (BP-L60A/BP-L90A) およびニッケル水素バッテリー (BP-M50/BP-M100) も使用できます。

バッテリーの取り付けかたについては、「バッテリーの取り付けかた」(裏表紙)をご覧ください。

各部の名称と働き

操作パネル



① POWER①(電源)スイッチ

押し込むと電源が入り、インジケーターが点灯します。
もう一度押すと、電源が切れます。

② VOLUME(音量)調整つまみ

③ CONTRAST 調整つまみ

④ PHASE(色相)調整つまみ

ご注意

PAL およびコンポーネント信号では、色相(フェーズ)
の調整はできません。

⑤ CHROMA(色の濃さ)調整つまみ

⑥ BRIGHT(明るさ)調整つまみ

⑦ MENU/EXIT ボタン

メニューを出したり消したりするときに使います。

⑧ ENTER/SELECT ボタン

メニューで内容を決定するときに使います。

⑨ ↑/+(カーソル上方向移動/調整)ボタン

↓/-(カーソル下方向移動/調整)ボタン

メニューでカーソルを動かしたり、数値を調整したりする
ときに使います。

⑩ EXT SYNC(外部同期)ボタンとインジケーター

同期信号を選びます。

EXT SYNC 入力端子から入力された外部同期信号で同期
をとるときは、このボタンを押します。

⑪ 16:9 ボタンとインジケーター

横縦比 16:9 の信号をモニターするときに押します。

⑫ UNDERSCAN ボタンとインジケーター

押すとアンダースキャンモードになります。
画面サイズが約 5% 縮小され、画像の四隅まで表示され
ます。

⑬ BLUE ONLY ボタン(RESET ボタン)とインジケーター

- 赤と緑の信号がカットされ、青信号のみが表示されます。
色の濃さ(クロマ)や色相(フェーズ)の調整、VTR
ノイズの監視が容易に行えます。(色相(フェーズ)の
調整ができるのは NTSC の映像信号だけです。)
- メニュー項目を調整中に押すと、調整が無効になり、調
整前の設定値に戻ります。

⑭ DEGAUSS(消磁)ボタンとインジケーター

消磁したいとき、このボタンを 1 回押します。もう一度
使用するときは 10 分以上間隔をおいてください。

ご注意

スクリーンメニューが表示されている状態では、
DEGAUSS ボタンは効きません。

手動で消磁を行う場合は、MENU/EXIT ボタンでスク
リーンメニューを消してから行ってください。

⑮ LINE A ボタンとインジケーター

LINE A 入力端子からの信号をモニターするときに押しま
す。

⑯ LINE B ボタンとインジケーター

LINE B 入力端子からの信号をモニターするときに押します。

⑰ RGB/COMPONENT ボタンとインジケーター

(PVM-14L2/PVM-20L2 のみ)

RGB/COMPONENT 入力端子からの信号をモニターするときに押します。

⑱ OPTION A ボタンとインジケーター

モニター後面のオプションスロットにオプションボードが装着されているときに使用します。

オプションボードの入力 1 からの映像信号と OPTION AUDIO INPUT 1 からの音声信号をモニターするときに押します。

⑲ OPTION B ボタンとインジケーター

モニター後面のオプションスロットにオプションボードが装着されているときに使用します。

オプションボードの入力 2 からの映像信号と OPTION AUDIO INPUT 2 からの音声信号をモニターするときに押します。

(このボタンは BKM-129X、BKM-155DV 使用時は動作しません。)

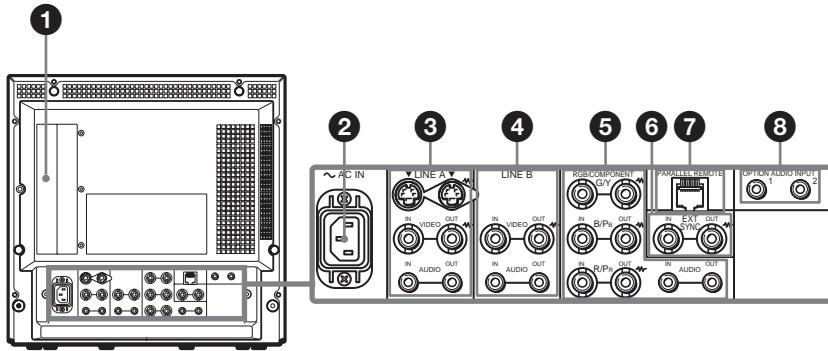
⑳ タリーランプ

本機に接続されているカメラの映像が選ばれると、ランプが点灯します。

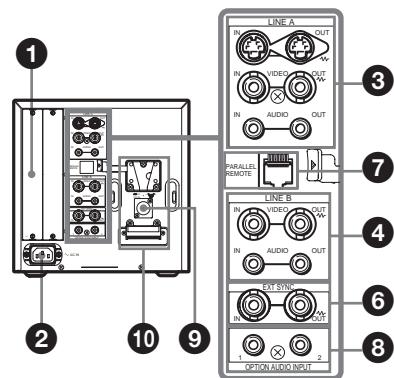
タリーランプが点灯するようにするには、タリー制御の配線が必要です。詳しくは 18 ページをご覧ください。

後面パネル

PVM-14L2/PVM-20L2



PVM-9L3/PVM-9L2



① オプションスロット

オプションボードを装着するときに使用するスロットです。

入力拡張用オプションボードは 1 枚のみ装着できます。
2 枚装着すると、機能しません。装着方法について詳しくは、オプションボードに付属の取扱説明書をご覧ください。

② AC IN ソケット

付属の AC 電源コードをつなぎます。

③ LINE A 入出力端子

Y/C 分離入力、コンポジットビデオ信号と音声信号のライン入力端子、およびそれぞれのループスルー端子です。
操作パネルの LINE A ボタンを押してモニターします。
Y/C 入力と VIDEO 入力を同時に接続した場合、Y/C 入力が優先となります。

Y/C IN/OUT (4 ピンミニ DIN)

Y/C 分離の入出力端子です。VTR やビデオカメラ、他のモニターなど、外部機器の Y/C 分離出力および入力端子と接続します。

VIDEO IN/OUT (BNC 型)

コンポジットビデオの入出力端子です。VTR やビデオカメラ、他のモニターなど、外部機器のコンポジット映像出力および入力端子と接続します。

AUDIO IN/OUT (ピンジャック)

音声の入出力端子です。VTR などの外部機器の音声出力および入力端子と接続します。

④ LINE B 入出力端子

コンポジットビデオ信号と音声信号のライン入力端子、およびそれぞれのループスルー端子です。

操作パネルの LINE B ボタンを押してモニターします。

VIDEO IN/OUT (BNC型)

コンポジットビデオの入出力端子です。VTR やビデオカメラ、他のモニターなど、外部機器のコンポジット映像出力および入力端子と接続します。

AUDIO IN/OUT (ピンジャック)

音声の入出力端子です。VTR などの外部機器の音声出力および入力端子と接続します。

⑤ RGB/COMPONENT 入出力端子 (PVM-14L2/PVM-20L2 のみ)

アナログ RGB またはコンポーネント (Y, P_B, P_R) 信号の入力端子、およびそれぞれのループスルー出力端子です。

操作パネルの RGB/COMPONENT ボタンを押してモニターします。

G/Y, B/P_B, R/P_R IN/OUT (BNC型)

アナログ RGB およびコンポーネント (Y, P_B, P_R) の入出力端子です。入力時は、通常 G/Y 信号に含まれている同期信号で動作します。

AUDIO IN/OUT (ピンジャック)

映像信号としてアナログ RGB またはコンポーネントを入力する場合に、音声信号の入出力端子として使用します。VTR など、外部機器の音声出力および入力端子と接続します。

⑥ EXT SYNC (外部同期) 入出力端子

外部同期信号を使う場合は操作パネルの EXT SYNC ボタンを押します。

IN/OUT (BNC型)

外部同期信号の入出力端子です。IN 端子には外部同期信号発生器などからの基準信号を入力します。OUT 端子は、本機と同期して動作させる他のビデオ機器の外部同期入力端子と接続します。

⑦ PARALLEL REMOTE (パラレルリモート) 端子 (モジュラーコネクター)

パラレルコントロールスイッチを構成してモニターを外部操作します。

◆ピン配置と出荷時の各ピンへの機能の割り付けについて詳しくは、18 ページをご覧ください。

⑧ OPTION AUDIO (オプションオーディオ) INPUT 1, 2 入力端子

オプションスロットにオプションボードが装着されている場合、その音声入力に使用する入力端子です。2 系統まで接続することができます。OPTION AUDIO INPUT 1 または 2 入力端子から入力した音声信号をモニターする場合には、それぞれ OPTION A または OPTION B ボタンを押します。

⑨ DC 12V IN 端子 (XLR型) (PVM-9L3/PVM-9L2 のみ)

外部電源 DC 12V を接続することにより、本機を動作させることができます。

接続する外部電源は、クラス 2 対応 DC12V 4.2A 仕様のものをご使用ください。

⑩ バッテリー取り付け部 (PVM-9L3/PVM-9L2 のみ)

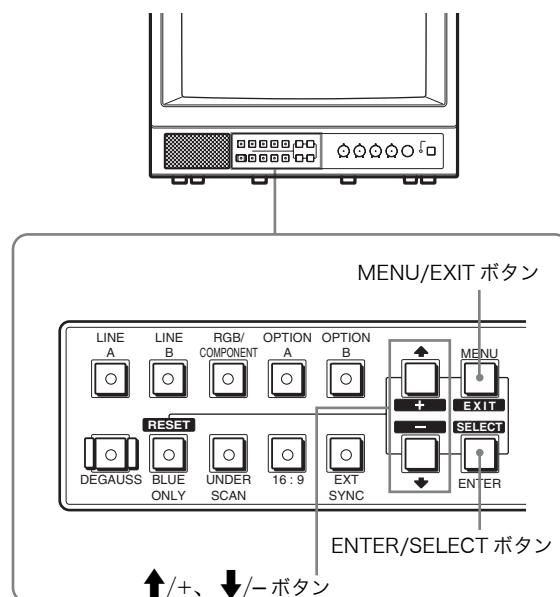
バッテリーを取り付けます。

PVM-9L3/PVM-9L2 は、リチウムイオンバッテリー (BP-L60A/BP-L90A) およびニッケル水素バッテリー (BP-M50/BP-M100) に対応しています。

メニュー表示言語の切り換え

メニュー画面やメッセージの表示言語を 7 言語 (ENGLISH、DEUTSCH、FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、日本語、中文) の中から選ぶことができます。出荷時の設定は「ENGLISH」(英語) に設定されています。

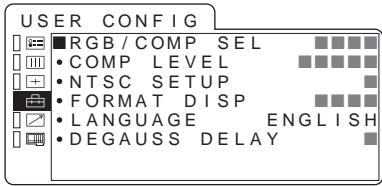
なお、メニュー画面のイラスト上の■マーク部分に、本機の現在の設定値が表示されます。



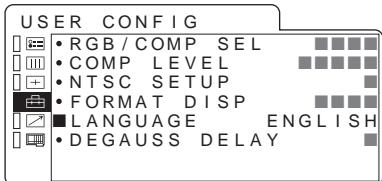
- 1 MENU/EXIT ボタンを押し、メニュー画面が表示されたら $\uparrow/+$ 、 $\downarrow/-$ ボタンを押して \square (USER CONFIG) を選択し、ENTER/SELECT ボタンを押

す。

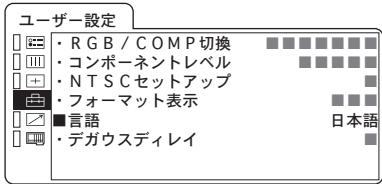
USER CONFIG メニューが表示されます。



- 2 **↑/+、↓/-** ボタンを押して「LANGUAGE」を選び、ENTER/SELECT ボタンを押す。
選んだ項目が黄色で表示されます。



- 3 **↑/+、↓/-** ボタンを押して表示させたい言語を選び、ENTER/SELECT ボタンを押す。
画面表示が、選んだ言語に切り換わります。



メニュー画面を消すには

MENU/EXIT ボタンを押す。

約 1 分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

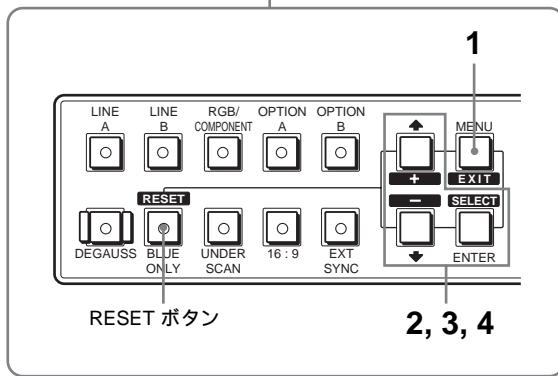
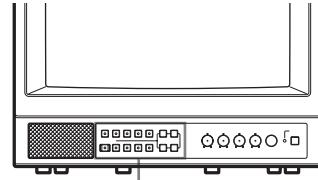
メニューの操作方法

本機では、画質調整や入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。
調整や設定を行う場合の操作は以下のとおりです。

メニュー項目について詳しくは「メニューを使った調整」(13 ページ)をご覧ください。

メニュー画面表示の言語を切り換えることもできます。
表示言語を変えるには、「メニュー表示言語の切り替え」(11 ページ)をご覧ください。

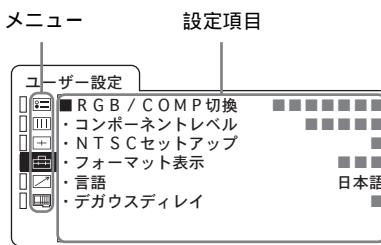
なお、メニュー画面のイラスト上の■マーク部分に、本機の現在の設定値が表示されます。



- 1 MENU/EXIT ボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
現在選択されているメニューが黄色いボタンで表示されます。



- 2 **↑/+、↓/-** ボタンを押してメニューを選び、ENTER/SELECT ボタンを押す。
選んだメニューのアイコンが黄色で表示され、設定項目が表示されます。



- 3 **↑/+、↓/-** ボタンを押して設定項目を選び、ENTER/SELECT ボタンを押す。
変更する項目が黄色で表示されます。

ご注意

項目が複数メニューページに及ぶ場合、**↑/+、↓/-** ボタンを押して必要なメニューページに入ります。

4 設定項目の調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合：

数値を大きくするときは、↑/+ ボタンを押す。

数値を小さくするときは、↓/- ボタンを押す。

ENTER/SELECT ボタンを押すと確定され、元の画面に戻ります。

設定を選ぶ場合：

↑/+、↓/- ボタンを押して設定を選び、ENTER/SELECT ボタンを押す。

ご注意

設定項目で青色表示の項目はアクセスできない状態を意味します。白色表示に変わるとアクセスが可能になります。

メニュー画面を消すには

MENU/EXIT ボタンを押す。

約 1 分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

設定値の記憶について

設定値は自動的に本体に記憶されます。

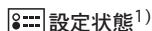
設定値をリセットする

メニュー内の項目を調整中に RESET ボタンを押すと調整は無効になり、調整前の値に戻ります。

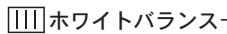
メニューを使った調整

項目一覧

本機のスクリーンメニューは次のような構成になっています。



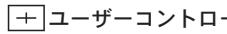
設定状態¹⁾



ホワイトバランス

色温度

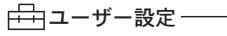
マニュアル調整



ユーザーコントロール

オートクロマ/フェーズ

サブコントロール



ユーザー設定

RGB/COMP切換²⁾

コンポーネントレベル

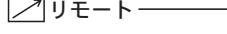
NTSCセットアップ

フォーマット表示

言語

デガウスディレイ

キャプションビジョン³⁾



リモート

1ピン

2ピン

3ピン

4ピン

6ピン

7ピン

8ピン



オプション設定⁴⁾

1) 設定状態メニューは表示のみ。

2) PVM-14L2/PVM-20L2 のみ。

3) キャプションビジョン（クローズド・キャプション）デコーダー装着時のみ。

4) オプション設定メニューは本機に装着するオプションボードによって表示される項目が異なります。

調整と設定

設定状態メニュー

本機の現在の設定状況を表示します。表示される項目は以下のとおりです。

サブメニュー	設定
信号フォーマット	表示のみ
色温度	表示のみ
コンポーネントレベル	表示のみ
NTSC セットアップ	表示のみ
RGB/COMP 切換	表示のみ (PVM-14L2/PVM-20L2 のみ)
オプション	表示のみ

III ホワイトバランスメニュー

画質のホワイトバランスを調整するメニューです。ホワイトバランスの調整には測定器が必要です。

サブメニュー	設定
色温度	色温度を「D65」、「D93」、「ユーザー設定」から設定します。
マニュアル調整	色温度を「ユーザー設定」にしたとき、表示が青色から白色にかわり、調整できるようになります。 <ul style="list-style-type: none">・ ゲイン調整 ... : カラーバランス(ゲイン)を調整します。・ バイアス調整 ... : カラーバランス(バイアス)を調整します。・ 標準値をコピー : /+、/-ボタンを押して D65 または D93 を選択すると、選択された色温度のホワイトバランスデータが、「ユーザー設定」にコピーされます。

□ ユーザーコントロールメニュー

画質を調整するメニューです。

入力信号によって調整できない項目は青色で表示されます。

サブメニュー	設定
オートクロマ / フェーズ	色の濃さ(クロマ)と色相(フェーズ)を調整します。 <ul style="list-style-type: none">・ オート調整値: 自動調整値のオン、オフの切り換えを設定します。「オフ」を選択するとクロマとフェーズの値が工場出荷値になり、「オン」を選択すると自動調整値になります。・ 調整スタート: カラーパー信号(フル/SMPTE/EIA)を画面に出して、ENTER/SELECT ボタンを押すと、自動的にオート調整画面が始まります。調整終了後、MENU/EXIT ボタンを押して戻ります。調整が正常終了した場合、「オート調整値」は自動的に「オン」になります。

ご注意

フルカラーパーの場合、必ず 8 本カラーパーを入力してください。

サブメニュー	設定
サブコントロール	操作パネルの CONTRAST、PHASE、CHROMA、BRIGHT 調整つまみの調整範囲を微調整します。 <ul style="list-style-type: none">・ 調整 ... : 選択すると以下の項目が調整できます。<ul style="list-style-type: none">「コントラスト ...」: コントラストを調整します。「ブライト ...」: 明るさを調整します。「クロマ ...」: 色の濃さを調整します。設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。「フェーズ ...」: 色相(フェーズ)を調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。「アーバーチャー ...」: シャープネスを調整します。設定値が大きくなるとくっきりします。

■ ユーザー設定メニュー

言語の選択や、RGB とコンポーネントの切り換えなどを設定します。

サブメニュー	設定
RGB/COMP 切換 (PVM-14L2/PVM-20L2 のみ)	RGB/COMPONENT 入力端子からの信号をモニターするときに、入力する信号に応じて「RGB」または「コンポーネント」を選択します。
コンポーネントレベル	以下の 3 種類の中から、入力されているコンポーネント信号の種類を選択します。 <ul style="list-style-type: none">「SMPTE」: 100/0/100/0 のコンポーネント信号のとき「BETA 7.5」: 100/7.5/75/7.5 のコンポーネント信号のとき「BETA 0」: 100/0/75/0 のコンポーネント信号のとき
NTSC セットアップ	NTSC 信号のセットアップのレベルを選択します。日本では 0 で、アメリカでは 7.5 で運用されています。このため輸入ソフトには 7.5 のものがあります。
フォーマット表示	入力信号のフォーマットを画面に表示させるかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">「オン」: 常に表示「オフ」: 常に非表示「オート」: 信号入力開始後約 10 秒間だけ表示
言語	メニュー や メッセージ の表示言語を以下の 7 言語から選択できます。 <ul style="list-style-type: none">「日本語」「ENGLISH」: 英語「DEUTSCH」: ドイツ語「FRANÇAIS」: フランス語「ITALIANO」: イタリア語「ESPAÑOL」: スペイン語「中文」: 中国語

サブメニュー	設定
デガウスディレイ	電源を入れてから自動消磁機能が働くまでの秒数を、0 から 99 秒の間で設定できます。
キャプションビジョン （キャプションビ ジョン（クローズド ・キャプション）デ コーダー装着時のみ）	キャプションの表示モードを設定します。 「オフ」、「キャプション 1」、「キャプション 2」、「テキスト 1」、「テキスト 2」から選択します。

リモートメニュー

PARALLEL REMOTE 端子で機能を変更したいピンを選択します。

1 ~ 4、6 ~ 8 ピンに各機能を割り付けられます。割り付け可能な機能は以下のとおりです。

- ・ -- (機能の割り付けなし。)
- ・ LINE A
- ・ LINE B
- ・ RGB/COMP (PVM-14L2/PVM-20L2 のみ)
- ・ OPTION A
- ・ OPTION B
- ・ タリー
- ・ アンダースキャン
- ・ 16:9
- ・ 外部同期
- ・ ブルーオンリー
- ・ デガウス

ご注意

パラレルリモートを使用する場合は、配線が必要です。

詳しくは 18 ページをご覧ください。

オプション設定メニュー

後面に装着されたオプションボードの設定をします。
装着されたボードにより、表示される画面が異なります。
なお、何も装着されていない場合は、項目は表示されません。
入力信号を割り付けた後、モニターのオートクロマ / フェーズ調整を必ず行ってください。

オプションボード BKM-150CP 装着時：

サブメニュー	設定
信号方式	信号方式を設定します。 「SDTI-CP」あるいは「D1-SDI」を選択します。
オーディオ	オーディオチャンネルを設定します。 D1-SDI の場合 CH1 + CH2 ~ CH15 + CH16、CH1 ~ CH16 の中から選択できます。 SDTI-CP の場合 CH1 + CH2 ~ CH7 + CH8、CH1 ~ CH8 の中から選択できます。 OPTION AUDIO INPUT 1 または 2 入力端子からの信号は無効になります。
タイムコード	タイムコード表示を選択します。 D1-SDI の場合 「VITC」、「RP188」、「オフ」の中から選択できます。 SDTI-CP の場合 「VITC」、「CP-TC1」、「CP-TC2」、「ES-TC1」、「ES-TC2」、「オフ」の中から選択できます。

メニュー上の略称は以下の規格に対応しています。

- ・ CP-TC1 : SMPTE 331M System Item USER DATE/TIME STAMP
- ・ CP-TC2 : SMPTE 331M System Item CREATION DATE/TIME STAMP
- ・ ES-TC1 : SMPTE 328M MPEG ES Editing Information TIME CODE1
- ・ ES-TC2 : SMPTE 328M MPEG ES Editing Information TIME CODE2
- ・ RP188 : SMPTE RP188 Time Code
- ・ VITC : SMPTE 12M VITC、SMPTE 266M D-VITC

オプションボード BKM-155DV 装着時：

サブメニュー	設定
オーディオ	オーディオチャンネルを設定します。 CH1 + CH2、CH3 + CH4、CH1/3、CH2/4、CH1/3 + CH2/4、CH1 ~ CH4 の中から選択できます。 OPTION AUDIO INPUT 1 または 2 入力端子からの信号は無効になります。

オプションボード BKM-120D/BKM-129X 装着時： シリアルナンバーが表示されます。

BKM-150CP、BKM-155DV 内蔵の冷却ファンが止まっている場合には、画面に常に「BKM-xxxxx ファンエラー」と赤く表示され、オプション A、オプション B は選択できなくなります。

故障かな？と思ったら

お買い上げ店などにご相談いただく前に、次の事項をご確認ください。

- ・画面が緑色や紫色になる → 入力ボタンを押して、正しい入力を選んでください。
- ・RGB/COMPONENT 入力端子に入力している信号が表示されない(PVM-14L2/PVM-20L2のみ) → ユーザー設定メニューの「RGB/COMP 切換」を入力中の信号に合わせて設定してください。
- ・BKM-150CP、BKM-155DV 装着時に「BKM-xxxxx ファンエラー」と表示され、オプション A、オプション B が選択できない → BKM-xxxxx を修理に出してください。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理をさせていただきます。

主な仕様

一般

PVM-9L3/PVM-9L2

CRT : HR トリニトロン (P22 蛍光体)
(PVM-9L3)
トリニトロン (P22 蛍光体)
(PVM-9L2)

電源 : AC100 ~ 240 V、50/60 Hz

消費電流 / 電力 :
最大 58 W 0.6 ~ 0.3 A (別売りの
BKM-150CP 装着時)
12 V DC、4.2 A、48 W
標準 47 W 0.5 ~ 0.25 A (オプショ
ンボードなしの場合)
12 V DC、3.3 A、38 W

最大外形寸法 (幅 / 高さ / 奥行き) :

約 217 × 218 × 373 mm

質量 : 約 8.0 kg

PVM-14L2

CRT : トリニトロン (P22 蛍光体)
電源 : AC100 ~ 240 V、50/60 Hz

消費電流 / 電力 :
最大 85 W 0.9 ~ 0.4 A (別売りの
BKM-150CP 装着時)
標準 75 W 0.8 ~ 0.35 A (オプショ
ンボードなしの場合)

最大外形寸法 (幅 / 高さ / 奥行き) :

約 346 × 340 × 430 mm

質量 : 約 18.0 kg

PVM-20L2

CRT : トリニトロン (P22 蛍光体)
電源 : AC100 ~ 240 V、50/60 Hz

消費電流 / 電力 :
最大 108 W 1.1 ~ 0.5 A (別売りの
BKM-150CP 装着時)
標準 98 W 1.0 ~ 0.4 A (オプション
ボードなしの場合)

最大外形寸法 (幅 / 高さ / 奥行き) :

約 453 × 463 × 529 mm

質量 : 約 33.0 kg

入出力

入力

LINE A 入力端子

Y/C 入力 4 ピンミニ DIN (1)

VIDEO 入力 BNC 型 (1) 1 Vp-p + 3 dB
- 6 dB 負同期

AUDIO 入力 ピンジャック (1) - 5 dBu 47 k
以上

LINE B 入力端子

VIDEO 入力 BNC 型 (1) 1 Vp-p + 3 dB
- 6 dB 負同期

AUDIO 入力 ピンジャック (1) - 5 dBu 47 k
以上

RGB/ コンポーネント入力端子 BNC 型 (3) (PVM-14L2/PVM-20L2 のみ)

RGB 入力 0.7 Vp-p + 3 dB - 6 dB (Sync On Green 0.3 Vp-p 負同期)

コンポーネント入力

0.7 Vp-p + 3 dB - 6 dB (75% クロミナンス標準カラーバー信号時)

AUDIO 入力 ピンジャック (1) - 5 dBu
47 k 以上

外部同期入力端子

BNC 型 (1) 0.3 ~ 8 Vp-p 正負両極性 3 値または負極性 2 値

オプション AUDIO 入力端子

ピンジャック (2)
- 5 dBu 47 k 以上

リモート入力

パラレルリモート

モジュラーコネクター 8 ピン (1)

出力

LINE A 出力端子

Y/C 出力 4 ピンミニ DIN (1) ループスルー、75 自動終端機能付き

VIDEO 出力 BNC 型 (1) ループスルー、75 自動終端機能付き

AUDIO 出力 ピンジャック (1) ループスルー

LINE B 出力端子

VIDEO 出力 BNC 型 (1) ループスルー、75 自動終端機能付き

AUDIO 出力 ピンジャック (1) ループスルー

RGB/ コンポーネント出力端子
(PVM-14L2/PVM-20L2 のみ)

RGB / コンポーネント出力

BNC 型 (3) ループスルー、75 自動終端機能付き

AUDIO 出力 ピンジャック (1) ループスルー

外部同期出力端子

BNC 型 (1) ループスルー、75 自動終端機能付き

内蔵スピーカー出力
0.8 W (モノラル)

映像信号系

周波数特性 PVM-9L3/PVM-9L2
50 Hz ~ 6 MHz (0 dB/ - 3 dB)
PVM-14L2/PVM-20L2
50 Hz ~ 10 MHz (0 dB/ - 3 dB)

アペ - チャ - 補正量¹⁾
OFF : 0 dB
ON : 2 ~ 6 dB

画像系

ノーマルスキャン

CRT 有効画面の 6% オーバースキャン
(PVM-9L3/PVM-9L2)
CRT 有効画面の 7% オーバースキャン
(PVM-14L2/PVM-20L2)

アンダースキャン

CRT 有効画面の 5% アンダースキャン

直線性 PVM-9L3/PVM-9L2
H: 4% 以下
V: 4% 以下
PVM-14L2
H: 4% 以下
V: 4% 以下
PVM-20L2
H: 5% 以下
V: 5% 以下

色温度 D65、D93、ユーザー設定 (調整可能)
色温度 5000 K ~ 10000 K

コンバージェンスエラー

PVM-9L3/PVM-9L2
中心部 : 0.4 mm 以下
周辺部 : 0.5 mm 以下
PVM-14L2
中心部 : 0.4 mm 以下
周辺部 : 0.5 mm 以下
PVM-20L2
中心部 : 0.5 mm 以下
周辺部 : 0.7 mm 以下

ラスターサイズ安定度

H: 1.0%
V: 1.0%

解像度 (中心部) 450TV 本 (PVM-9L3)
250TV 本 (PVM-9L2)
600TV 本 (PVM-14L2/PVM-20L2)

1) RGB 入力時はアパー・チャの補正は行えません。

動作条件

温度	0 ~ 35
湿度	30 ~ 85% 以下(結露のないこと)
気圧	700 ~ 1060 hPa

保存・輸送条件

温度	- 10 ~ 40
湿度	0 ~ 90%
気圧	700 ~ 1060 hPa

付属品

- AC 電源コード (1)
- AC プラグホルダー (1)
- 取扱説明書 (1)
- 保証冊子 (1)

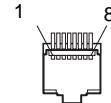
本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

本機は業務用トリニトロンカラービデオモニターです。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ピン配列

PARALLEL REMOTE 端子
モジュラーコネクター
(8 ピン)



ピン番号	機能
1	入力信号 LINE A を指定
2	入力信号 LINE B を指定
3	タリーランプの ON/OFF
4	アンダースキャンの選択
5	GND
6	ブルーオンリーの ON/OFF
7	アスペクト比 16:9 の選択
8	外部同期の選択

機能割り付けは、リモートメニューで変更できます。

リモートコントロールを使用するための配線

リモートコントロールで使用したい機能をアース (5 ピン) に接続します。

Owner's Record

The model and serial numbers are located at the rear. Record these numbers in the spaces provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.

Model No. _____
Serial No. _____

WARNING

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.

Dangerously high voltage are present inside the unit.

Do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

In the event of a malfunction or when maintenance is necessary, consult an authorized Sony dealer.

For the customers in the U.S.A.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment.

This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications.

Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

For the customers in Canada

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Pour les utilisateurs au Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

For the customers in Europe

This product with the CE marking complies with both the EMC Directive (89/336/EEC) and the Low Voltage Directive (73/23/EEC) issued by the Commission of the European Community.

Compliance with these directives implies conformity to the following European standards:

- EN60950: Product Safety
- EN55103-1: Electromagnetic Interference (Emission)
- EN55103-2: Electromagnetic Susceptibility (Immunity)

This product is intended for use in the following Electromagnetic Environment(s):

E1 (residential), E2 (commercial and light industrial), E3 (urban outdoors) and E4 (controlled EMC environment, ex. TV studio).

These products are designed for operation in the environments E1 to E4. During EMC stress, the performance (evaluated according to ITU/R 562-3 and ITU/R 500-4) may degrade as shown in Table 1. Without the EMC stress, all performance will recover to full function.

Table 1

	Frequency	Level
PVM-14L2 (14-inch Monitor)	210 – 340 MHz/ 625 – 655 MHz	3.5
PVM-20L2 (20-inch Monitor)	259 – 346 MHz/ 385 – 457 MHz	3.5

ATTENTION – When the product is installed in a rack:

a) Elevated operating ambient temperature

If installed in a closed or multi-unit rack assembly, the operating ambient temperature of the rack environment may be greater than room ambient. Therefore, consideration should be given to installing the equipment in an environment compatible with the manufacturer's maximum rated ambient temperature (Tmra: 0°C to 35°C (32°F to 95°F)).

b) Reduced air flow

Installation of the equipment in a rack should be such that the amount of air flow required for safe operation of the equipment is not compromised.

c) Mechanical loading

Mounting of the equipment in the rack should be such that a hazardous condition is not achieved due to uneven mechanical loading.

d) Circuit overloading

Consideration should be given to the connection of the equipment to the supply circuit and the effect that overloading of circuits might have on overcurrent protection and supply wiring.

Appropriate consideration of equipment nameplate ratings should be used when addressing this concern.

e) Reliable earthing

Reliable earthing of rack-mounted equipment should be maintained. Particular attention should be given to supply connections other than direct connections to the branch circuit (e.g., use of power strips).

f) Gap keeping

Upper and lower gap of rack-mounted equipment should be kept 44 mm (1 3/4 inches).

Table of Contents

Precaution	22
On Safety	22
On Installation	22
On Cleaning of the CRT Surface	22
On Cleaning	22
On Repacking	22
On Mounting on a Rack	22
Features	22
Connections	23
How to Connect the AC Power Cord	23
Location and Function of Parts and Controls ..	24
Control Panel	24
Rear Panel	25
Selecting the Menu Language	26
Using the Menu	27
Adjustment Using the Menus	28
Items	28
Adjusting and Changing the Settings	28
STATUS menu	28
COLOR TEMP/BAL menu	28
USER CONTROL menu	29
USER CONFIG menu	29
REMOTE menu	30
OPTION CONFIG menu	30
Troubleshooting	30
Specifications	31
Dimensions	i
How to install the battery (for the PVM-9L3/ PVM-9L2 only).....	Back cover

GB
English

The explanation given in this manual can be applied to the following models unless noted otherwise.

When the explanation differs among models, this is clearly indicated in this manual.

- PVM-9L3 (9-inch monitor)
- PVM-9L2 (9-inch monitor)
- PVM-14L2 (14-inch monitor)
- PVM-20L2 (20-inch monitor)

Unless indicated otherwise, illustrations of the video monitor are of the PVM-14L2.

Precaution

On Safety

- Operate the unit only with a power source as specified in the "Specifications" section.
- A nameplate indicating operating voltage, power consumption, etc., is located on the rear panel.
- Should any solid object or liquid fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified personnel before operating it any further.
- Do not drop or place heavy objects on the power cord. If the power cord is damaged, turn off the power immediately. It is dangerous to use the unit with a damaged power cord.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days or more.
- Disconnect the power cord from the AC outlet by grasping the plug, not by pulling the cord.
- The socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

On Installation

- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up.
Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes.
- Do not install the unit in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust, mechanical vibration or shock.

On Cleaning of the CRT Surface

- Clean the CRT with a soft cloth.
When the CRT is dirtied with oily hands or fingerprints, clean it with a soft cloth moistened with a mild detergent solution.
- Never use abrasive cleansers, alkaline soap, strong solvents such as alcohol, thinner or benzine, since they will damage the surface.
- Do not rub the surface of the CRT with a solid object or hit it.

On Cleaning

To keep the unit looking brand-new, periodically clean it with a mild detergent solution. Never use strong solvents such as thinner or benzine, or abrasive cleansers since they will damage the cabinet. As a safety precaution, unplug the unit before cleaning it.

On Repacking

Do not throw away the carton and packing materials. They make an ideal container which to transport the unit. When shipping the unit to another location, repack it as illustrated on the carton.

On Mounting on a Rack

Leave 1U space empty above and below the monitor to ensure adequate air circulation or install a fan to maintain the monitor's performance.

If you have any questions about this unit, contact your authorized Sony dealer.

Features

Picture

Trinitron¹⁾ picture tube

Trinitron tube provides a picture whose horizontal resolution is more than 600 TV lines at the center of the picture (for the PVM-14L2/PVM-20L2 only).

Comb filter

When NTSC video signals are received, a comb filter is activated to enable more accurate Y/C separation. This contributes to less of a decrease in resolution, and less cross color and cross luminance phenomena.

Beam current feedback circuit

The built-in beam current feedback circuit assures stable white balance.

Two color systems available

The monitor can display both NTSC and PAL signals. The color system of the input signal is automatically detected.

Input

Analog RGB/component input connectors (for the PVM-14L2/PVM-20L2 only)

Analog RGB or component (Y, P_B, P_R) signals from video equipment can be input through these connectors. Press the RGB/COMPONENT button on the control panel to monitor the signal.

Y/C input connector (S-input connector)

A video signal, split into a luminance component (Y) and a chrominance component (C), can be input through this connector, eliminating the interference between the two components, ensuring picture quality.

1)"Trinitron" is a registered trademark of Sony Corporation.

Expandable input capability

You can easily expand the input capability by installing an optional board (not supplied) in the option slot on the rear panel. Only one board for expanding the input capability can be installed at a time. If you install two boards, they do not function.

External sync input

Pressing the EXT SYNC button on the control panel once enables the monitor to operate on a sync signal supplied from an external sync generator.

Automatic termination (only for connectors with a M mark)

The input connector is terminated at 75 ohms internally when nothing has been connected to the output connector. If a cable is connected to the output connector, the internal terminal is automatically released and the signals input to the input connector are output to the output connector (loop-through).

Functions

Auto chroma phase function

The chroma and phase are automatically adjusted.

Blue only mode

In the blue only mode, the blue component of an input signal is displayed. This facilitates adjustments of the color saturation and phase, and observation of VCR noise.

Underscan mode

In the underscan mode, the lines usually scanned outside the normal display area are visible so that you can monitor the entire screen area.

Note

When the monitor is in the underscan mode, dark RGB scanning lines appear on the top edge of the screen. These are caused by an internal test signal.

16:9 mode

You can precisely monitor a signal whose aspect ratio is 16:9, in addition to a 4:3 signal.

Auto/manual degaussing

The monitor is automatically degaussed when the power is turned on. You can manually degauss the monitor by pressing the DEGAUSS button.

Using the menu, you can preset a time to degauss automatically after the power has been turned on for a while.

On-screen menus

You can set color temperature, perform a chroma set up, and make other settings using the on-screen menus.

Options

EIA 19-inch rack mount bracket available

The monitor can be mounted on an EIA-standard 19-inch rack, using the following mounting brackets or slide rails.

For the PVM-9L3/PVM-9L2: MB-520

For the PVM-14L2: MB-502B (In Europe, use the MB-502C)

For the PVM-20L2: SLR-103A (In Europe, use the SLR-103C)

For details on mounting the monitor on the rack, refer to the user's manual of the mounting bracket or slide rail.

Caption Vision (Closed Caption) Decoder available

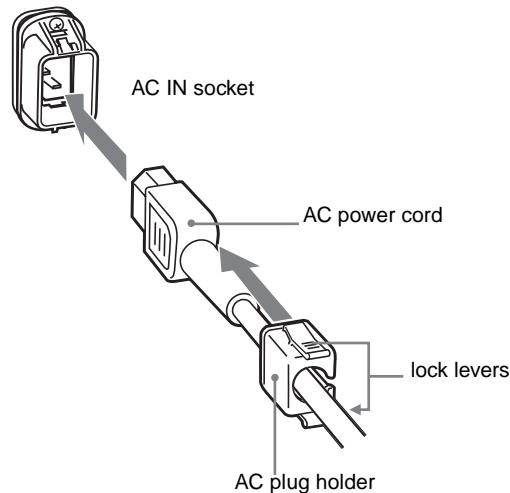
Installing certain optional parts enables the monitor to decode Closed Caption signals. Using a menu, you can choose whether or not to display captions (subtitles) and can select the style of the caption displayed. For details on these parts, consult your Sony dealer.

Connections

How to Connect the AC Power Cord

To connect the AC power cord

Plug the AC power cord into the AC IN socket. Then, attach the AC plug holder (supplied) to the AC power cord and slide it over the cord until it locks.



To remove the AC power cord

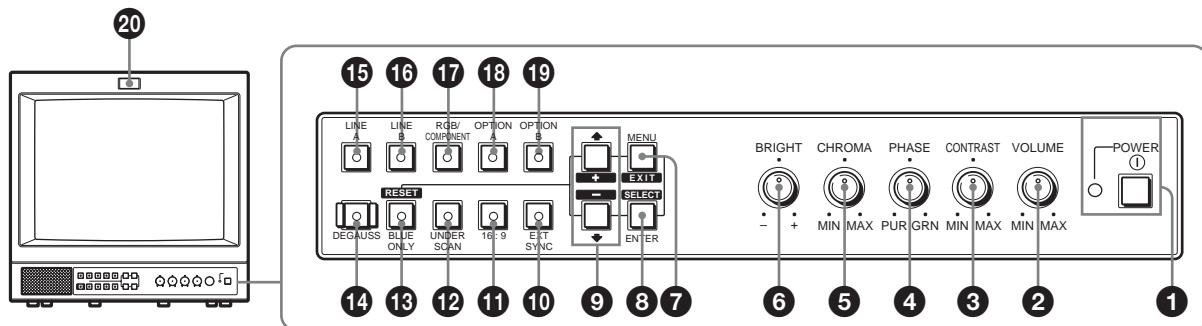
Pull out the AC plug holder while pressing the lock levers.

For the PVM-9L3/PVM-9L2, you can use a Sony lithium-ion battery, the BP-L60A/BP-L90A, or a Sony nickel metal hydride battery, the BP-M50/BP-M100.

For details on installing the battery, see "How to install the battery" on back cover.

Location and Function of Parts and Controls

Control Panel



① POWER ① switch

Press this switch to turn on the monitor. The lamp will light up. Press this switch again to turn off the monitor.

② VOLUME control

③ CONTRAST control

④ PHASE control

Note

When you use a PAL or component signal, phase cannot be adjusted.

⑤ CHROMA control

⑥ BRIGHT (brightness) control

⑦ MENU/EXIT button

Press this button to show or hide on-screen menus.

⑧ ENTER/SELECT button

Press this button to confirm an item selected on the menu.

⑨ ↑/+ (move the cursor up/adjust the value) button

↓/- (move the cursor down/adjust the value) button

Press these buttons to move the cursor or adjust an item selected on the menu.

⑩ EXT SYNC (external sync) button and lamp

Press this button to operate the monitor synchronized with an external sync signal input through the EXT SYNC connector.

⑪ 16:9 button and lamp

Press this button to monitor a signal whose aspect ratio is 16:9.

⑫ UNDERSCAN button and lamp

Press this button for underscanning.

The display size is reduced by approximately 5% so that the four corners of the picture are visible.

⑬ BLUE ONLY/RESET button and lamp

- As the BLUE ONLY button, press this button to eliminate the red and green component of input signals. Only the blue component of an input signal is displayed on the screen. This facilitates adjustments of chroma and phase, and observation of VCR noise. (Phase adjustment is effective only for NTSC signals.)
- As the RESET button, you can reset the menu item setting to the previous one by pressing this button while the new item is being selected and adjusted.

⑭ DEGAUSS button and lamp

Press this button only once. The screen will be demagnetized. Wait for 10 minutes or more before using this button again.

Note

The DEGAUSS button is disabled when the screen menu is being displayed.

To manually degauss the monitor, first, exit the screen menu by pressing the MENU/EXIT button.

⑮ LINE A button and lamp

Press this button to monitor the signal input through the LINE A connectors.

⑯ LINE B button and lamp

Press this button to monitor the signal input through the LINE B connectors.

⑯ RGB/COMPONENT button and lamp (for the PVM-14L2/PVM-20L2 only)

Press this button to monitor the signal input through the RGB/COMPONENT connectors.

⑰ OPTION A button and lamp

This button works when an optional board has been installed in the option slot on the rear panel. Press this button to monitor the video signal input through input 1 of the optional board and the audio signal input through the OPTION AUDIO INPUT 1 jack.

⑲ OPTION B button and lamp

This button works when an optional board has been installed in the option slot on the rear panel. Press this button to monitor the video signal input through input 2 of the optional board and the audio signal input through the OPTION AUDIO INPUT 2 jack.

(This button is disabled if BKM-129X or BKM-155DV is used.)

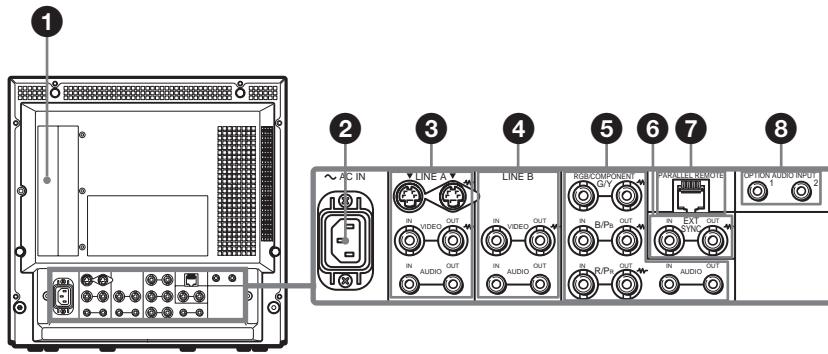
㉑ Tally lamp

Lights up when a video camera connected to this monitor is selected. For the tally lamp to function properly, certain cabling is required.

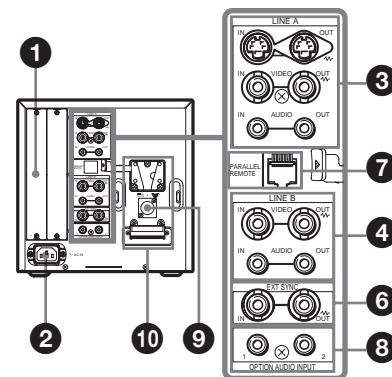
For details on this cabling, see page 33.

Rear Panel

PVM-14L2/PVM-20L2



PVM-9L3/PVM-9L2



① Option slot

You can install one optional board for expanding input capability in this option slot. If you install two boards, they do not function.

For details on how to install a board, refer to the user's manual supplied with the optional board.

② AC IN socket

Connect the supplied AC power cord to this socket and then to a wall outlet.

③ LINE A connectors

Line input connectors for Y/C separate, composite video and audio signals and their loop-through output connectors.

Press the LINE A button on the control panel to monitor the input signal through these connectors.

If you input signals to both Y/C IN and VIDEO IN, the signal input to the Y/C IN is selected.

Y/C IN/OUT (4-pin mini-DIN)

These are the input/output connectors for a Y/C separate signal. Connect them to the Y/C separate input/output connectors on equipment such as a VCR, video camera, or another monitor.

VIDEO IN/OUT (BNC)

These are the input/output connectors for a composite video signal. Connect them to the composite video input/output connectors on equipment such as a VCR, video camera, or another monitor.

AUDIO IN/OUT (phono jack)

These are the input/output jacks for an audio signal. Connect them to the audio input/output jacks on equipment such as a VCR.

④ LINE B connectors

Line input connectors for composite video and audio signals and their loop-through output connectors.

Press the LINE B button on the control panel to monitor the signal input through these connectors.

VIDEO IN/OUT (BNC)

These are the input/output connectors for a composite video signal. Connect them to the composite video input/output connectors on equipment such as a VCR, video camera, or another monitor.

AUDIO IN/OUT (phono jack)

These are the input/output jacks for an audio signal. Connect them to the audio input/output jacks on equipment such as a VCR.

5 RGB/COMPONENT connectors (for the PVM-14L2/PVM-20L2 only)

Analog RGB signal or component (Y, P_B, P_R) signal input connectors and their loop-through output connectors.

Press the RGB/COMPONENT button on the control panel to monitor the signal input through these connectors.

G/Y, B/P_B, R/P_R IN/OUT (BNC)

These are the input/output connectors for an analog RGB and a component (Y, P_B, P_R) signal. Unless an external sync signal is input, the monitor is synchronized with the sync signal contained in the G/Y signal.

AUDIO IN/OUT (phono jack)

When using an analog RGB or a component signal as a video signal, use these jacks for the input/output of an audio signal. Connect them to the audio input/output jacks on equipment such as a VCR.

6 EXT SYNC (external sync) connectors

Press the EXT SYNC button on the control panel to use an external sync signal.

IN/OUT (BNC)

These are the input/output connectors for an external sync signal. Input a reference signal generated by a sync generator to the IN connector. Connect the OUT connector to an external sync signal input connector on equipment which you intend to synchronize with this monitor.

7 PARALLEL REMOTE terminal (modular connector)

Forms a parallel switch and controls the monitor externally.

For details on the pin assignment and factory setting function assigned to each pin, see page 33.

8 OPTION AUDIO INPUT 1, 2 input connectors

If an optional board has been installed in the option slot, input an audio signal into these connectors. You can connect up to 2 systems. To monitor the audio signals input to OPTION AUDIO INPUT 1 or 2, press either the OPTION A or OPTION B button.

9 DC 12V IN connector (XLR) (for the PVM-9L3/PVM-9L2 only)

Plug the DC 12V power supply to this connector to provide power to the monitor.

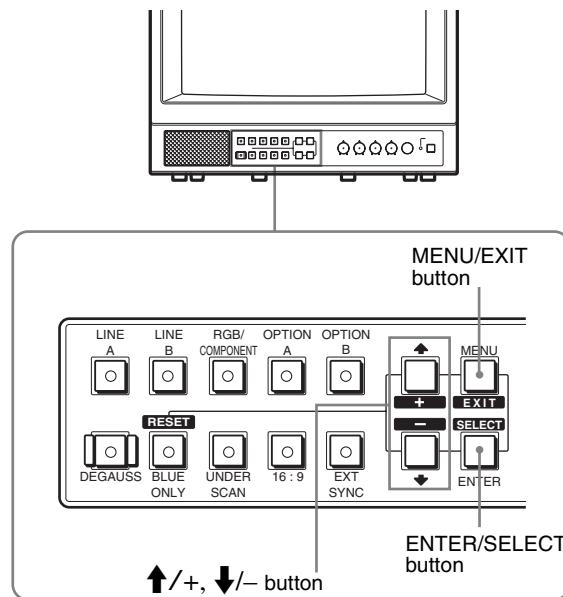
This product is intended to be supplied by a Listed Power Unit marked "Class 2" and rated 12 V dc, 4.2 A.

10 Battery attachment (for the PVM-9L3/PVM-9L2 only)

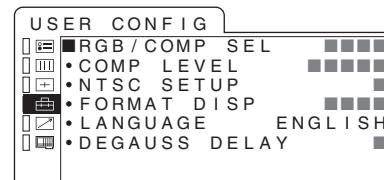
Install the battery here. For the PVM-9L3/PVM-9L2, a Sony lithium-ion battery, the BP-L60A/BP-L90A, or a Sony nickel metal hydride battery, the BP-M50/BP-M100, is applicable.

Selecting the Menu Language

You can select one of seven languages (English, German, French, Italian, Spanish, Japanese, Chinese) for displaying the menus and other on-screen messages. The factory preset language is ENGLISH (English). The current settings are displayed in place of the ■ marks on the illustrations of the menu screen.

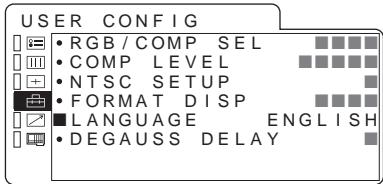


- 1 Press the MENU/EXIT button to display the menu screen, and press the $\uparrow/+$ or $\downarrow/-$ button to select (USER CONFIG), then press the ENTER/SELECT button. The USER CONFIG menu appears.



- 2 Press the $\uparrow/+$ or $\downarrow/-$ button to select "LANGUAGE," then press the ENTER/SELECT button.

The selected item is displayed in yellow.



- 3** Press the $\uparrow/+$ or $\downarrow/-$ button to select the desired language, then press the ENTER/SELECT button. The on-screen language changes to the language you have selected.

To clear the menu

Press the MENU/EXIT button.

The menu disappears automatically if a button is not pressed within one minute.

Using the Menu

The monitor is equipped with an on-screen menu for making various adjustments and settings such as picture control, input setting, set setting change, etc.

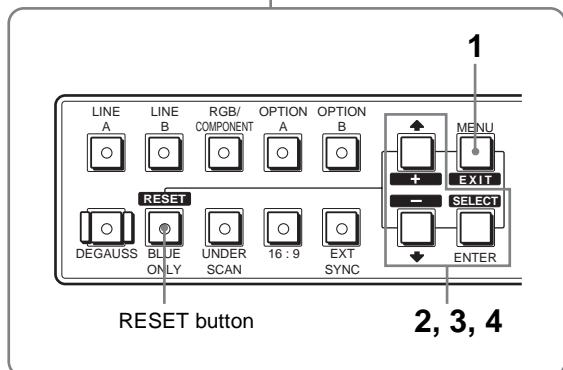
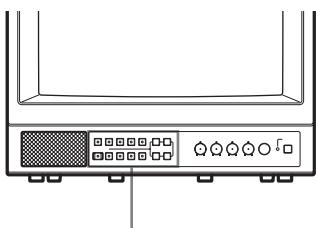
Follow the instructions below to make adjustments or to change settings.

For details on the menu items, see "Adjustment Using the Menus" on page 28.

You can also change the menu language displayed in the on-screen menu.

To change the menu language, see "Selecting the Menu Language" on page 26.

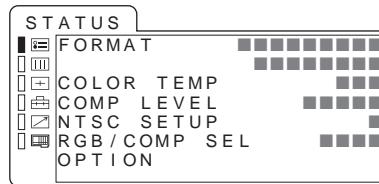
The current settings are displayed in place of the ■ marks on the illustrations of the menu screen.



- 1** Press the MENU/EXIT button.

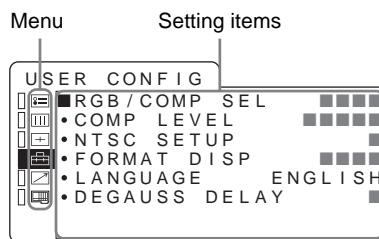
The menu appears.

The menu presently selected is indicated by a yellow button.



- 2** Press the $\uparrow/+$ or $\downarrow/-$ button to select a menu, then press the ENTER/SELECT button.

The menu icon presently selected is shown in yellow and the available setting items are displayed.



- 3** Use the $\uparrow/+$ or $\downarrow/-$ button to select the desired item, then press the ENTER/SELECT button. The item to be changed is displayed in yellow.

Note

If the menu consists of multiple pages, press the $\uparrow/+$ or $\downarrow/-$ button to go to the desired menu page.

- 4** Make the setting or adjustment in an item.

When changing the adjustment level:

To increase the number, press the $\uparrow/+$ button.

To decrease the number, press the $\downarrow/-$ button.

Press the ENTER/SELECT button to confirm the number, then restore the original screen.

When changing the setting:

Press the $\uparrow/+$ or $\downarrow/-$ button to change the setting.

Press the ENTER/SELECT button to confirm the setting.

Note

An item displayed in blue cannot be accessed. You can access the item if it is displayed in white.

To clear the menu

Press the MENU/EXIT button.

The menu disappears automatically if a button is not pressed within one minute.

About retaining the settings

The settings are automatically stored in the monitor memory.

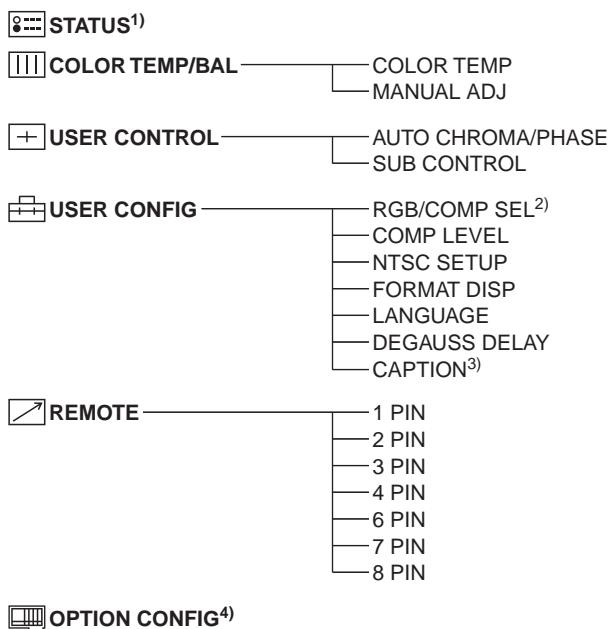
To reset items being adjusted

Press the RESET button while the new menu item is being selected and adjusted. Any changes to this new item setting is ignored and the item is reset to the previous setting.

Adjustment Using the Menus

Items

The screen menu of this monitor consists of the following items.



1) The items on the STATUS menu indicate the current settings.

2) for the PVM-14L2/PVM-20L2 only

3) CAPTION is available only when the Caption Vision (Closed Caption) Decoder has been installed.

4) The items on the OPTION CONFIG menu differ depending on the optional board installed.

Adjusting and Changing the Settings

STATUS menu

The STATUS menu is used to display the current status of the monitor.

Submenu	Setting
FORMAT	Display only
COLOR TEMP	Display only
COMP LEVEL	Display only
NTSC SETUP	Display only
RGB/COMP SEL	Display only (for the PVM-14L2/PVM-20L2 only)
OPTION	Display only

COLOR TEMP/BAL menu

The COLOR TEMP/BAL menu is used for adjusting the picture white balance.

You need to use a measurement instrument to adjust the white balance.

Submenu	Setting
COLOR TEMP	Select the color temperature from among D65, D93 and USER setting.
MANUAL ADJ	If you set COLOR TEMP to USER, the item displayed is changed from blue to white, which means you can adjust the color temperature. <ul style="list-style-type: none">• ADJUST GAIN...: Adjusts the color balance (GAIN).• ADJUST BIAS...: Adjusts the color balance (BIAS).• COPY FROM: If you select D65 or D93 with the \uparrow/\downarrow button, the white balance data of the selected color temperature will be copied to USER.

USER CONTROL menu

The USER CONTROL menu is used for adjusting the picture.
Items that cannot be adjusted depending on the input signal are displayed in blue.

Submenu	Setting
AUTO CHROMA/PHASE	<p>Adjusts color intensity (CHROMA) and tones (PHASE).</p> <ul style="list-style-type: none"> • AUTO ADJ VALUE: Chooses the values to be applied to the chroma and phase from auto adjustment or factory settings. ON: auto adjustment values OFF: factory preset values • START: Displays the color bar signals (Full/SMPTE/EIA) on the screen. To select one, press ENTER/SELECT button. The auto adjustment function starts. After the adjustment has been done correctly, AUTO ADJ VALUE is automatically set to ON. Press the MENU/EXIT button to exit the adjustment screen.
Note	If you have selected full color bars, be sure to enter eight color bars.
SUB CONTROL	<p>You can finely adjust the adjustment range of the following controls on the control panel; the CONTRAST, PHASE, CHROMA and BRIGHT controls.</p> <ul style="list-style-type: none"> • ADJUST...: adjusts the following items. CONTRAST...: Adjusts the picture contrast. BRIGHT...: Adjusts the picture brightness. CHROMA...: Adjusts the color intensity. The higher the setting, the greater the intensity. The lower the setting, the lower the intensity. PHASE...: Adjusts color tones. The higher the setting, the more greenish the picture becomes. The lower the setting, the more purplish the picture becomes. APERTURE...: Adjusts the picture sharpness. The higher the setting, the sharper the picture.

USER CONFIG menu

The USER CONFIG menu is used to select a language for the menus and the on-screen messages or to determine the type of video signal acceptable on the RGB/COMPONENT connectors (Analog RGB or component).

Submenu	Setting
RGB/COMP SEL (for the PVM-14L2/PVM-20L2 only)	According to the type of video signal which you intend to input to the RGB/COMPONENT connectors, choose between RGB and COMPONENT.
COMP LEVEL	Select the component level from among three modes. SMPTE: 100/0/100/0 signal BETA 7.5: 100/7.5/75/7.5 signal BETA 0: 100/0/75/0 signal
NTSC SETUP	Select the NTSC setup level from two modes. The 7.5 setup level is used mainly in North America. The 0 setup level is used mainly in Japan.
FORMAT DISP	Determines whether the format of a input signal is displayed on the screen or not. ON: The format is always displayed. OFF: The format is always hidden. AUTO: The format is displayed for about 10 seconds when the input of the signal begins.
LANGUAGE	<p>You can select the desired language for the menus or messages from the following language options.</p> <p>日本語: Japanese ENGLISH: English DEUTSCH: German FRANÇAIS: French ITALIANO: Italian ESPAÑOL: Spanish 中文: Chinese</p>
DEGAUSS DELAY	Sets the delay time for auto degaussing to start working after the power is turned on. The delay time can be set within 0 to 99 seconds.
CAPTION	Selects the caption display mode from among the following options: OFF, CAPTION 1, CAPTION 2, TEXT 1 and TEXT 2.

REMOTE menu

The REMOTE menu is used to assign the functions to the pins of the PARALLEL REMOTE terminal. Pin 1 to 4 and pin 6 to 8 can be used. The following lists the functions you can assign to the pins.

- -- (No function is assigned.)
- LINE A
- LINE B
- RGB/COMP (for the PVM-14L2/PVM-20L2 only)
- OPTION A
- OPTION B
- TALLY
- UNDERSCAN
- 16:9
- EXT SYNC
- BLUE ONLY
- DEGAUSS

Note

If you use the parallel remote function, you need to connect cables.

For more details, see page 33.

OPTION CONFIG menu

The OPTION CONFIG menu is used to set the optional board installed in the option slot on the rear panel. Depending on the board installed, the screen displayed may differ. If no board is installed, the item settings are not displayed. After assigning the input signal, be sure to adjust the monitor's AUTO CHROMA/PHASE.

When installing the BKM-150CP optional board:

Submenu	Setting
FORMAT	Sets the signal type. Select SDTI-CP or D1-SDI.
AUDIO	Selects an audio channel. D1-SDI Select from among CH1+CH2 through CH15+CH16, or CH1 through CH16. SDTI-CP Select from among CH1+CH2 through CH7+CH8, or CH1 through CH8. The audio signal input to the OPTION AUDIO INPUT 1/2 jack is ignored.
TIME CODE	Selects the time code display. D1-SDI Select VITC, RP188 or OFF. SDTI-CP Select VITC, CP-TC1, CP-TC2, ES-TC1, ES-TC2 or OFF.

The following lists the abbreviations in the menu and their full names:

- CP-TC1: SMPTE 331M System Item USER DATE/TIME STAMP
- CP-TC2: SMPTE 331M System Item CREATION DATE/ TIME STAMP
- ES-TC1: SMPTE 328M MPEG ES Editing Information TIME CODE1
- ES-TC2: SMPTE 328M MPEG ES Editing Information TIME CODE2
- RP188: SMPTE RP188 Time Code
- VITC: SMPTE 12M VITC, SMPTE 266M D-VITC

When installing the BKM-155DV optional board:

Submenu	Setting
AUDIO	Selects an audio channel. Select from among CH1+CH2, CH3+CH4, CH1/3, CH2/4, CH1/ 3+CH2/4, or CH1 through CH4. OPTION AUDIO INPUT 1/2 jack is ignored.

When installing the BKM-120D or BKM-129X optional board:

The serial number of the board is displayed on the OPTION CONFIG menu.

If the cooling fan in the BKM-150CP or BKM-155DV is stopped, the screen shows the following message in red "BKM-xxxx FAN ERROR". In this case, you cannot select Option A or Option B.

Troubleshooting

This section may help you isolate the cause of a problem and as a result, eliminate the need to contact technical support.

- **The display is colored green or purple.** → Select the correct input by pressing one of the buttons related to input.
- **The signal input through the RGB/COMPONENT input connectors does not appear on the screen (for the PVM-14L2/PVM-20L2 only).** → Set RGB/ COMP SEL on the USER CONFIG menu appropriately according to type of input signal.
- **The BKM-150CP or BKM-155DV has been installed. The error message "BKM-xxxx FAN ERROR" is displayed and you cannot select Option A or Option B.** → Repair the BKM-xxxxx.

Specifications

General

PVM-9L3/PVM-9L2

CRT:	HR Trinitron, P22 luminescent material (PVM-9L3) Trinitron, P22 luminescent material (PVM-9L2)
Power:	AC100 to 240 V, 50/60 Hz
Power consumption:	Maximum 58 W, 0.6 to 0.3 A (when the BKM-150CP optional board has been installed) 12 V DC, 4.2 A, 48 W Standard: 47 W, 0.5 to 0.25 A (Without optional board) 12 V DC, 3.3 A, 38 W
Peak inrush current:	(1) Power ON, current probe method: 70 A (240 V) (2) Hot switching inrush current, measured in accordance with European standard EN55103-1: 12 A (230 V)
Dimensions (max.):	Approx. 217 × 218 × 373 mm (8 5/8 × 8 5/8 × 14 3/4 inches) (w/h/d)
Mass:	Approx. 8.0 kg (17 lb 10 oz)

PVM-14L2

CRT:	Trinitron, P22 luminescent material
Power:	AC100 to 240 V, 50/60 Hz
Power consumption:	Maximum 85 W, 0.9 to 0.4 A (when the BKM-150CP optional board has been installed) Standard: 75 W, 0.8 to 0.35 A (Without optional board)
Peak inrush current:	(1) Power ON, current probe method: 53 A (240 V) (2) Hot switching inrush current, measured in accordance with European standard EN55103-1: 35 A (230 V)
Dimensions (max.):	Approx. 346 × 340 × 430 mm (13 5/8 × 13 1/2 × 17 inches) (w/h/d)

Mass: Approx. 18.0 kg (39 lb 11 oz)

PVM-20L2

CRT:	Trinitron, P22 luminescent material
Power:	AC100 to 240 V, 50/60 Hz
Power consumption:	Maximum 108 W, 1.1 to 0.5 A (when the BKM-150CP optional board has been installed) Standard: 98 W, 1.0 to 0.4 A (Without optional board)
Peak inrush current:	(1) Power ON, current probe method: 53 A (240 V) (2) Hot switching inrush current, measured in accordance with European standard EN55103-1: 35 A (230 V)
Dimensions (max.):	Approx. 453 × 463 × 529 mm (17 7/8 × 18 1/4 × 20 7/8 inches) (w/h/d)
Mass:	Approx. 33.0 kg (72 lb 12 oz)
<h2>Input/output connectors</h2>	
<h3>Input</h3>	
LINE A input connectors	
Y/C input	4-pin mini-DIN (1)
VIDEO input	BNC type (1) 1 Vp-p +3 dB –6 dB negative synchronization
AUDIO input	Phono jack (1) –5 dBu 47 kΩ or higher
LINE B input connectors	
VIDEO input	BNC type (1) 1 Vp-p +3 dB –6 dB negative synchronization
AUDIO input	Phono jack (1) –5 dBu 47 kΩ or higher
RGB/Component input connectors	
BNC type (3) (for the PVM-14L2/ PVM-20L2 only)	
RGB input	0.7 Vp-p +3 dB –6 dB (Sync On Green, 0.3 Vp-p negative sync.)
Component input	0.7 Vp-p +3 dB –6 dB (75% chrominance standard color bar signal)
AUDIO input	Phono jack (1) –5 dBu 47 kΩ or higher
Externally synchronized input connector	
BNC type (1)	0.3 to 8 Vp-p ± bipolarity ternary or negative polarity binary
Optional AUDIO input jacks	
Phono jack (2)	–5 dBu 47 kΩ or higher

Remote input terminal	PVM-20L2
Parallel remote	H: 5% or less
Modular connector 8-pin (1)	V: 5% or less
Output	Color temperature
LINE A output connectors	D65, D93, USER (Adjustable color temperature: 5000 K to 10000 K)
Y/C output 4-pin mini-DIN (1) Loop-through, with 75 Ω automatic terminal function	Convergence error
VIDEO output	PVM-9L3/PVM-9L2
BNC type (1) Loop-through, with 75 Ω automatic terminal function	Center: 0.4 mm (1/32 inch) or less Peripheral: 0.5 mm (1/32 inch) or less
AUDIO output	PVM-14L2
Phono jack (1) Loop-through	Center: 0.4 mm (1/32 inch) or less Peripheral: 0.5 mm (1/32 inch) or less
LINE B output connectors	PVM-20L2
VIDEO output	Center: 0.5 mm (1/32 inch) or less Peripheral: 0.7 mm (1/32 inch) or less
BNC type (1) Loop-through, with 75 Ω automatic terminal function	Raster size stability
AUDIO output	H: 1.0% V: 1.0%
Phono jack (1) Loop-through	Resolution (at screen center)
RGB/Component output connectors (for the PVM-14L2/PVM-20L2 only)	450 TV lines (PVM-9L3) 250 TV lines (PVM-9L2) 600 TV lines (PVM-14L2/PVM-20L2)
RGB/Component output	
BNC type (3) Loop-through, with 75 Ω automatic terminal function	
AUDIO output	
Phono jack (1) Loop-through	
Externally synchronized output connector	
BNC type (1) Loop-through, with 75 Ω automatic terminal function	
Built-in speaker output	
0.8 W (monaural)	

Video signal

Frequency response	PVM-9L3/PVM-9L2 50 Hz to 6 MHz (0 dB/-3 dB)
	PVM-14L2/PVM-20L2 50 Hz to 10 MHz (0 dB/-3 dB)
Aperture compensation ¹⁾	
	OFF: 0 dB
	ON: 2 dB to 6 dB

Picture performance

Normal scan	6% overscan of CRT effective screen area (PVM-9L3/PVM-9L2) 7% overscan of CRT effective screen area (PVM-14L2/PVM-20L2)
Underscan	5% underscan of CRT effective screen area
Linearity	PVM-9L3/PVM-9L2 H: 4% or less V: 4% or less PVM-14L2 H: 4% or less V: 4% or less

1) The aperture cannot be compensated for RGB input signals.

Operating conditions

Temperature	0 °C to 35 °C (32 °F to 95 °F)
Humidity	30% to 85% (no condensation)
Pressure	700 hPa to 1060 hPa

Storage and transport conditions

Temperature	-10 °C to 40 °C (14 °F to 104 °F)
Humidity	0% to 90%
Pressure	700 hPa to 1060 hPa

Accessories supplied

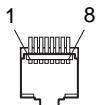
AC power cord (1)
AC plug holder (1)
Operating Instructions (1)

The PVM-9L3/PVM-9L2/PVM-14L2/PVM-20L2 is a Trinitron color video monitor for professional use.

Design and specifications are subject to change without notice.

Pin assignment

PARALLEL REMOTE terminal
Modular connector
(8-pin)



Pin number	Functions
1	Set input signal LINE A
2	Set input signal LINE B
3	Set tally lamp on or off
4	Select underscan
5	GND
6	Set blue only on or off
7	Select aspect ratio 16:9
8	Select external sync

You can allocate functions using the REMOTE menu.

Wiring required to use the Remote Control

Connect the function you want to use with a Remote Control to the Ground (Pin 5).

AVERTISSEMENT

Afin d'éviter tout risque d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Des courants de hautes tensions dangereuses sont présents à l'intérieur de cet appareil. Ne pas ouvrir le coffret. S'adresser à un personnel qualifié uniquement.

Dans le cas d'une défaillance ou de nécessité d'entretien, consulter un revendeur Sony autorisé.

Pour les clients européens

Ce produit portant la marque CE est conforme à la fois à la Directive sur la compatibilité électromagnétique (EMC) (89/336/CEE) et à la Directive sur les basses tensions (73/23/CEE) émises par la Commission de la Communauté européenne.

La conformité à ces directives implique la conformité aux normes européennes suivantes:

- EN60950: Sécurité des produits
- EN55103-1: Interférences électromagnétiques (émission)
- EN55103-2: Sensibilité électromagnétique (immunité)

Ce produit est prévu pour être utilisé dans les environnements électromagnétiques suivants:

E1 (résidentiel), E2 (commercial et industrie légère), E3 (urbain extérieur) et E4 (environnement EMC contrôlé ex. studio de télévision).

Ces produits sont conçus pour fonctionner dans les environnements E1 à E4. Lors de contraintes EMC, les performances (évaluées en fonction de ITU/R 562-3 et ITU/R 500-4) risquent de chuter comme le montre le tableau 1. Sans contrainte EMC, toutes les performances reviennent à leur niveau maximum.

Tableau 1

	Fréquence	Niveau
PVM-14L2 (Moniteur 14 pouces)	210 – 340 MHz/ 625 – 655 MHz	3,5
PVM-20L2 (Moniteur 20 pouces)	259 – 346 MHz/ 385 – 457 MHz	3,5

ATTENTION – Lorsque le produit est installé sur un bâti :

a) Température ambiante de service élevée

Si l'appareil est installé sur un bâti fermé ou comportant plusieurs appareils, la température ambiante de service du bâti peut être supérieure à la température ambiante de la pièce. Il convient par conséquent d'installer l'appareil dans un environnement compatible avec la température ambiante nominale maximale indiquée par le fabricant (Tmra : 0 °C à 35 °C (32 °F à 95 °F)).

b) Débit d'air réduit

L'installation de l'appareil dans un bâti ne doit pas entraver la circulation d'air nécessaire au fonctionnement fiable de l'appareil.

c) Charge mécanique

Le montage de l'appareil sur le bâti ne doit pas créer de situation dangereuse résultant d'une charge mécanique irrégulière.

d) Surcharge du circuit

Il convient de porter attention au raccordement de l'appareil sur le circuit d'alimentation et à l'effet d'une surcharge des circuits sur la protection contre les surintensités et le câblage d'alimentation. Il convient de prendre en compte les caractéristiques indiquées sur la plaque signalétique de l'appareil pour régler ce problème.

e) Mise à la terre fiable

Une mise à la terre fiable doit être assurée pour un appareil installé dans un bâti. Il convient de porter particulièrement attention aux raccordements d'alimentation qui ne sont pas des raccordements directs au circuit de dérivation (par exemple, l'utilisation de blocs multiprises).

f) Maintien d'un espace de dégagement minimal

Laissez un espace de 44 mm (1 pouces $\frac{3}{4}$) au-dessus et en dessous d'un appareil installé dans un bâti.

Table des matières

Précautions	36
Sécurité	36
Installation	36
Nettoyage de la surface du tube à rayon cathodique	36
Entretien	36
Remballage	36
Montage en baie	36
Caractéristiques	36
Raccordements	38
Raccordement du cordon d'alimentation secteur	38
Emplacement et fonction des composants et des commandes	38
Panneau de commande	38
Panneau arrière	40
Sélection du menu Langue	41
Utilisation du menu	42
Réglages à l'aide des menus	43
Options	43
Réglage et modification des paramètres	43
Menu STATUT	43
Menu TEMP/BAL COULEUR	43
Menu CONTROLE UTILISATEUR	44
Menu CONFIG UTILISATEUR	44
Menu TELECOMMANDE	45
Menu CONFIG OPTION	45
Dépannage	46
Spécifications	46
Dimensions.....	i
Comment insérer la batterie (pour le PVM-9L3/PVM-9L2 uniquement) ..Couvercle dos	

Les explications du présent mode d'emploi s'appliquent aux modèles suivants, sauf mention contraire.

Lorsque les explications ne s'appliquent pas à tous les modèles, ceci est clairement stipulé dans ce manuel.

- PVM-9L3 (moniteur 9 pouces)
- PVM-9L2 (moniteur 9 pouces)
- PVM-14L2 (moniteur 14 pouces)
- PVM-20L2 (moniteur 20 pouces)

Sauf mention contraire, les illustrations représentent le moniteur vidéo PVM-14L2.

Précautions

Sécurité

- Faites uniquement fonctionner l'appareil sur une source d'alimentation spécifiée dans la section "Spécifications".
- Une plaque signalétique indiquant la tension de fonctionnement, la consommation électrique, etc. se trouve sur le panneau arrière.
- Si un objet ou du liquide pénètre dans le châssis, débranchez l'appareil et faites-le vérifier par un technicien qualifié avant de le remettre en service.
- Ne laissez pas tomber et ne posez pas d'objets lourds sur le cordon d'alimentation. Si le cordon d'alimentation est endommagé, coupez immédiatement l'alimentation. Il est dangereux d'utiliser l'appareil avec un cordon d'alimentation endommagé.
- Débranchez l'appareil de la prise secteur si vous prévoyez de ne pas l'utiliser pendant plusieurs jours ou davantage.
- Pour débrancher le cordon d'alimentation de la prise secteur, saisissez-le par la fiche et ne tirez jamais sur le cordon lui-même.
- La prise secteur doit être installée à proximité de l'appareil et être aisément accessible.

Installation

- Veillez à assurer une circulation d'air suffisante pour éviter toute surchauffe à l'intérieur de l'appareil. N'installez pas l'appareil sur des surfaces (tapis, couvertures, etc.) ou à proximité de matériaux (rideaux, draperies) susceptibles d'obstruer les orifices de ventilation.
- N'installez pas l'appareil à proximité de sources de chaleur comme un radiateur ou une conduite d'air, ni dans un endroit exposé au rayonnement direct du soleil, à une poussière excessive, à des vibrations ou à des chocs mécaniques.

Nettoyage de la surface du tube à rayon cathodique

- Nettoyez le tube à rayon cathodique avec un chiffon doux. Si le tube à rayon cathodique a été souillé avec des mains grasses ou des empreintes de doigts, nettoyez-le avec un chiffon doux imprégné d'une solution détergente douce.

- N'utilisez jamais de produits de nettoyage abrasifs, de savon alcalin, de solvants puissants tels que l'alcool, le diluant ou l'essence car ils risquent d'endommager la surface.
- Ne frottez pas la surface du tube à rayon cathodique avec un objet et ne la heurtez pas.

Entretien

Pour garder à l'appareil un aspect neuf, nettoyez-le régulièrement à l'aide d'une solution détergente douce. N'utilisez jamais de solvants puissants tels que le diluant ou l'essence ni de produits de nettoyage abrasifs car ils risquent d'endommager le châssis. Par mesure de sécurité, débranchez l'appareil avant de le nettoyer.

Remballage

Ne jetez pas le carton d'emballage et les matériaux de conditionnement. Ils constituent une protection idéale pour le transport de l'appareil. Lorsque vous transportez l'appareil d'un endroit à un autre, remballez-le comme illustré sur le carton.

Montage en baie

Laissez un espace vide au-dessus et en dessous du moniteur pour assurer une circulation d'air appropriée ou installez un ventilateur pour garantir les performances du moniteur.

Pour toute question au sujet de cet appareil, contactez votre distributeur Sony agréé.

Caractéristiques

Image

Tube image Trinitron¹⁾

Le tube image Trinitron fournit une image dont la résolution horizontale est supérieure à 600 lignes TV au centre de l'image (pour le PVM-14L2/PVM-20L2 uniquement).

Filtre en peigne

Lorsque des signaux vidéo NTSC sont reçus, le filtre en peigne est activé afin d'obtenir une séparation Y/C plus précise. Cela permet de réduire la perte de résolution ainsi que le phénomène de couleur croisée et de luminance croisée.

Circuit de rétroaction du courant de faisceau

Le circuit de rétroaction du courant de faisceau intégré assure une balance stable des blancs.

1)"Trinitron" est une marque déposée de Sony Corporation.

Deux systèmes couleur disponibles

Le moniteur peut afficher les signaux NTSC et PAL. Le système couleur du signal d'entrée est détecté automatiquement.

Entrées

Connecteurs d'entrée analogiques RVB/composant (pour le PVM-14L2/PVM-20L2 uniquement)

Les signaux RVB analogiques ou composants (Y, P_B, P_R) d'un appareil vidéo peuvent être reçus via ces connecteurs. Appuyez sur la touche RGB/COMPONENT du panneau de commande pour contrôler le signal.

Connecteur d'entrée de luminance chrominance (Y/C) (connecteur d'entrée S)

Le signal vidéo, divisé en signal de luminance (Y) et en signal de chrominance (C), peut être reçu via ce connecteur, éliminant ainsi les interférences entre les deux signaux et garantissant la qualité des images.

Capacité d'entrée étendue

Vous pouvez facilement étendre la capacité d'entrée en installant une carte optionnelle (non fournie) dans la fente prévue à cet effet, sur le panneau arrière. Une seule carte permettant d'étendre la capacité d'entrée peut être installée à la fois. Si vous installez deux cartes elles ne fonctionneront pas.

Entrée de synchronisation externe

Lorsque vous appuyez une fois sur la touche EXT SYNC du panneau de commande, le moniteur peut fonctionner sur le signal de synchronisation fourni par un générateur de synchronisation externe.

Terminaison automatique (uniquement les connecteurs portant la marque M)

Le connecteur d'entrée est terminé à 75 ohms à l'intérieur, dans le cas où aucun cordon n'est raccordé sur le connecteur de sortie. Si un cordon est raccordé sur le connecteur de sortie, la terminaison interne est automatiquement annulée et les signaux entrés vers le connecteur d'entrée sont sortis sur le connecteur de sortie (transmission à boucle).

Fonctions

Fonction phase chrominance automatique

La chrominance et la phase sont réglées automatiquement.

Mode bleu uniquement

En mode bleu uniquement, le composant bleu d'un signal d'entrée est affiché. Ceci facilite les réglages de la saturation des couleurs et de la phase ainsi que l'observation des parasites du magnétoscope.

Mode de sous-balayage

En mode de sous-balayage, les lignes généralement balayées en dehors de la zone d'affichage normale sont visibles, ce qui vous permet de contrôler la totalité de l'écran.

Remarque

Lorsque le moniteur est en mode de sous-balayage, des lignes de balayage RVB sombres apparaissent sur le bord supérieur de l'écran. Elles résultent d'un signal d'essai interne.

Mode 16:9

Vous pouvez contrôler avec précision un signal au format 16:9, en plus d'un signal 4:3.

Démagnétisation automatique/manuelle

Le moniteur est automatiquement démagnétisé lorsqu'il est mis sous tension. Vous pouvez le démagnétiser manuellement en appuyant sur la touche DEGAUSS. Le menu vous permet de prérégler une heure pour procéder à une démagnétisation automatique lorsque l'appareil est sous tension depuis longtemps.

Menus affichés à l'écran

Vous pouvez régler la température des couleurs, configurer la chrominance et procéder à d'autres réglages à l'aide des menus affichés à l'écran.

Options

Support de montage de la baie 19 pouces aux normes EIA disponible

Le moniteur peut être installé sur une baie 19 pouces aux normes EIA, à l'aide des supports de montage ou des glissières de guidage suivants.

Pour le PVM-9L3/PVM-9L2 : MB-520

Pour le PVM-14L2 : MB-502B (en Europe, utilisez le MB-502C)

Pour le PVM-20L2 : SLR-103A (en Europe, utilisez le SLR-103C)

Pour plus d'informations sur le montage du moniteur en baie, reportez-vous au manuel utilisateur du support de montage ou de la glissière de guidage.

Décodeur de sous-titres disponible

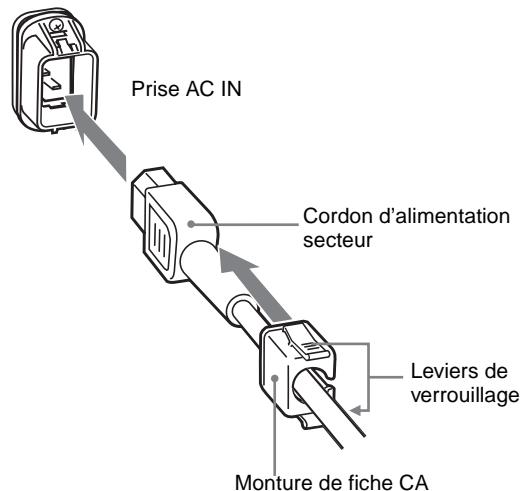
L'installation de composants particuliers permet au moniteur de décoder les sous-titres. Avec le menu, vous pouvez choisir d'afficher les sous-titres ou non et sélectionner le style des sous-titres affichés. Pour plus de détails sur les composants, consultez votre distributeur Sony.

Raccordements

Raccordement du cordon d'alimentation secteur

Pour raccorder le cordon d'alimentation secteur

Branchez le cordon d'alimentation secteur sur la prise AC IN. Fixez ensuite la monture de fiche secteur (fournie) sur le cordon d'alimentation secteur et faites-la glisser sur le cordon jusqu'à ce qu'elle se bloque.



Pour retirer le cordon d'alimentation secteur

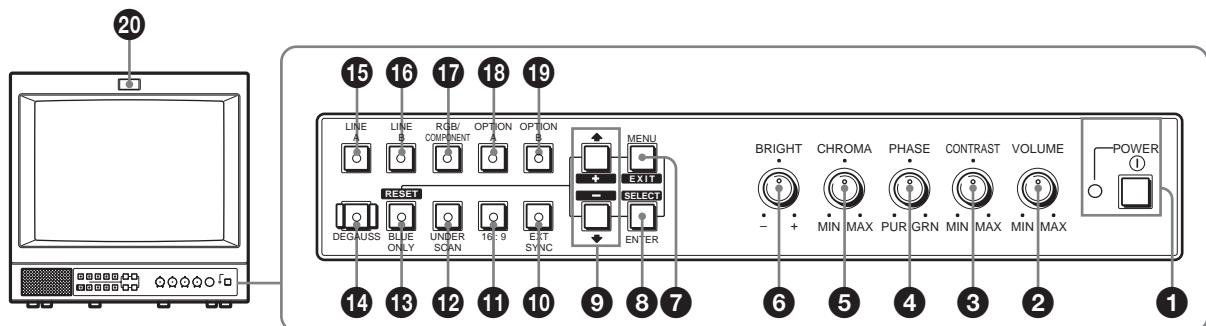
Tirez sur la monture de fiche CA tout en appuyant sur les leviers de verrouillage.

Pour le PVM-9L3/PVM-9L2, vous pouvez utiliser une pile à ion lithium Sony, BP-L60A/BP-L90A ou une pile hybride nickel-métal Sony, BP-M50/BP-M100.

Pour plus d'informations sur la mise en place de la pile, reportez-vous à "Comment insérer la batterie", Couverture dos.

Emplacement et fonction des composants et des commandes

Panneau de commande



① Commutateur POWER ①

Appuyez sur ce commutateur pour mettre le moniteur sous tension. Le voyant s'allume. Appuyez de nouveau sur ce commutateur pour mettre le moniteur hors tension.

② Commande VOLUME

③ Commande CONTRAST

④ Commande PHASE

Remarque

Lorsque vous utilisez un signal PAL ou composant, la phase ne peut pas être réglée.

⑤ Commande CHROMA

⑥ Commande BRIGHT (luminosité)

⑦ Touche MENU/EXIT

Appuyez sur cette touche pour faire apparaître ou disparaître les menus sur l'écran.

⑧ Touche ENTER/SELECT

Appuyez sur cette touche pour valider une option sélectionnée dans le menu.

⑨ Touche ↑/+ (déplacement du curseur vers le haut/réglage de la valeur)

Touche ↓/- (déplacement du curseur vers le bas/réglage de la valeur)

Appuyez sur ces touches pour déplacer le curseur ou pour régler une option sélectionnée dans le menu.

⑩ Touche et voyant EXT SYNC (synchronisation externe)

Appuyez sur cette touche pour activer le moniteur synchronisé avec une entrée de signal de synchronisation externe via le connecteur EXT SYNC.

⑪ Touche et voyant 16:9

Appuyez sur cette touche pour contrôler un signal au format 16:9.

⑫ Touche et voyant UNDERSCAN

Appuyez sur cette touche pour exécuter un sous-balayage.

La taille d'affichage est réduite d'environ 5% de sorte que les quatre coins de l'image soient visibles.

⑬ Touche et voyant BLUE ONLY/RESET

- Comme pour la touche BLUE ONLY, appuyez sur cette touche pour éliminer le composant rouge et vert des signaux d'entrée. Seul le composant bleu d'un signal d'entrée est affiché sur l'écran. Ceci facilite les réglages de la chrominance et de la phase ainsi que l'observation des parasites du magnétoscope. (Le réglage de la phase ne s'applique qu'aux signaux NTSC.)
- Comme pour la touche RESET, vous pouvez réinitialiser le réglage de l'option de menu au réglage précédent en appuyant sur cette touche lorsque la nouvelle option est sélectionnée et en cours de réglage.

⑭ Touche et voyant DEGAUSS

Appuyez une seule fois sur cette touche. L'écran sera démagnétisé. Attendez au moins 10 minutes avant de réutiliser cette touche.

Remarque

La touche DEGAUSS est désactivée lorsque le menu d'écran est affiché.

Pour démagnétiser manuellement le moniteur, quittez d'abord le menu d'écran en appuyant sur la touche MENU/EXIT.

⑮ Touche et voyant LINE A

Appuyez sur cette touche pour contrôler l'entrée du signal via les connecteurs LINE A.

⑯ Touche et voyant LINE B

Appuyez sur cette touche pour contrôler l'entrée du signal via les connecteurs LINE B.

⑰ Touche et voyant RGB/COMPONENT (pour le PVM-14L2/PVM-20L2 uniquement)

Appuyez sur cette touche pour contrôler l'entrée du signal via les connecteurs RGB/COMPONENT.

⑱ Touche et voyant OPTION A

Cette touche fonctionne lorsqu'une carte optionnelle a été installée dans l'emplacement prévu à cet effet sur le panneau arrière. Appuyez sur cette touche pour contrôler l'entrée du signal vidéo via l'entrée 1 de la carte optionnelle et l'entrée du signal audio via la prise OPTION AUDIO INPUT 1.

⑲ Touche et voyant OPTION B

Cette touche fonctionne lorsqu'une carte optionnelle a été installée dans l'emplacement prévu à cet effet sur le panneau arrière. Appuyez sur cette touche pour contrôler l'entrée du signal vidéo via l'entrée 2 de la carte optionnelle et l'entrée du signal audio via la prise OPTION AUDIO INPUT 2.

(Cette touche est désactivée lorsque la carte BKM-129X ou la carte BKM-155DV est utilisée.)

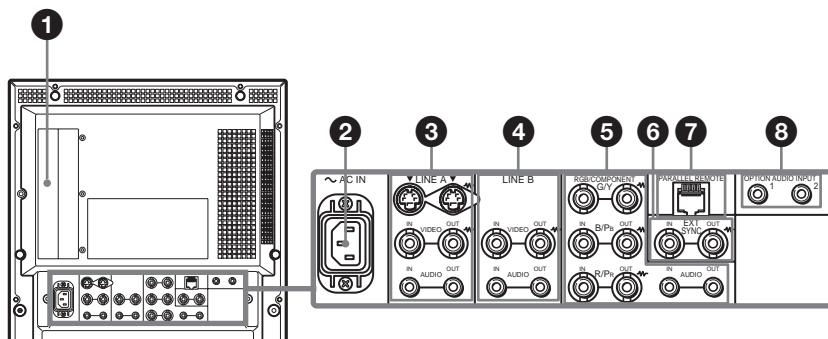
⑳ Témoin de signalisation

Le voyant s'allume lorsqu'une caméra vidéo raccordée sur ce moniteur est sélectionnée. Un câblage spécifique est nécessaire pour que le témoin de signalisation fonctionne correctement.

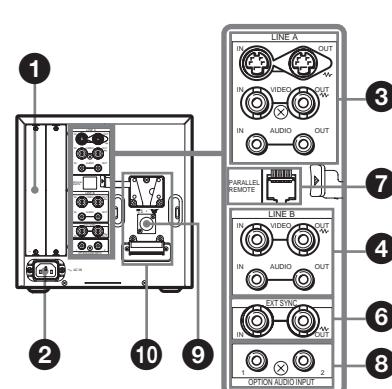
Pour plus d'informations sur ce câblage, reportez-vous à la page 48.

Panneau arrière

PVM-14L2/PVM-20L2



PVM-9L3/PVM-9L2



1 Fente pour la carte optionnelle

Vous pouvez installer dans cet emplacement une carte optionnelle permettant d'étendre la capacité d'entrée. Si vous installez deux cartes elles ne fonctionneront pas.

Pour plus de détails sur l'installation d'une carte, référez-vous au mode d'emploi fourni avec la carte optionnelle.

2 Prise AC IN

Raccordez le cordon d'alimentation secteur à cette prise, puis à une prise murale.

3 Connecteurs LINE A

Connecteurs d'entrée de ligne pour les signaux Y/C séparés, les signaux vidéo composites et les signaux audio ainsi que leurs connecteurs de sortie en boucle passante.

Appuyez sur la touche LINE A du panneau de commande pour contrôler le signal d'entrée via ces connecteurs.

Si vous entrez des signaux vers Y/C IN et VIDEO IN, l'entrée du signal vers Y/C IN est sélectionnée.

Y/C IN/OUT (miniconnecteur DIN à 4 broches)

Ce sont les connecteurs d'entrée/sortie d'un signal Y/C séparé. Raccordez-les aux connecteurs d'entrée/sortie Y/C séparé d'un appareil comme un magnétoscope, une caméra vidéo ou un autre moniteur.

VIDEO IN/OUT (BNC)

Ce sont les connecteurs d'entrée/sortie d'un signal vidéo composite. Raccordez-les aux connecteurs d'entrée/sortie vidéo composite d'un appareil comme un magnétoscope, une caméra vidéo ou un autre moniteur.

AUDIO IN/OUT (prise phono)

Ce sont les prises d'entrée/sortie affectées à un signal audio. Raccordez-les aux prises d'entrée/sortie audio d'un appareil comme un magnétoscope.

4 Connecteurs LINE B

Connecteurs d'entrée de ligne pour les signaux vidéo composites et les signaux audio ainsi que leurs connecteurs de sortie en boucle passante.

Appuyez sur la touche LINE B du panneau de commande pour contrôler l'entrée du signal via ces connecteurs.

VIDEO IN/OUT (BNC)

Ce sont les connecteurs d'entrée/sortie d'un signal vidéo composite. Raccordez-les aux connecteurs d'entrée/sortie vidéo composite d'un appareil comme un magnétoscope, une caméra vidéo ou un autre moniteur.

AUDIO IN/OUT (prise phono)

Ce sont les prises d'entrée/sortie affectées à un signal audio. Raccordez-les aux prises d'entrée/sortie audio d'un appareil comme un magnétoscope.

5 Connecteurs RGB/COMPONENT (pour le PVM-14L2/PVM-20L2 uniquement)

Connecteurs d'entrée des signaux RVB analogiques ou composants (Y, P_B, P_R) ainsi que leurs connecteurs de sortie en boucle passante.

Appuyez sur la touche RGB/COMPONENT du panneau de commande pour contrôler l'entrée du signal via ces connecteurs.

G/Y, B/P_B, R/P_R IN/OUT (BNC)

Ce sont des connecteurs d'entrée/sortie pour un signal RVB analogique et composant (Y, P_B, P_R).

Le moniteur est synchronisé avec le signal de synchronisation du signal G/Y sauf si un signal de synchronisation externe est entré.

AUDIO IN/OUT (prise phono)

Lors de l'utilisation d'un signal RVB analogique ou composant comme signal vidéo, utilisez ces prises pour l'entrée/la sortie d'un signal audio. Raccordez-les aux prises d'entrée/sortie audio d'un appareil comme un magnétoscope.

6 Connecteurs EXT SYNC (synchronisation externe)

Appuyez sur la touche EXT SYNC du panneau de commande pour contrôler un signal de synchronisation externe.

IN/OUT (BNC)

Ce sont les connecteurs d'entrée/sortie affectés à un signal de synchronisation externe. Entrez un signal de référence émis par un générateur de synchronisation vers le connecteur IN. Raccordez le connecteur OUT vers le connecteur d'entrée du signal de synchronisation externe d'un appareil que vous souhaitez synchroniser avec ce moniteur.

7 Borne PARALLEL REMOTE (connecteur modulaire)

Forme un commutateur parallèle et contrôle le moniteur en externe.

Pour plus de détails sur l'affectation des broches et la fonction de réglage d'usine attribuée à chaque broche, reportez-vous à la page 48.

8 Connecteurs d'entrée 1, 2 OPTION AUDIO INPUT

Si une carte optionnelle a été installée dans l'emplacement prévu à cet effet, entrez un signal audio vers ces connecteurs. Vous pouvez raccorder au maximum 2 systèmes. Pour contrôler les signaux audio entrés vers OPTION AUDIO INPUT 1 ou 2, appuyez sur la touche OPTION A ou OPTION B.

9 Connecteurs DC 12V IN (XLR) (pour le PVM-9L3/PVM-9L2 uniquement)

Branchez l'alimentation CC 12 V sur ce connecteur pour alimenter le moniteur.

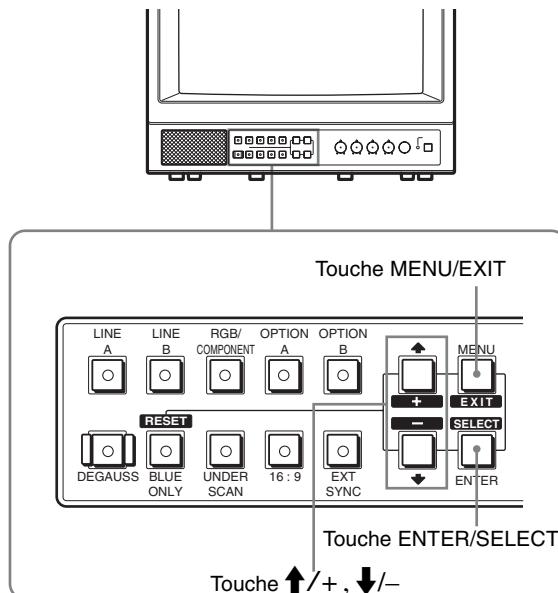
Ce produit doit être alimenté au moyen d'un moteur homologué portant la marque « Classe 2 » et d'une puissance nominale de 12 V CC, 4,2 A.

10 Boîtier pour la pile (pour le PVM-9L3/PVM-9L2 uniquement)

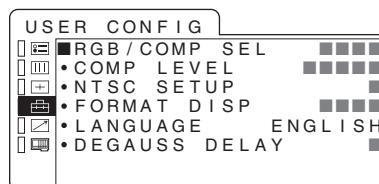
Installez la pile dans ce boîtier. Pour le PVM-9L3/PVM-9L2, une pile à ion lithium Sony, BP-L60A/BP-L90A ou une pile hybride nickel-métal Sony, BP-M50/BP-M100 peut être utilisée.

Sélection du menu Langue

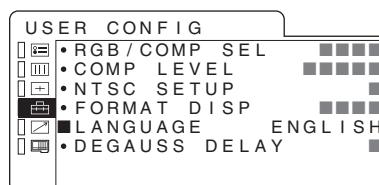
Vous avez le choix entre sept langues (anglais, allemand, français, italien, espagnol, japonais, chinois) pour afficher les menus et les divers messages à l'écran. La langue préréglée d'usine est ENGLISH (anglais). Les réglages courants sont affichés à l'endroit indiqués par les repères ■ sur les illustrations de l'écran de menu.



- 1 Appuyez sur la touche MENU/EXIT pour afficher l'écran de menu. Appuyez ensuite sur la touche ↑/+ ou ↓/- pour sélectionner USER CONFIG, puis sur la touche ENTER/SELECT. Le menu USER CONFIG apparaît.



- 2 Appuyez sur la touche ↑/+ ou ↓/- pour sélectionner "LANGUAGE", puis appuyez sur la touche ENTER/SELECT. L'option sélectionnée est affiché en jaune.



- 3** Appuyez sur la touche $\uparrow/+$ ou $\downarrow/-$ pour sélectionner la langue souhaitée, puis appuyez sur la touche ENTER/SELECT.
La langue affichée à l'écran passe à celle que vous avez sélectionnée.



Pour quitter le menu

Appuyez sur la touche MENU/EXIT.
Le menu disparaît automatiquement si aucune touche n'est activée pendant une minute.

Utilisation du menu

Le moniteur possède un menu affiché à l'écran permettant d'effectuer différents ajustements et réglages comme le contrôle de l'image, le réglage de l'entrée, la modification d'un réglage défini, etc.

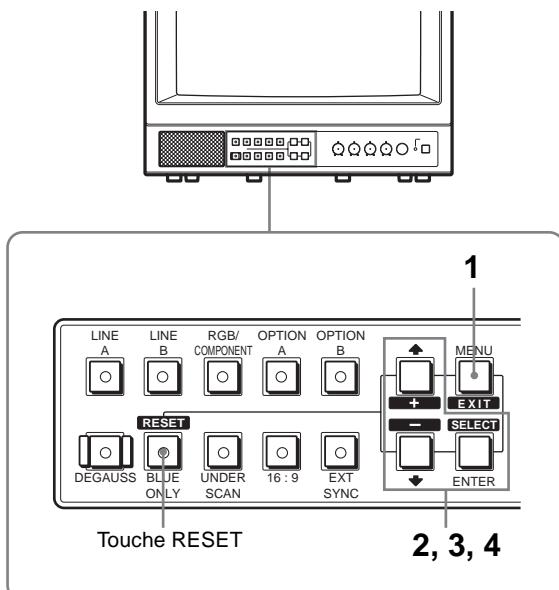
Suivez les instructions ci-dessous pour effectuer les ajustements ou modifier les réglages.

Pour plus de détails sur les options de menu, reportez-vous à la section "Réglages à l'aide des menus", page 43.

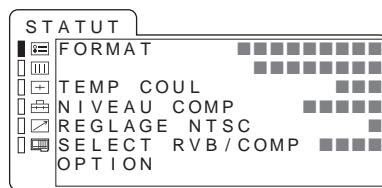
Vous pouvez également modifier la langue du menu affiché à l'écran.

Pour modifier la langue du menu, reportez-vous à la section "Sélection du menu Langue", page 41.

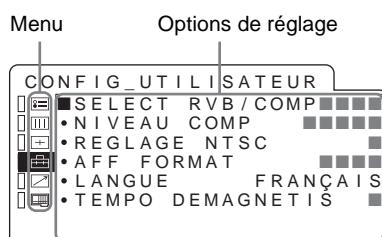
Les réglages courants sont affichés à l'endroit indiqués par les repères ■ sur les illustrations de l'écran de menu.



- 1** Appuyez sur la touche MENU/EXIT.
Le menu apparaît.
Le menu sélectionné est indiqué par une touche jaune.



- 2** Appuyez sur la touche $\uparrow/+$ ou $\downarrow/-$ pour sélectionner un menu, puis appuyez sur la touche ENTER/SELECT.
L'icône du menu sélectionné est indiquée en jaune et les options de réglage disponibles sont affichées.



- 3** Utilisez la touche $\uparrow/+$ ou $\downarrow/-$ pour sélectionner l'option souhaitée, puis appuyez sur la touche ENTER/SELECT.
L'option à modifier est affichée en jaune.

Remarque

Si le menu comporte plusieurs pages, appuyez sur la touche $\uparrow/+$ ou $\downarrow/-$ pour passer à la page de menu souhaitée.

- 4** Effectuez le réglage ou l'ajustement d'une option.

Lors de la modification du niveau de réglage :
Pour augmenter la valeur, appuyez sur la touche $\uparrow/+$.
Pour diminuer la valeur, appuyez sur la touche $\downarrow/-$.
Appuyez sur la touche ENTER/SELECT pour valider la valeur, puis revenez à l'écran initial.

Lors de la modification du réglage :
Appuyez sur la touche $\uparrow/+$ ou $\downarrow/-$ pour modifier le réglage.
Appuyez sur la touche ENTER/SELECT pour valider le réglage.

Remarque

Les options affichées en bleu ne sont pas accessibles.
Vous pouvez accéder à une option si elle est affichée en blanc.

Pour quitter le menu

Appuyez sur la touche MENU/EXIT.

Le menu disparaît automatiquement si aucune touche n'est activée pendant une minute.

Mémorisation des réglages

Les réglages sont automatiquement enregistrés dans la mémoire du moniteur.

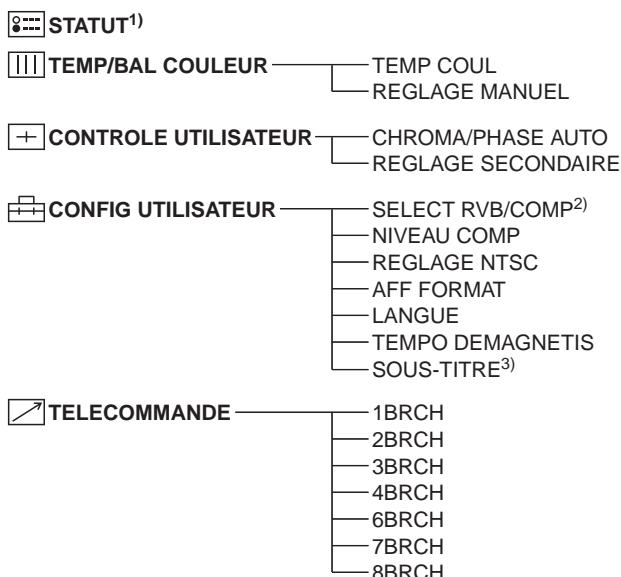
Pour restaurer les options réglées

Appuyez sur la touche RESET lorsque la nouvelle option de menu est sélectionnée et en cours de réglage. Toutes les modifications de ce nouveau réglage d'option sont ignorées et l'option est réinitialisée au réglage précédent.

Réglages à l'aide des menus

Options

Le menu d'écran de ce moniteur comporte les options suivantes.



1) Les options du menu STATUT indiquent les réglages courants.

2) pour le PVM-14L2/PVM-20L2 uniquement

3) SOUS-TITRE est uniquement disponible lorsque le décodeur de sous-titres est installé.

4) Les options du menu CONFIG OPTION diffèrent en fonction de la carte optionnelle installée.

Réglage et modification des paramètres

■ Menu STATUT

Le menu STATUT est utilisé pour afficher le statut courant du moniteur.

Sous-menu	Réglage
FORMAT	Affichage uniquement
TEMP COUL	Affichage uniquement
NIVEAU COMP	Affichage uniquement
REGLAGE NTSC	Affichage uniquement
SELECT RVB/COMP	Affichage uniquement (pour le PVM-14L2/PVM-20L2 uniquement)
OPTION	Affichage uniquement

■ Menu TEMP/BAL COULEUR

Le menu TEMP/BAL COULEUR est utilisé pour régler la compensation des blancs de l'image.

Vous devez utiliser un instrument de mesure pour ajuster la compensation des blancs.

Sous-menu	Réglage
TEMP COUL	Sélectionnez la température de couleur parmi les réglages D65, D93 et UTILISAT.
REGLAGE MANUEL	Si vous réglez TEMP COUL sur UTILISAT, l'option affichée passe du bleu au blanc, vous permettant d'ajuster la température de couleur. <ul style="list-style-type: none">• REGLAGE GAIN...: ajuste la balance des couleurs (GAIN).• REGLAGE POLARIS...: ajuste la balance des couleurs (POLARISATION).• COPIE DE: si vous sélectionnez D65 ou D93 avec la touche ↑/+ ou ↓/-, les données de compensation des blancs de la température de couleur sélectionnée seront copiées vers UTILISAT.

Menu CONTROLE UTILISATEUR

Le menu CONTROLE UTILISATEUR est utilisé pour ajuster l'image.
Les options qui ne peuvent pas être ajustées selon le signal d'entrée sont affichées en bleu.

Sous-menu	Réglage
CHROMA/PHASE AUTO	Ajuste l'intensité des couleurs (CHROMA) et les teintes (PHASE). <ul style="list-style-type: none"> • VAL REGL AUTO : sélectionne les valeurs à appliquer à la chrominance et à la phase, à partir de l'auto réglage ou des réglages d'usine. OUI: valeurs d'auto réglage NON: valeurs prédefinies en usine • DEMARRER: affiche les signaux de barre de couleur (Full/SMPTE/EIA) sur l'écran. Pour en sélectionner un, appuyez sur la touche ENTER/SELECT. La fonction d'auto réglage démarre. Lorsque le réglage a été effectué correctement, VAL REGL AUTO est automatiquement réglé sur OUI. Appuyez sur la touche MENU/EXIT pour quitter l'écran de réglage.
Remarque	Si vous avez sélectionné des barres de couleur pleines, vous devez saisir huit barres de couleur.
REGLAGE SECONDAIRE	Vous pouvez régler la plage de réglage avec précision pour les commandes CONTRAST, PHASE, CHROMA et BRIGHT du panneau de commande. <ul style="list-style-type: none"> • REGLAGE...: règle les options suivantes. <ul style="list-style-type: none"> CONTRASTE...: règle le contraste de l'image. LUMINOSITE...: règle la luminosité de l'image. CHROMA...: règle l'intensité des couleurs. Plus le réglage est élevé, plus l'intensité est élevée. Plus le réglage est bas, plus l'intensité est basse. PHASE...: règle les teintes des couleurs. Plus le réglage est élevé, plus l'image devient verdâtre. Plus le réglage est bas, plus l'image devient violette. OUVERTURE...: règle la netteté de l'image. Plus le réglage est élevé, plus l'image est nette.

Menu CONFIG UTILISATEUR

Le menu CONFIG UTILISATEUR permet de sélectionner une langue pour les menus et les messages affichés à l'écran ou de déterminer le type de signal vidéo pouvant être accepté sur les connecteurs RGB/COMPONENT (signal RVB analogique ou composant).

Sous-menu	Réglage
SELECT RVB/COMP (pour le PVM-14L2/ PVM-20L2 uniquement)	Choisissez RVB ou COMPOSANT selon le type de signal vidéo que vous souhaitez entrer sur les connecteurs RGB/COMPONENT.
NIVEAU COMP	Sélectionnez le niveau de composant parmi trois modes. SMPTE : signal 100/0/100/0 BETA 7,5 : signal 100/7,5/75/7,5 BETA 0 : signal 100/0/75/0
REGLAGE NTSC	Sélectionnez le niveau de réglage NTSC parmi deux modes. Le niveau de réglage 7,5 est principalement utilisé en Amérique du Nord. Le niveau de réglage 0 est principalement utilisé au Japon.
AFF FORMAT	Détermine si le format d'un signal d'entrée est affiché sur l'écran ou non. OUI: le format est toujours affiché. NON: le format est toujours masqué. AUTO: le format est affiché pendant environ 10 secondes lorsque l'entrée du signal commence.
LANGUE	Pour afficher les menus ou les messages, vous avez le choix parmi les options suivantes pour sélectionner la langue. 日本語: japonais ENGLISH: anglais DEUTSCH: allemand FRANÇAIS: français ITALIANO: italien ESPAÑOL: espagnol 中文: chinois
TEMPO DEMAGNETIS	Règle le délai à l'issue duquel la démagnétisation automatique démarre après avoir mis l'appareil sous tension. Le délai peut aller de 0 à 99 secondes.
SOUS-TITRE (uniquement disponible lorsque le décodeur de sous-titres est installé.)	Sélectionne le mode d'affichage des sous-titres parmi les options suivantes : NON, CAPTION 1, CAPTION 2, TEXT 1 et TEXT 2.

Menu TELECOMMANDE

Le menu TELECOMMANDE est utilisé pour affecter les fonctions aux broches de la borne PARALLEL REMOTE.

Les broches 1 à 4 et 6 à 8 peuvent être utilisées. La liste suivante indique les fonctions que vous pouvez affecter aux broches.

- -- (Aucune fonction n'est affectée.)
- LIGNE A
- LIGNE B
- RVB/COMP (pour le PVM-14L2/PVM-20L2 uniquement)
- OPTION A
- OPTION B
- SIGNAL
- SOUS-BALAYAGE
- 16:9
- SYNCHRO EXT
- BLEU SEUL
- DEGAUSS

Remarque

Si vous utilisez la fonction de télécommande parallèle, vous devrez procéder à des raccordements.

Pour plus de détails, reportez-vous à la page 48.

Menu CONFIG OPTION

Le menu CONFIG OPTION permet de définir la carte optionnelle installée dans l'emplacement prévu à cet effet sur le panneau arrière. Selon la carte installée, l'écran affiché peut être différent. Si aucune carte n'est installée, les réglages d'option ne sont pas affichés.

Après avoir affecté le signal d'entrée, veillez à ajuster la CHROMA/PHASE AUTO du moniteur.

Lors de l'installation de la carte optionnelle BKM-150CP :

Sous-menu	Réglage
FORMAT	Définit le type de signal. Sélectionnez SDTI-CP ou D1-SDI.
AUDIO	Sélectionne un canal audio. D1-SDI Sélectionnez un canal parmi CH1+CH2 et CH15+CH16 ou CH1 et CH16. SDTI-CP Sélectionnez un canal parmi CH1+CH2 et CH7+CH8 ou CH1 et CH8. Le signal audio entré vers la prise OPTION AUDIO INPUT 1/2 est ignoré.
TIME CODE	Sélectionne l'affichage du code temporel. D1-SDI Sélectionnez VITC, RP188 ou NON. SDTI-CP Sélectionnez VITC, CP-TC1, CP-TC2, ES-TC1, ES-TC2 ou NON.

La liste suivante indique les abréviations du menu et leur signification complète :

- CP-TC1 : SMPTE 331M Option système DATE UTILISATEUR/HORODATEUR
- CP-TC2 : SMPTE 331M Option système DATE CREATION/HORODATEUR
- ES-TC1 : SMPTE 328M MPEG ES Informations d'édition CODE TEMPOREL1
- ES-TC2 : SMPTE 328M MPEG ES Informations d'édition CODE TEMPOREL2
- RP188 : SMPTE RP188 Code temporel
- VITC : SMPTE 12M VITC, SMPTE 266M D-VITC

Lors de l'installation de la carte optionnelle BKM-155DV:

Sous-menu	Réglage
AUDIO	Sélectionne un canal audio. Vous avez le choix entre CH1+CH2, CH3+CH4, CH1/3, CH2/4, CH1/3+CH2/4, ou CH1 à CH4. Le signal audio entré vers la prise OPTION AUDIO INPUT 1/2 est ignoré.

Lors de l'installation de la carte optionnelle BKM-120D ou BKM-129X :

Le numéro de série de la carte est affiché dans le menu CONFIG OPTION.

Si le ventilateur de la BKM-150CP ou de la BKM-155DV s'arrête, le message suivant s'affiche en rouge sur l'écran : "ERREUR VENTIL. BKM-xxxxx". Dans ce cas, il est impossible de sélectionner l'option A ou l'option B.

Dépannage

Cette section peut vous aider à identifier un problème et à le résoudre sans recourir à une assistance technique.

- **L'affichage est de couleur verte ou violette. →**
Sélectionnez l'entrée correcte en appuyant sur l'une des touches associées à l'entrée.
- **L'entrée du signal via les connecteurs d'entrée RGB/COMPONENT n'apparaît pas sur l'écran (pour le PVM-14L2/PVM-20L2 uniquement). →**
Réglez SELECT RVB/COMP dans le menu CONFIG UTILISATEUR de façon appropriée en fonction du type de signal d'entrée.
- **La carte BKM-150CP ou la BKM-155DV est installée. Le message d'erreur "ERREUR VENTIL. BKM-xxxxx" s'affiche et il est impossible de sélectionner l'option A ou l'option B.** → Réparez la carte BKM-xxxxx.

Spécifications

Généralités

PVM-9L3/PVM-9L2

Tube à rayon cathodique :

HR Trinitron, matériau luminescent
P22 (PVM-9L3)
Trinitron, matériau luminescent P22
(PVM-9L2)

Alimentation : CA 100 à 240 V, 50/60 Hz

Consommation électrique :

58 W, 0,6 à 0,3 A maxi. (lorsque la carte optionnelle BKM-150CP est installée) 12 V CC, 4,2 A, 48 W
Standard : 47 W, 0,5 à 0,25 A (sans carte optionnelle) 12 V CC, 3,3 A, 38 W

Appel de courant de crête :

(1) Mise sous tension (ON), méthode de sondage du courant:
70 A (240 V)
(2) Mesuré conformément à la norme européenne EN55103-1:
12 A (230 V)

Dimensions (maxi.) :

Environ 217 × 218 × 373 mm
(8 5/8 × 8 5/8 × 14 3/4 pouces)
(l/h/p)

Poids : Environ 8,0 kg (17 livres 10 onces)

PVM-14L2

Tube à rayon cathodique : Trinitron, matériau luminescent P22

Alimentation : CA 100 à 240 V, 50/60 Hz

Consommation électrique :

85 W, 0,9 à 0,4 A maxi (lorsque la carte optionnelle BKM-150CP est installée)
Standard : 75 W, 0,8 à 0,35 A (sans carte optionnelle)

Appel de courant de crête :

(1) Mise sous tension (ON), méthode de sondage du courant:
53 A (240 V)
(2) Mesuré conformément à la norme européenne EN55103-1:
35 A (230 V)

Dimensions (maxi.) :

Environ 346 × 340 × 430 mm
(13 5/8 × 13 1/2 × 17 pouces)
(l/h/p)

Poids : Environ 18,0 kg (39 livres 11 onces)

PVM-20L2

Tube à rayon cathodique : Trinitron, matériau luminescent P22

Alimentation : CA 100 à 240 V, 50/60 Hz

Consommation électrique :

108 W, 1,1 à 0,5 A maxi. (lorsque la carte optionnelle BKM-150CP est installée)
Standard : 98 W, 1,0 à 0,4 A (sans carte optionnelle)

Appel de courant de crête :

(1) Mise sous tension (ON), méthode de sondage du courant:
53 A (240 V)
(2) Mesuré conformément à la norme européenne EN55103-1:
35 A (230 V)

Dimensions (maxi.) :

Environ 453 × 463 × 529 mm
(17 7/8 × 18 1/4 × 20 7/8 pouces)
(l/h/p)

Poids : Environ 33,0 kg (72 livres 12 onces)

Connecteurs d'entrée/sortie

Entrées

Connecteurs d'entrée LINE A

Entrée Y/C miniconnecteur DIN à 4 broches (1)

Entrée VIDEO

Type BNC (1) 1 Vp-p +3 dB –6 dB,
synchronisation négative

Entrée AUDIO

Prise phono (1) –5 dBu 47 kΩ ou plus

Connecteurs d'entrée LINE B

Entrée VIDEO

Type BNC (1) 1 Vp-p +3 dB –6 dB,
synchronisation négative

Entrée AUDIO

Prise phono (1) –5 dBu 47 kΩ ou plus

Connecteurs d'entrée RVB/composant

Type BNC (3) (pour le PVM-14L2/
PVM-20L2 uniquement)

Entrée RVB 0,7 Vp-p +3 dB –6 dB (Synchronisation sur le vert, 0,3 Vp-p synchronisation négative)

Entrée composant

0,7 Vp-p +3 dB –6 dB (signal de barre de couleur standard à 75% de chrominance)

Entrée AUDIO

Prise phono (1) –5 dBu 47 kΩ ou plus

Connecteur d'entrée synchronisé en externe

Type BNC (1) 0,3 à 8 Vp-p

Bipolarité ternaire ± ou polarité binaire négative

Prises d'entrée AUDIO optionnelles

Prise phono (2) –5 dBu 47 kΩ ou plus

Borne d'entrée de la télécommande

Télécommande parallèle

Connecteur modulaire 8 broches (1)

Sorties

Connecteurs de sortie LINE A

Sortie Y/C miniconnecteur DIN à 4 broches (1) en boucle, avec terminaison automatique à 75 Ω

Sortie VIDEO

Type BNC (1) en boucle, avec terminaison automatique à 75 Ω

Sortie AUDIO

Prise phono (1) en boucle

Connecteurs de sortie LINE B

Sortie VIDEO

Type BNC (1) en boucle, avec terminaison automatique à 75 Ω

Sortie AUDIO

Prise phono (1) en boucle

Connecteurs de sortie RVB/composant (pour le PVM-14L2/PVM-20L2 uniquement)

Sortie RVB/composant

Type BNC (3) en boucle, avec terminaison automatique à 75 Ω

Sortie AUDIO

Prise phono (1) en boucle

Connecteur de sortie synchronisé en externe

Type BNC (1) en boucle, avec terminaison automatique à 75 Ω

Sortie haut-parleur intégré

0,8 W (monaural)

Signal vidéo

Réponse en fréquence

PVM-9L3/PVM-9L2

50 Hz à 6 MHz (0 dB/-3 dB)

PVM-14L2/PVM-20L2

50 Hz à 10 MHz (0 dB/-3 dB)

Correction d'ouverture¹⁾

NON: 0 dB

OUI: 2 dB à 6 dB

Performances d'image

Balayage normal

6% de sur-balayage sur la surface utile de l'écran cathodique (PVM-9L3/PVM-9L2)

7% de sur-balayage sur la surface utile de l'écran cathodique (PVM-14L2/PVM-20L2)

Sous-balayage 5% de sous-balayage sur la surface utile de l'écran cathodique

PVM-9L3/PVM-9L2

H : inférieure à 4%

V : inférieure à 4%

PVM-14L2

H : inférieure à 4%

V : inférieure à 4%

PVM-20L2

H : inférieure à 5%

V : inférieure à 5%

Température de couleur

D65, D93, sélection UTILISAT (température de couleur réglable : 5000 K à 10000 K)

Erreur de convergence

PVM-9L3/PVM-9L2

Centre : 0,4 mm (1/32 pouces) ou moins

Périphérique : 0,5 mm (1/32 pouces) ou moins

PVM-14L2

Centre : 0,4 mm (1/32 pouces) ou moins

Périphérique : 0,5 mm (1/32 pouces) ou moins

PVM-20L2

Centre : 0,5 mm (1/32 pouces) ou moins

Périphérique : 0,7 mm (1/32 pouces) ou moins

Stabilité de trame

H : 1,0%

V : 1,0%

Résolution (au centre de l'écran)

450 lignes TV (PVM-9L3)

250 lignes TV (PVM-9L2)

600 lignes TV (PVM-14L2/PVM-20L2)

Conditions d'utilisation

Température 0 °C à 35 °C (32 °F à 95 °F)

Humidité 30% à 85% (sans condensation)

Pression 700 hPa à 1060 hPa

Conditions de transport et de stockage

Température -10 °C à 40 °C (14 °F à 104 °F)

Humidité 0% à 90%

Pression 700 hPa à 1060 hPa

1) L'ouverture ne peut pas être corrigée pour les signaux d'entrée RVB.

Accessoires fournis

Cordon d'alimentation secteur (1)

Monture de fiche CA (1)

Mode d'emploi (1)

Le PVM-9L3/PVM-9L2/PVM-14L2/PVM-20L2 est un moniteur vidéo couleur Trinitron destiné à un usage professionnel.

La conception et les spécification sont sujettes à modification sans préavis.

Affectation des broches

Borne PARALLEL REMOTE

Connecteur modulaire

(8 broches)



Numéro de broche	Fonctions
1	Définissez le signal d'entrée LINE A
2	Définissez le signal d'entrée LINE B
3	Activez ou désactivez le témoin de signalisation
4	Sélectionnez un sous-balayage
5	Terre
6	Activez ou désactivez le mode bleu uniquement
7	Sélectionnez le format 16:9
8	Sélectionnez la synchronisation externe

Vous pouvez affecter les fonctions à l'aide du menu TELECOMMANDE.

Un câblage est requis pour utiliser la télécommande

Raccordez la fonction que vous souhaitez utiliser avec une télécommande à la terre (broche 5).

VORSICHT

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlages zu vermeiden, darf das Gerät weder Regen noch Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Im Inneren des Geräts liegt gefährliche Hochspannung an. Öffnen Sie niemals das Gehäuse, und überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

Sollten am Gerät Probleme auftreten oder Wartungsarbeiten erforderlich werden, wenden Sie sich an einen autorisierten Sony-Händler.

Für Kunden in Europa

Dieses Produkt besitzt die CE-Kennzeichnung und erfüllt sowohl die EMV-Direktive (89/336/EEC) als auch die Direktive Niederspannung (73/23/EEC) der EG-Kommission.

Die Erfüllung dieser Direktiven bedeutet Konformität für die folgenden Europäischen Normen:

- EN60950: Produktsicherheit
- EN55103-1: Elektromagnetische Interferenz (Emission)
- EN55103-2: Elektromagnetische Empfindlichkeit (Immunität)

Dieses Produkt ist für den Einsatz unter folgenden elektromagnetischen Bedingungen ausgelegt:
E1 (Wohnbereich), E2 (kommerzieller und in beschränktem Maße industrieller Bereich), E3 (Stadtgebiet im Freien) und E4 (kontrollierter EMV-Bereich, z.B. Fernsehstudio)

Diese Produkte sind für den Einsatz in Umgebungen vorgesehen, die den Normen E1 bis E4 entsprechen. Bei EMV-Belastung kann die Leistung (bewertet nach ITU/R 562-3 und ITU/R 500-4) wie in Tabelle 1 dargestellt abfallen. Bei Wegfall der EMV-Belastung steigt die Leistung wieder auf den vollen Wert an.

Tabelle 1

	Frequenz	Stufe
PVM-14L2 (14-Zoll-Monitor)	210 – 340 MHz/ 625 – 655 MHz	3,5
PVM-20L2 (20-Zoll-Monitor)	259 – 346 MHz/ 385 – 457 MHz	3,5

ACHTUNG - bei Installation des Geräts in einem Gestell:

a) Erhöhte Umgebungstemperatur bei Betrieb

Wird das Gerät in einem geschlossenen Gestell oder einem Gestell mit mehreren anderen Geräten installiert, kann die Umgebungstemperatur um das Gestell höher sein als die normale Umgebungstemperatur im Raum. Achten Sie daher bitte besonders darauf, das Gerät in einer Umgebung zu installieren, in der die Temperatur nicht über die vom Hersteller angegebene Umgebungstemperatur von 0 bis +35 °C ansteigt.

b) Reduzierte Belüftung

Das Gerät muß so im Gestell installiert werden, daß eine Belüftung gewährleistet ist, die für den sicheren Betrieb des Geräts erforderlich ist.

c) Mechanische Belastung

Das Gerät muß so im Gestell installiert werden, daß nicht durch eine ungleichmäßige mechanische Belastung Unfallgefahr entsteht.

d) Überlastung der Stromkreise

Der Anschluß des Geräts an das Versorgungsnetz erfordert sorgfältige Planung. Bitte beachten Sie insbesondere die Auswirkungen, die eine Überlastung der Stromkreise im Hinblick auf den Überspannungsschutz und die physischen Komponenten des Versorgungsnetzes haben kann. Beachten Sie in diesem Zusammenhang unbedingt die Angaben auf dem Typenschild am Gerät.

e) Zuverlässige Erdung

Geräte, die in einem Gestell installiert werden, benötigen eine zuverlässige Erdung. Achten Sie insbesondere auf Anschlüsse an das Versorgungsnetz, die nicht direkt an einen Abzweigstromkreis, sondern indirekt, zum Beispiel über Steckerleisten, erfolgen.

f) Erforderliche Abstände

Halten Sie zur Ober- und Unterseite eines in einem Gestell installierten Geräts einen Abstand von 44 mm ein.

Inhalt

Sicherheitsmaßnahmen	52
Sicherheit	52
Aufstellung	52
Reinigen der Mattscheibe	52
Reinigung	52
Transport	52
Gestellmontage	52
Merkmale und Funktionen	52
Verbindungen	54
Anschließen des Netzkabels	54
Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente	54
Bedienfeld	54
Rückseite	56
Auswählen der Sprache für die Menüs	57
Das Menüsystem	58
Einstellen des Geräts über das Menüsystem	59
Die Menüs	59
Festlegen und Ändern von Einstellungen	59
Menü STATUS	59
Menü FARBTTEMP./BALANCE	59
Menü BENUTZERSTEUERUNG	60
Menü BENUTZERKONFIG.	60
Menü FERN	61
Menü OPTIONSKONFIGURATION	61
Störungsbehebung	62
Technische Daten	62
Abmessungen	i
Anbringen des Akkus (nur für PVM-9L3/ PVM-9L2).....	Hintere Umschlagseite

DE
Deutsch

Sofern nicht anders angegeben, beziehen sich die Erläuterungen in dieser Anleitung auf die folgenden Modelle.

Wenn es zwischen den Modellen Unterschiede gibt, wird in dieser Anleitung ausdrücklich darauf hingewiesen.

- PVM-9L3 9-Zoll-Monitor
- PVM-9L2 9-Zoll-Monitor
- PVM-14L2 14-Zoll-Monitor
- PVM-20L2 20-Zoll-Monitor

Wenn nicht anders angegeben, zeigen die Abbildungen das Modell PVM-14L2.

Sicherheitsmaßnahmen

Sicherheit

- Betreiben Sie das Gerät ausschließlich an einer im Abschnitt "Technische Daten" angegebenen Stromquelle.
- Das Typenschild mit Betriebsspannung, Leistungsaufnahme usw. befindet sich an der Geräterückseite.
- Sollten Fremdkörper oder Flüssigkeiten in das Gehäuse gelangen, trennen Sie das Gerät von der Netzsteckdose. Lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Fachpersonal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Lassen Sie nichts auf das Netzkabel fallen und stellen Sie keine schweren Gegenstände darauf. Schalten Sie das Gerät sofort aus, wenn das Netzkabel beschädigt wurde. Es ist gefährlich, das Gerät mit einem beschädigten Netzkabel weiter zu betreiben.
- Wollen Sie das Gerät einige Tage oder länger nicht benutzen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose.
- Ziehen Sie immer am Stecker, wenn Sie das Netzkabel lösen möchten, nie am Kabel selbst.
- Die Netzsteckdose muss sich in der Nähe des Geräts befinden und leicht zugänglich sein.

Aufstellung

- Achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, damit sich im Gerät kein Wärmestau bildet.
Stellen Sie das Gerät nicht auf Oberflächen wie Teppichen oder Decken oder in der Nähe von Materialien wie Gardinen und Wandbehängen auf, die die Lüftungsöffnungen blockieren könnten.
- Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe von Wärmequellen wie Heizkörpern oder Warmluftauslässen oder an Orten auf, an denen es direktem Sonnenlicht, außergewöhnlich viel Staub, mechanischen Vibrationen oder Stößen ausgesetzt ist.

Reinigen der Mattscheibe

- Verwenden Sie zum Reinigen der Mattscheibe (Oberfläche der Kathodenstrahlröhre) ein weiches Tuch.
Wenn die Mattscheibe durch Fettspuren oder Fingerabdrücke verunreinigt ist, reinigen Sie sie mit einem weichen Tuch, das Sie leicht mit einer milden Reinigungslösung angefeuchtet haben.

- Verwenden Sie keine Scheuermittel, keine alkalischen Seifen und keine starken Lösungsmittel wie Alkohol, Verdünner oder Benzin, da diese die Oberfläche angreifen.
- Reiben Sie nicht mit einem festen Gegenstand über die Mattscheibe und stoßen Sie nicht dagegen.

Reinigung

Damit das Gerät immer wie neu aussieht, reinigen Sie es regelmäßig mit einer milden Reinigungslösung. Verwenden Sie keine Lösungsmittel wie Verdünner oder Benzin und keine Scheuermittel, da sie die Gehäuseoberfläche angreifen. Trennen Sie zur Sicherheit das Gerät vor dem Reinigen von der Stromversorgung.

Transport

Werfen Sie den Karton und die Verpackungsmaterialien nicht weg. Sie sind ideal für den Transport des Geräts geeignet. Wenn Sie das Gerät transportieren müssen, verpacken Sie es wie auf dem Karton abgebildet.

Gestellmontage

Lassen Sie über und unter dem Monitor ein Gestellraster frei, damit eine ausreichende Belüftung gewährleistet ist, oder installieren Sie einen Ventilator, um die Funktionsfähigkeit des Geräts sicherzustellen.

Wenn Sie Fragen zu dem Gerät haben, wenden Sie sich bitte an einen autorisierten Sony-Händler.

Merkmale und Funktionen

Bild

Trinitron¹⁾-Bildröhre

Bei Trinitron-Bildröhren beträgt die Horizontalauflösung in der Bildmitte über 600 Fernsehzeilen (nur beim PVM-14L2/PVM-20L2).

Kammfilter

Wenn NTSC-Videosignale eingespeist werden, wird ein Kammfilter aktiviert, um eine bessere Trennung der Y/C-Signale zu erzielen. Dies trägt zu einer geringeren Beeinträchtigung der Auflösung sowie zur Unterdrückung von Farbfeuern und Luminanzübersprechen bei.

1)"Trinitron" ist ein eingetragenes Warenzeichen der Sony Corporation.

Strahlstrom-Rückführschaltung

Die integrierte Strahlstrom-Rückführschaltung gewährleistet einen stabilen Weißwert.

Zwei Farbsysteme werden unterstützt

Mit diesem Monitor können NTSC- und PAL-Signale angezeigt werden. Das Farbsystem des Eingangssignals wird automatisch erkannt.

Eingänge

Analoge RGB-/Farbdifferenzsignaleingänge (nur beim PVM-14L2/PVM-20L2)

Über diese Anschlüsse können analoge RGB- bzw. Farbdifferenzsignale (Y, P_B, P_R) von Videogeräten eingespeist werden. Drücken Sie die Taste RGB/COMPONENT am Bedienfeld des Monitors, um diese Signale anzeigen zu lassen.

Y/C-Eingang (S-Eingang)

Über diesen Anschluss kann ein Luminanz- (Y) und ein Chrominanzsignal (C) getrenntes Videosignal eingespeist werden. Interferenzen zwischen den Signalen werden so vermieden und es lässt sich eine höhere Bildqualität erzielen.

Weitere Eingangsoptionen installierbar

Sie können den Monitor problemlos mit weiteren Eingangsoptionen ausrüsten, indem Sie im Erweiterungssteckplatz an der Rückseite eine Zusatzkarte (nicht mitgeliefert) installieren. Allerdings kann nur eine Karte zur Erweiterung der Eingangsoptionen installiert werden. Wenn Sie zwei Karten installieren, funktionieren diese nicht.

Externer Synchronisationssignaleingang

Wenn Sie die Taste EXT SYNC am Bedienfeld einmal drücken, kann der Monitor über einen Synchronisationssignal von einem externen Synchronisationsgenerator gesteuert werden.

Automatischer Abschluss (nur bei Anschlüssen mit der Markierung $\wedge\vee$)

Der Eingang ist intern mit 75 Ohm abgeschlossen, sofern nichts an den Ausgang angeschlossen ist. Wenn Sie ein Kabel an den Ausgang anschließen, wird der interne Anschluss automatisch freigeschaltet und die am Eingang eingespeisten Signale werden über den Ausgang ausgegeben (Durchschleifverbindung).

Funktionen

Automatische Einstellung von Chroma/Phase

Chroma und Phase werden automatisch eingestellt.

Modus "Nur Blau"

Im Modus "Nur Blau" wird nur die Blaukomponente eines Eingangssignals angezeigt. Dies vereinfacht die Einstellung von Farbsättigung und Phase sowie die Überprüfung von Videostörrauschen.

Underscan-Modus

Im Underscan-Modus werden Zeilen, die sich normalerweise außerhalb des sichtbaren Bildbereichs befinden, angezeigt, so dass Sie den gesamten Anzeigebereich sehen können.

Hinweis

Wenn sich der Monitor im Underscan-Modus befindet, sind möglicherweise am oberen Bildschirmrand dunkle RGB-Abtastzeilen zu sehen. Diese gehen auf ein internes Testsignal zurück.

16:9-Modus

Mit diesem Monitor können neben Bildern im Format 4:3 auch Bilder im Format 16:9 präzise angezeigt werden.

Automatisches/manuelles Entmagnetisieren

Der Monitor wird automatisch entmagnetisiert, wenn das Gerät eingeschaltet wird. Sie können den Monitor auch manuell entmagnetisieren. Drücken Sie dazu die Taste DEGAUSS.

Im Menüsystem können Sie eine Zeit voreinstellen, zu der der Monitor automatisch entmagnetisiert werden soll, nachdem er eine Zeit lang eingeschaltet war.

Bildschirrmenüs

Über die Bildschirrmenüs können Sie die Farbtemperatur, Chroma und weitere Optionen einstellen.

Optionen

Halterung für Montage im 19-Zoll-EIA-Gestell erhältlich

Mit den folgenden Montagehalterungen bzw. Gleitschienen können Sie den Monitor in einem 19-Zoll-EIA-Standardgestell montieren.

Für den PVM-9L3/PVM-9L2: MB-520

Für den PVM-14L2: MB-502B (MB-502C in Europa)

Für den PVM-20L2: SLR-103A (SLR-103C in Europa)

Erläuterungen zur Gestellmontage des Monitors finden Sie in der Bedienungsanleitung zur Montagehalterung bzw. Gleitschiene.

Untertitel-Decoder erhältlich

Wenn die erforderlichen Komponenten installiert sind, kann der Monitor Untertitel decodieren. Im Menü können Sie festlegen, ob Untertitel angezeigt werden sollen oder nicht und wie sie gegebenenfalls angezeigt werden sollen. Näheres zu den erforderlichen Komponenten erfahren Sie bei Ihrem Sony-Händler.

Verbindungen

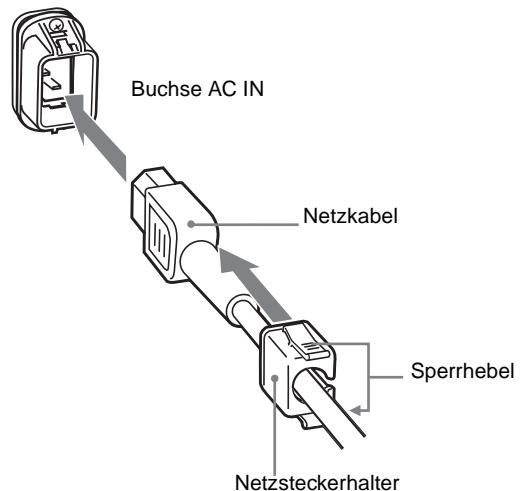
Anschließen des Netzkabels

So schließen Sie das Netzkabel an

Schließen Sie das Netzkabel an die Buchse AC IN an. Bringen Sie dann den Netzsteckerhalter (mitgeliefert) am Netzkabel an und schieben Sie ihn über das Kabel, bis er einrastet.

So nehmen Sie das Netzkabel ab

Halten Sie die Sperrhebel gedrückt und ziehen Sie den Netzsteckerhalter heraus.

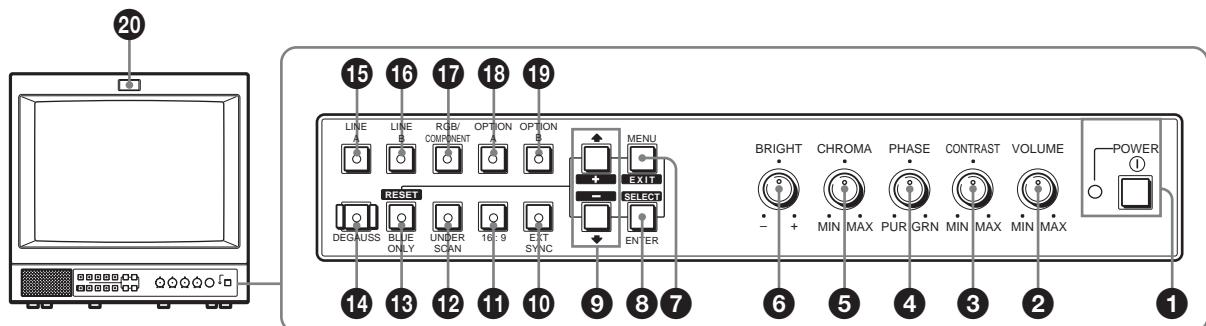


Für den PVM-9L3/PVM-9L2 können Sie den Lithium-Ionen-Akku BP-L60A/BP-L90A von Sony oder den Nickel-Metall-Hydrid-Akku BP-M50/BP-M100 von Sony benutzen.

Erläuterungen zum Anbringen des Akkus finden Sie unter "Anbringen des Akkus" auf Hintere Umschlagseite.

Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente

Bedienfeld



① Schalter POWER (1)

Mit diesem Schalter schalten Sie den Monitor ein. Dabei leuchtet die Anzeige auf. Wenn Sie den Schalter erneut drücken, schaltet sich der Monitor aus.

② Regler VOLUME

③ Regler CONTRAST

④ Regler PHASE

Hinweis

Bei einem PAL- oder Farbdifferenzsignal lässt sich die Phase nicht einstellen.

⑤ Regler CHROMA

⑥ Regler BRIGHT (Helligkeit)

⑦ Taste MENU/EXIT

Diese Taste dient zum Aufrufen und Ausblenden der Menüs auf dem Monitor.

⑧ Taste ENTER/SELECT

Diese Taste dient zum Bestätigen der ausgewählten Option im Menü.

⑨ Taste ↑/+ (zum Verschieben des Cursors nach oben/zum Einstellen eines Werts)

Taste ↓/- (zum Verschieben des Cursors nach unten/zum Einstellen eines Werts)

Diese Tasten dienen zum Verschieben des Cursors und zum Einstellen des ausgewählten Werts im Menü.

⑩ Taste und Anzeige EXT SYNC (externe Synchronisation)

Drücken Sie diese Taste, wenn der Monitor über ein externes Synchronisationssignal gesteuert werden soll, das in den Anschluss EXT SYNC eingespeist wird.

⑪ Taste und Anzeige 16:9

Drücken Sie diese Taste, um ein Signal mit dem Bildseitenverhältnis 16:9 anzeigen zu lassen.

⑫ Taste und Anzeige UNDERSCAN

Mit dieser Taste wechseln Sie in den Underscan-Modus. In diesem Modus wird die Anzeigegröße des Bildes um etwa 5% verkleinert, so dass das gesamte Bild einschließlich aller vier Bildecken zu sehen ist.

⑬ Taste und Anzeige BLUE ONLY/RESET

- Wenn diese Taste als Taste BLUE ONLY fungiert, eliminiert sie die Rot- und Grünkomponente des Eingangssignals. Dadurch wird nur noch die Blaukomponente des Eingangssignals am Bildschirm angezeigt. Dies vereinfacht die Einstellung von Chroma und Phase sowie die Überprüfung von Videostörrauschen. Eine Phaseneinstellung ist allerdings nur bei NTSC-Signalen möglich.
- Wenn diese Taste als Taste RESET fungiert, können Sie eine Menüoption, die Sie ausgewählt haben und gerade neu einstellen, auf den vorherigen Wert zurücksetzen.

⑭ Taste und Anzeige DEGAUSS

Drücken Sie diese Taste nur einmal. Daraufhin wird der Bildschirm entmagnetisiert. Warten Sie mindestens 10 Minuten, bevor Sie diese Taste nochmals drücken.

Hinweis

Die Taste DEGAUSS ist deaktiviert, solange das Bildschirmmenü angezeigt wird.

Wenn Sie den Monitor manuell entmagnetisieren wollen, blenden Sie zunächst mit der Taste MENU/EXIT das Menü aus.

⑮ Taste und Anzeige LINE A

Drücken Sie diese Taste, wenn das Signal von den LINE A-Anschlüssen angezeigt werden soll.

⑯ Taste und Anzeige LINE B

Drücken Sie diese Taste, wenn das Signal von den LINE B-Anschlüssen angezeigt werden soll.

⑰ Taste und Anzeige RGB/COMPONENT (nur beim PVM-14L2/PVM-20L2)

Drücken Sie diese Taste, wenn das Signal von den RGB/COMPONENT-Anschlüssen angezeigt werden soll.

⑱ Taste und Anzeige OPTION A

Diese Taste wird verwendet, wenn im Erweiterungssteckplatz an der Rückseite des Monitors eine Zusatzkarte installiert ist. Drücken Sie diese Taste, wenn das Videosignal von Eingang 1 der Zusatzkarte und das Audiosignal von Eingang OPTION AUDIO INPUT 1 verwendet werden soll.

⑲ Taste und Anzeige OPTION B

Diese Taste wird verwendet, wenn im Erweiterungssteckplatz an der Rückseite des Monitors eine Zusatzkarte installiert ist. Drücken Sie diese Taste, wenn das Videosignal von Eingang 2 der Zusatzkarte und das Audiosignal von Eingang OPTION AUDIO INPUT 2 verwendet werden soll.

(Diese Taste ist deaktiviert, wenn die BKM-129X oder die BKM-155DV verwendet wird.)

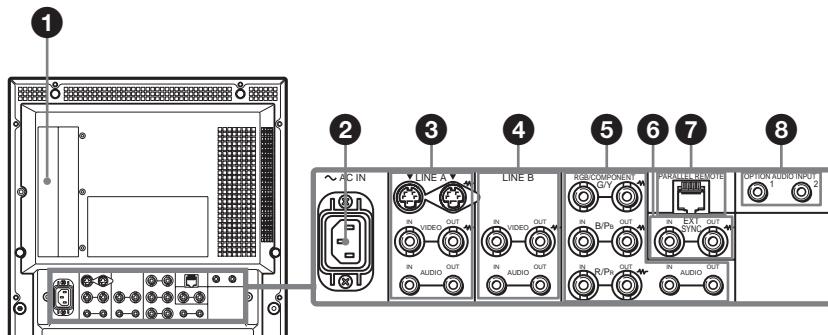
⑳ Kontrollanzeige

Leuchtet, wenn eine Videokamera an den Monitor angeschlossen ist und ausgewählt wird. Damit die Kontrollanzeige funktioniert, ist eine entsprechende Verdrahtung erforderlich.

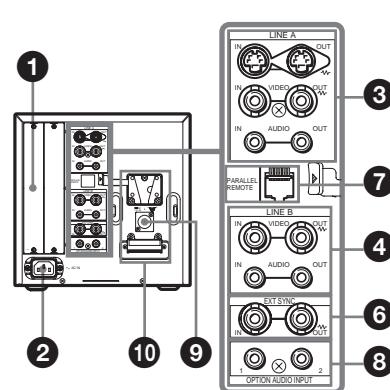
Näheres zu dieser Verdrahtung finden Sie auf Seite 64.

Rückseite

PVM-14L2/PVM-20L2



PVM-9L3/PVM-9L2



① Erweiterungssteckplatz

In diesem Erweiterungssteckplatz kann eine Zusatzkarte installiert werden, die zusätzliche Eingangsoptionen zur Verfügung stellt. Installieren Sie keine zweite Karte! Andernfalls funktionieren die Karten nicht.

Näheres zum Installieren einer Zusatzkarte finden Sie in der Bedienungsanleitung zur Zusatzkarte.

② Buchse AC IN

Schließen Sie das mitgelieferte Netzkabel an diese Buchse und dann an eine Netzsteckdose an.

③ LINE A-Anschlüsse

Line-Eingänge für getrennte Y/C-Signale, FBAS-Signale und Audiosignale sowie entsprechende Durchschleifausgänge.

Drücken Sie die Taste LINE A am Bedienfeld des Monitors, um diese Eingangssignale auszuwählen. Wenn an Y/C IN und VIDEO IN Signale eingehen, wird das an Y/C IN eingespeiste Signal ausgewählt.

Y/C IN/OUT (4-polige DIN-Minibuchsen)

Hierbei handelt es sich um die Ein-/Ausgänge für getrennte Y/C-Signale. Verbinden Sie diese Anschlüsse mit den Ein-/Ausgängen für getrennte Y/C-Signale an einem Videorecorder, einer Videokamera oder einem anderen Videogerät.

VIDEO IN/OUT (BNC-Anschlüsse)

Hierbei handelt es sich um die Ein-/Ausgänge für FBAS-Signale. Verbinden Sie diese Anschlüsse mit den Ein-/Ausgängen für FBAS-Signale an einem Videorecorder, einer Videokamera oder einem anderen Videogerät.

AUDIO IN/OUT (Cinchbuchsen)

Hierbei handelt es sich um die Ein-/Ausgänge für Audiosignale. Verbinden Sie diese Anschlüsse mit den Audio-Ein-/Ausgängen an einem angeschlossenen Gerät, zum Beispiel einem Videorecorder.

④ LINE B-Anschlüsse

Line-Eingänge für FBAS-Signale und Audiosignale sowie entsprechende Durchschleifausgänge.

Drücken Sie die Taste LINE B am Bedienfeld des Monitors, um diese Eingangssignale auszuwählen.

VIDEO IN/OUT (BNC-Anschlüsse)

Hierbei handelt es sich um die Ein-/Ausgänge für FBAS-Signale. Verbinden Sie diese Anschlüsse mit den Ein-/Ausgängen für FBAS-Signale an einem Videorecorder, einer Videokamera oder einem anderen Videogerät.

AUDIO IN/OUT (Cinchbuchsen)

Hierbei handelt es sich um die Ein-/Ausgänge für Audiosignale. Verbinden Sie diese Anschlüsse mit den Audio-Ein-/Ausgängen an einem angeschlossenen Gerät, zum Beispiel einem Videorecorder.

⑤ RGB/COMPONENT-Anschlüsse (nur beim PVM-14L2/PVM-20L2)

Eingänge für analoge RGB-Signale oder Farbdifferenzsignale (Y, Pb, Pr) sowie entsprechende Durchschleifausgänge.

Drücken Sie die Taste RGB/COMPONENT am Bedienfeld des Monitors, um diese Eingangssignale auszuwählen.

G/Y, B/P_B, R/P_R IN/OUT (BNC-Anschlüsse)

Dies sind die Ein-/Ausgänge für analoge RGB-Signale und Farbdifferenzsignale (Y, P_B, P_R). Der Monitor wird über das Synchronisationssignal im G/Y-Signal synchronisiert, es sei denn, ein externes Synchronisationssignal wird eingespeist.

AUDIO IN/OUT (Cinchbuchsen)

Wenn Sie ein analoges RGB-Signal oder ein Farbdifferenzsignal als Videosignal einspeisen, verwenden Sie diese Buchsen als Ein-/Ausgang für ein Audiosignal. Verbinden Sie diese Anschlüsse mit den Audio-Ein-/Ausgängen an einem angeschlossenen Gerät, zum Beispiel einem Videorecorder.

6 EXT SYNC-Anschlüsse (externes Synchronisationssignal)

Drücken Sie die Taste EXT SYNC am Bedienfeld des Monitors, um ein externes Synchronisationssignal zu verwenden.

IN/OUT (BNC-Anschlüsse)

Hierbei handelt es sich um die Ein-/Ausgänge für ein externes Synchronisationssignal. Am Anschluss IN können Sie ein Referenzsignal einspeisen, das mit einem Synchronisationsgenerator erzeugt wird. An den Anschluss OUT können Sie den externen Synchronisationssignaleingang eines anderen Geräts anschließen, das mit diesem Monitor synchronisiert werden soll.

7 PARALLEL REMOTE (modularer Anschluss)

Dieser Anschluss stellt einen Parallelschalter dar und dient zum Steuern des Monitors über ein externes Gerät.

Einzelheiten zur Stiftbelegung sowie zu den Funktionen, die den Stiften werkseitig zugewiesen sind, finden Sie auf Seite 64.

8 Eingänge OPTION AUDIO INPUT 1, 2

Wenn im Erweiterungssteckplatz eine Zusatzkarte installiert ist, können Sie ein Audiosignal an diesen Anschlüssen einspeisen. Sie können maximal 2 Systeme anschließen. Um die Audiosignale hören zu können, die an OPTION AUDIO INPUT 1 oder 2 eingespeist werden, drücken Sie die Taste OPTION A bzw. OPTION B.

9 Anschluss DC 12V IN (XLR) (nur beim PVM-9L3/PVM-9L2)

Wenn Sie das Gerät an 12 V Gleichstrom betreiben wollen, schließen Sie die Stromquelle an diesen Anschluss an.

Dieses Produkt muss über ein spezifiziertes Netzteil mit der Markierung "Klasse 2" und mit einer Nennleistung von 12 V Gleichstrom, 4,2 A, mit Strom versorgt werden.

10 Akkuanschluss (nur beim PVM-9L3/PVM-9L2)

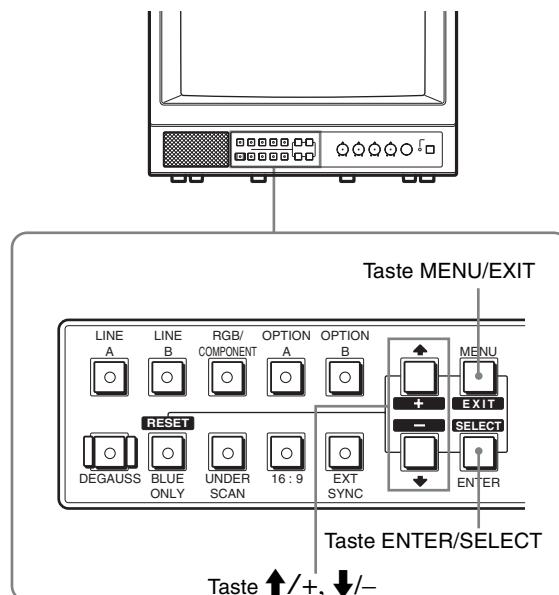
Schließen Sie hier den Akku an. Für den PVM-9L3/PVM-9L2 können Sie den Lithium-Ionen-Akku BP-L60A/BP-L90A von Sony oder den Nickel-Metall-Hydrid-Akku BP-M50/BP-M100 von Sony benutzen.

Auswählen der Sprache für die Menüs

Die Menüs und andere Bildschirmanzeigen können Sie in einer von sieben Sprachen (Englisch, Deutsch, Französisch, Italienisch, Spanisch, Japanisch, Chinesisch) anzeigen lassen.

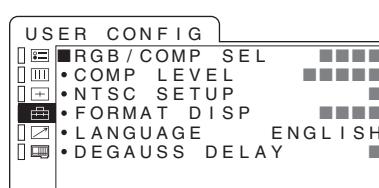
Werkseitig ist ENGLISH (Englisch) eingestellt.

Die Markierungen ■ auf den Menüabbildungen geben an, wo die aktuellen Einstellungen angezeigt werden.



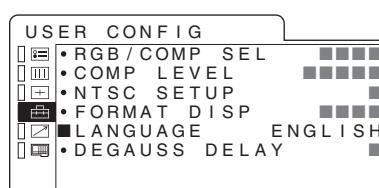
- 1 Rufen Sie mit MENU/EXIT den Menübildschirm auf, wählen Sie mit ↑/+ oder ↓/- die Option (USER CONFIG) und drücken Sie dann ENTER/SELECT.

Das Menü USER CONFIG wird angezeigt.

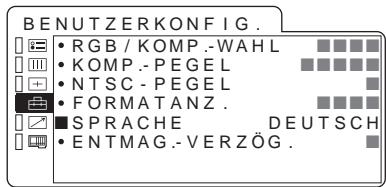


- 2 Wählen Sie mit ↑/+ oder ↓/- die Option "LANGUAGE" aus und drücken Sie dann ENTER/SELECT.

Die ausgewählte Option wird gelb angezeigt.



- 3** Wählen Sie mit **↑/+** oder **↓/-** die gewünschte Sprache aus und drücken Sie dann **ENTER/SELECT**.
Nun erscheinen die Bildschirmmenüs in der ausgewählten Sprache.



So blenden Sie das Menü aus

Drücken Sie die Taste **MENU/EXIT**. Das Menü wird aber auch automatisch ausgeblendet, wenn eine Minute lang keine Taste gedrückt wird.

Das Menüsystem

Der Monitor verfügt über ein Menüsystem für verschiedene Einstell- und Anpassungsoptionen, zum Beispiel die Bildeinstellungen, die Eingangsauswahl, verschiedene Einstellwerte usw.

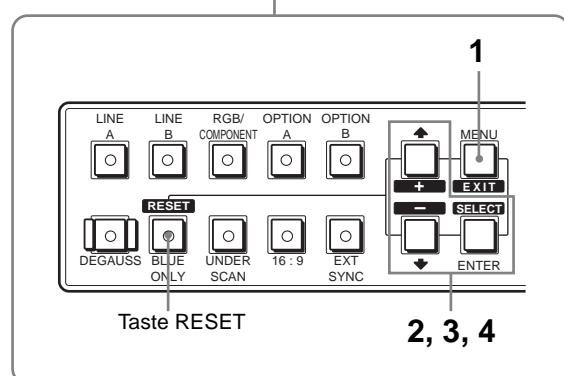
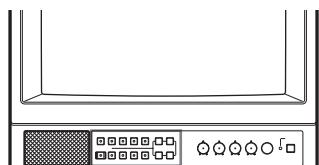
Sie können wie im Folgenden beschrieben Einstellungen vornehmen oder Einstellwerte ändern.

Erläuterungen zu den Menüoptionen finden Sie unter "Einstellen des Geräts über das Menüsystem" auf Seite 59.

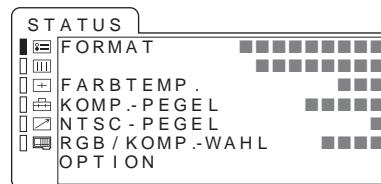
Sie können auch einstellen, in welcher Sprache die Menüs auf dem Bildschirm angezeigt werden.

Erläuterungen zum Ändern der Menüsprache finden Sie unter "Auswählen der Sprache für die Menüs" auf Seite 57.

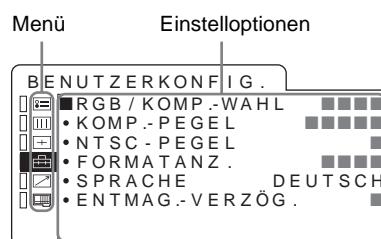
Die Markierungen **■** auf den Menüabbildungen geben an, wo die aktuellen Einstellungen angezeigt werden.



- 1** Drücken Sie die Taste **MENU/EXIT**. Das Menü wird angezeigt.
Das momentan ausgewählte Menü wird als gelbe Schaltfläche dargestellt.



- 2** Wählen Sie mit **↑/+** oder **↓/-** ein Menü aus und drücken Sie dann **ENTER/SELECT**. Das Symbol für das momentan ausgewählte Menü wird gelb angezeigt und die entsprechenden Einstelloptionen sind zu sehen.



- 3** Wählen Sie mit **↑/+** oder **↓/-** die gewünschte Option aus und drücken Sie dann **ENTER/SELECT**. Die ausgewählte Einstelloption wird gelb angezeigt.

Hinweis

Wenn das Menü mehrere Seiten umfasst, rufen Sie die gewünschte Seite mit **↑/+** oder **↓/-** auf.

- 4** Stellen Sie die Optionen wie gewünscht ein.

Wenn Sie den eingestellten Wert ändern wollen:
Zum Erhöhen des Werts drücken Sie die Taste **↑/+**.
Zum Verringern des Werts drücken Sie die Taste **↓/-**.

Zur Bestätigung drücken Sie die Taste **ENTER/SELECT**. Schalten Sie dann zur ursprünglichen Anzeige zurück.

Wenn Sie die Einstellung ändern wollen:
Ändern Sie die Einstellung mit der Taste **↑/+** oder **↓/-**.

Bestätigen Sie die Einstellung mit der Taste **ENTER/SELECT**.

Hinweis

Optionen, die blau angezeigt werden, können nicht verwendet werden. Sie können nur auf solche Optionen zugreifen, die weiß angezeigt werden.

So blenden Sie das Menü aus

Drücken Sie die Taste MENU/EXIT.

Das Menü wird aber auch automatisch ausgeblendet, wenn eine Minute lang keine Taste gedrückt wird.

Hinweis zum Speichern der Einstellungen

Die Einstellungen werden automatisch im Monitor gespeichert.

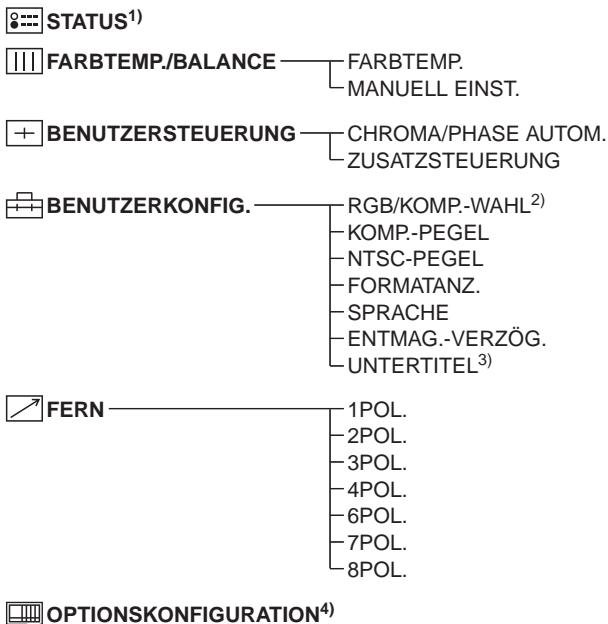
So setzen Sie Optionen während des Einstellens zurück

Drücken Sie die Taste RESET, während Sie dabei sind, die Menüoption auszuwählen und neu einzustellen. Dadurch werden alle Änderungen an der Menüoption ignoriert, so dass wieder die vorherige Einstellung gilt.

Einstellen des Geräts über das Menüsyste

Die Menüs

Das Menüsyste dieses Monitors enthält folgende Menüs.



1) Die Optionen im Menü STATUS geben die aktuellen Einstellungen des Monitors an.

2) nur beim PVM-14L2/PVM-20L2

3) UNTERTITEL steht nur zur Verfügung, wenn ein Untertitel-Decoder installiert ist.

4) Welche Optionen im Menü OPTIONSKONFIGURATION angezeigt werden, hängt davon ab, welche Zusatzkarte installiert ist.

Festlegen und Ändern von Einstellungen

Menü STATUS

Im Menü STATUS wird der momentane Status des Monitors angezeigt.

Untermenü	Einstellung
FORMAT	Nur Anzeige
FARBTEMP.	Nur Anzeige
KOMP.-PEGEL	Nur Anzeige
NTSC-PEGEL	Nur Anzeige
RGB/KOMP.-WAHL	Nur Anzeige (nur beim PVM-14L2/ PVM-20L2)
OPTION	Nur Anzeige

Menü FARBTEMP./BALANCE

Auf dem Menü FARBTEMP./BALANCE können Sie den Weißwert des Bildes einstellen.

Zum Einstellen des Weißwerts benötigen Sie ein entsprechendes Messinstrument.

Untermenü	Einstellung
FARBTEMP.	Wählen Sie als Farbtemperatur die Einstellung D65, D93 oder BENUTZER.
MANUELL EINST.	<p>Wenn Sie FARBTEMP. auf BENUTZER setzen, wechselt die angezeigte Option von blau zu weiß und Sie können die Farbtemperatur einstellen.</p> <ul style="list-style-type: none">• GAIN EINSTELLEN...: Dient zum Einstellen der Farbbelebung (GAIN).• BIAS EINSTELLEN...: Dient zum Einstellen der Farbbelebung (BIAS).• KOPIEREN VON: Wenn Sie mit der Taste ↑/+ oder ↓/- die Einstellung D65 oder D93 wählen, werden die Weißwertdaten der gewählten Farbtemperatur in die Einstellung BENUTZER übernommen.

Menü BENUTZERSTEUERUNG

Auf dem Menü BENUTZERSTEUERUNG können Sie die Bildqualität einstellen.
Die Optionen, die je nach Eingangssignal nicht eingestellt werden können, werden blau angezeigt.

Untermenü	Einstellung
CHROMA/PHASE AUTOM.	<p>Dient zum Einstellen der Farbintensität (CHROMA) und der Farbtöne (PHASE).</p> <ul style="list-style-type: none"> • AUT. EINST.WERT: Legt fest, ob für Chroma und Phase die automatisch eingestellten oder die werkseitig voreingestellten Werte gelten sollen. EIN: automatisch eingestellte Werte AUS: werkseitig voreingestellte Werte <ul style="list-style-type: none"> • START: Ruft das Farbbalkensignal (Full/ SMPTE/EIA) auf. Treffen Sie Ihre Auswahl mit ENTER/SELECT. Die automatische Einstellung beginnt. Wenn die Einstellung korrekt durchgeführt ist, wird AUT. EINST.WERT automatisch auf EIN gesetzt. Mit der Taste MENU/EXIT können Sie den Einstellbildschirm wieder ausblenden.

Hinweis

Wenn Sie die Vollfarbbalken ausgewählt haben, geben Sie acht Farbbalken ein.

Untermenü	Einstellung
ZUSATZSTEUERUNG	<p>Sie können den Einstellbereich der folgenden Regler am Bedienfeld feineinstellen: CONTRAST, PHASE, CHROMA und BRIGHT.</p> <ul style="list-style-type: none"> • ADJUST...: Dient zum Einstellen der folgenden Optionen. KONTRAST...: Zum Einstellen des Bildkontrasts. HELLIGKEIT...: Zum Einstellen der Bildhelligkeit. CHROMA...: Zum Einstellen der Farbintensität. Je höher der Wert, desto stärker die Intensität. Je niedriger der Wert, desto schwächer die Intensität. PHASE...: Zum Einstellen der Farbtöne. Je höher die Einstellung, desto stärker werden die Grüntöne betont. Je niedriger der Wert, desto stärker werden die Rottöne betont. APERTUR...: Zum Einstellen der Bildschärfe. Je höher der Wert, desto schärfer die Bildkonturen.

Menü BENUTZERKONFIG.

Im Menü BENUTZERKONFIG. wählen Sie die Sprache für die Menüanzeigen und Bildschirmmeldungen aus und definieren die Videosignale, die an den RGB/COMPONENT-Anschlüssen eingehen (analoge RGB- oder Farbdifferenzsignale).

Untermenü	Einstellung
RGB/KOMP.-WAHL (nur beim PVM-14L2/ PVM-20L2)	Je nachdem, welcher Videosignaltyp an den RGB/COMPONENT-Anschlüssen eingespeist werden soll, wählen Sie RGB oder COMPONENT.
KOMP.-PEGEL	<p>Wählen Sie den Signalpegel aus den folgenden drei Modi aus.</p> <p>SMPTE: für ein 100/0/100/0-Signal</p> <p>BETA 7.5: für ein 100/7.5/75/7.5-Signal</p> <p>BETA 0: für ein 100/0/75/0-Signal</p>
NTSC-PEGEL	<p>Wählen Sie den NTSC-Pegel aus den folgenden zwei Modi aus.</p> <p>Der Pegel 7.5 wird hauptsächlich in Nordamerika verwendet. Der Pegel 0 wird hauptsächlich in Japan verwendet.</p>

Untermenü	Einstellung
FORMATANZ.	Legen Sie fest, ob das Format eines Eingangssignals auf dem Bildschirm angezeigt werden soll oder nicht. EIN: Das Format wird immer angezeigt. AUS: Das Format wird nicht angezeigt. AUTO: Wenn ein Signal eingespeist wird, wird das Format dieses Signals etwa 10 Sekunden lang angezeigt.
SPRACHE	Wählen Sie unter den folgenden Sprachen die gewünschte Sprache für die Menüanzeigen und die Bildschirmmeldungen aus. 日本語: Japanisch ENGLISH: Englisch DEUTSCH: Deutsch FRANÇAIS: Französisch ITALIANO: Italienisch ESPAÑOL: Spanisch 中文: Chinesisch
ENTMAG.-VERZÖG.	Stellen Sie für die automatische Entmagnetisierung eine Verzögerungszeit ein. Wenn Sie das Gerät einschalten, beginnt die Entmagnetisierung nach dieser Zeit. Als Verzögerungszeit können Sie einen Wert zwischen 0 und 99 Sekunden einstellen.
UNTERTITEL (steht nur zur Verfügung, wenn ein Untertitel-Decoder installiert ist.)	Wählen Sie als Anzeigemodus für die Untertitel eine der folgenden Optionen aus: AUS, UNTERTIT 1, UNTERTIT 2, TEXT 1 oder TEXT 2.

Menü FERN

Im Menü FERN können Sie den Stiften am Anschluss PARALLEL REMOTE Funktionen zuweisen.

Sie können die Belegung von Stift 1 bis 4 sowie Stift 6 bis 8 festlegen. Im Folgenden sind die Funktionen, die Sie den Stiften zuweisen können, aufgelistet.

- -- Dem Stift ist keine Funktion zugeordnet.
- LINE A
- LINE B
- RGB/KOMP (nur beim PVM-14L2/PVM-20L2)
- OPTION A
- OPTION B
- KONTROLLE
- VERKLEINERUNG
- 16:9
- EXT. SYNC.
- NUR BLAU
- ENTMAGNET.

Hinweis

Wenn Sie die Funktion PARALLEL REMOTE verwenden, müssen Sie entsprechende Kabel anschließen.

Erläuterungen dazu finden Sie auf Seite 64.

Menü OPTIONSKONFIGURATION

Das Menü OPTIONSKONFIGURATION dient zur Konfiguration der Zusatzkarte im Erweiterungssteckplatz an der Rückseite des Monitors. Je nachdem, welche Karte installiert ist, wird ein anderer Bildschirm angezeigt. Ist keine Karte installiert, werden die Einstelloptionen nicht angezeigt. Stellen Sie nach dem Zuordnen eines Eingangssignals CHROMA/PHASE AUTOM. für den Monitor ein.

Wenn die Zusatzkarte BKM-150CP installiert ist:

Untermenü	Einstellung
FORMAT	Legt den Signaltyp fest. Wählen Sie SDTI-CP oder D1-SDI.
AUDIOKANAL	Legt den Audiokanal fest. D1-SDI Wählen Sie eine der Optionen CH1+CH2 bis CH15+CH16 oder CH1 bis CH16 aus. SDTI-CP Wählen Sie eine der Optionen CH1+CH2 bis CH7+CH8 oder CH1 bis CH8 aus. Audiosignale, die an OPTION AUDIO INPUT 1/2 eingehen, werden ignoriert.
TIME CODE	Dient zum Auswählen der Zeitcodeanzeige. D1-SDI Wählen Sie VITC, RP188 oder AUS. SDTI-CP Wählen Sie VITC, CP-TC1, CP-TC2, ES-TC1, ES-TC2 oder AUS.

Im Folgenden finden Sie eine Liste der Abkürzungen im Menü zusammen mit den vollständigen Bezeichnungen:

- CP-TC1: SMPTE 331M System Item USER DATE/TIME STAMP
- CP-TC2: SMPTE 331M System Item CREATION DATE/TIME STAMP
- ES-TC1: SMPTE 328M MPEG ES Editing Information TIME CODE1
- ES-TC2: SMPTE 328M MPEG ES Editing Information TIME CODE2
- RP188: SMPTE RP188 Time Code
- VITC: SMPTE 12M VITC, SMPTE 266M D-VITC

Wenn die Zusatzkarte BKM-155DV installiert ist:

Untermenü	Einstellung
AUDIOKANAL	Legt den Audiokanal fest. Wählen Sie eine der Optionen CH1+CH2, CH3+CH4, CH1/3, CH2/4, CH1/3+CH2/4, oder CH1 bis CH4 aus. Audiosignale, die an OPTION AUDIO INPUT 1/2 eingehen, werden ignoriert.

Wenn die Zusatzkarte BKM-120D oder BKM-129X installiert ist:

Die Seriennummer der Karte wird im Menü OPTIONSKONFIGURATION angezeigt.

Wenn der Ventilator der Karte BKM-150CP oder BKM-155DV gestoppt wird, erscheint auf dem Bildschirm die Meldung "BKM-xxxxx LÜFTERFEHLER" in Rot. In diesem Fall können Sie Option A oder Option B nicht auswählen.

Störungsbehebung

Sie können die Ursache eines Problems gegebenenfalls anhand dieses Abschnitts erkennen und beheben, ohne dass Sie sich an den Kundendienst wenden müssen.

- **Das Bild erscheint grün oder rot.** → Wählen Sie mit einer der Tasten für die Eingangswahl den richtigen Eingang aus.
- **Das Signal, das an den RGB/COMPONENT-Eingängen eingespeist wird, wird nicht am Bildschirm angezeigt (nur beim PVM-14L2/PVM-20L2).** → Setzen Sie RGB/KOMP.-WAHL im Menü BENUTZERKONFIG. ordnungsgemäß auf den Typ des Eingangssignals.
- **Die Karte BKM-150CP oder die BKM-155DV ist installiert. Die Fehlermeldung "BKM-xxxxx LÜFTERFEHLER" wird angezeigt. Option A bzw. Option B kann nicht ausgewählt werden.** → Reparieren Sie die BKM-xxxxx.

Technische Daten

Allgemeines

PVM-9L3/PVM-9L2

Kathodenstrahlröhre:

HR Trinitron, Leuchtmateriale P22
(PVM-9L3)
Trinitron, Leuchtmateriale P22
(PVM-9L2)

Betriebsspannung: 100 bis 240 V Wechselstrom,
50/60 Hz

Leistungsaufnahme:

max. 58 W, 0,6 bis 0,3 A (wenn die gesondert erhältliche Karte BKM-150CP installiert ist), 12 V Gleichstrom, 4,2 A, 48 W
Standard: 47 W, 0,5 bis 0,25 A (ohne Zusatzkarte), 12 V Gleichstrom, 3,3 A, 38 W

Spitzenstrom: (1) Einschaltstrom, Stromsonde:
70 A (240 V)

(2) Einschaltstoßstrom, gemessen nach der europäischen Norm EN55103-1:
12 A (230 V)

Abmessungen (max.):

ca. 217 × 218 × 373 mm
(B/H/T)

Gewicht: ca. 8,0 kg

PVM-14L2

Kathodenstrahlröhre: Trinitron, Leuchtmateriale P22
Betriebsspannung: 100 bis 240 V Wechselstrom,
50/60 Hz

Leistungsaufnahme:

max. 85 W, 0,9 bis 0,4 A (wenn die gesondert erhältliche Karte BKM-150CP installiert ist)

Standard: 75 W, 0,8 bis 0,35 A (ohne Zusatzkarte)

Spitzenstrom: (1) Einschaltstrom, Stromsonde:
53 A (240 V)

(2) Einschaltstoßstrom, gemessen nach der europäischen Norm EN55103-1:
35 A (230 V)

Abmessungen (max.):

ca. 346 × 340 × 430 mm
(B/H/T)

Gewicht: ca. 18,0 kg

PVM-20L2

Kathodenstrahlröhre: Trinitron, Leuchtmateriale P22
Betriebsspannung: 100 bis 240 V Wechselstrom,
50/60 Hz

Leistungsaufnahme:

max. 108 W, 1,1 bis 0,5 A (wenn die gesondert erhältliche Karte BKM-150CP installiert ist)

Standard: 98 W, 1,0 bis 0,4 A (ohne Zusatzkarte)

Spitzenstrom: (1) Einschaltstrom, Stromsonde:
53 A (240 V)

(2) Einschaltstoßstrom, gemessen nach der europäischen Norm EN55103-1:
35 A (230 V)

Abmessungen (max.):

ca. 453 × 463 × 529 mm
(B/H/T)

Gewicht: ca. 33,0 kg

Ein-/Ausgänge

Eingänge

LINE A-Eingänge

Eingang Y/C, 4-polig, Mini-DIN (1)

Eingang VIDEO

BNC-Anschluss (1), 1 Vp-p +3 dB –6 dB, negative Synchronisation

Eingang AUDIO

Cinchbuchse (1), –5 dBu, 47 kΩ oder mehr

LINE B-Eingänge
Eingang VIDEO
 BNC-Anschluss (1), 1 Vp-p +3 dB –6 dB, negative Synchronisation
Eingang AUDIO
 Cinchbuchse (1), –5 dBu, 47 kΩ oder mehr
RGB/COMPONENT-Eingänge
 BNC-Anschlüsse (3) (nur beim PVM-14L2/PVM-20L2)
Eingang RGB, 0,7 Vp-p +3 dB –6 dB (Grünsignal mit Synchronisation, 0,3 Vp-p, negative Synchronisation)
Eingang COMPONENT
 0,7 Vp-p +3 dB –6 dB (75% Chrominanz, Standardfarbbalkensignal)
Eingang AUDIO
 Cinchbuchse (1), –5 dBu, 47 kΩ oder mehr
Extern synchronisierter Eingang
 BNC-Anschluss (1), 0,3 bis 8 Vp-p ± bipolar ternär oder negativ polar binär
Optionale AUDIO-Eingänge
 Cinchbuchsen (2), –5 dBu, 47 kΩ oder mehr
Fernbedienungseingang
PARALLEL REMOTE
 Modularer Anschluss, 8-polig (1)

Ausgänge

LINE A-Ausgänge
Ausgang Y/C, 4-polig, Mini-DIN (1), Durchschleifanschluss mit automatischem Abschlusswiderstand (75 Ω)
Ausgang VIDEO
 BNC-Durchschleifanschluss mit automatischem Abschlusswiderstand (75 Ω)
Ausgang AUDIO
 Cinch-Durchschleifanschluss (1)
LINE B-Ausgänge
Ausgang VIDEO
 BNC-Durchschleifanschluss mit automatischem Abschlusswiderstand (75 Ω)
Ausgang AUDIO
 Cinch-Durchschleifanschluss (1)
RGB/COMPONENT-Ausgänge (nur beim PVM-14L2/PVM-20L2)
Ausgang RGB/COMPONENT
 BNC-Durchschleifanschluss (3) mit automatischem Abschlusswiderstand (75 Ω)

Ausgang AUDIO
 Cinch-Durchschleifanschluss (1)
Extern synchronisierter Ausgang
 BNC-Durchschleifanschluss (1) mit automatischem Abschlusswiderstand (75 Ω)
Leistungsabgabe des eingebauten Lautsprechers
 0,8 W (monaural)

Videosignal

Frequenzgang PVM-9L3/PVM-9L2
 50 Hz bis 6 MHz (0 dB/-3 dB)
 PVM-14L2/PVM-20L2
 50 Hz bis 10 MHz (0 dB/-3 dB)
Aperturkompensation¹⁾
 AUS: 0 dB
 EIN: 2 dB bis 6 dB

Bildleistung

Normaler Modus
 6% Vergrößerung des effektiven Anzeigebereichs der Kathodenstrahlröhre (PVM-9L3/PVM-9L2)
 7% Vergrößerung des effektiven Anzeigebereichs der Kathodenstrahlröhre (PVM-14L2/PVM-20L2)

Underscan-Modus
 5% Verkleinerung des effektiven Anzeigebereichs der Kathodenstrahlröhre
Linearität PVM-9L3/PVM-9L2
 H: 4% oder weniger
 V: 4% oder weniger
 PVM-14L2
 H: 4% oder weniger
 V: 4% oder weniger
 PVM-20L2
 H: 5% oder weniger
 V: 5% oder weniger

Farbtemperatur
 D65, D93, BENUTZER (einstellbare Farbtemperatur: 5000 K bis 10000 K)

Konvergenzfehler
 PVM-9L3/PVM-9L2
 Mitte: höchstens 0,4 mm
 Randbereich: höchstens 0,5 mm
 PVM-14L2
 Mitte: höchstens 0,4 mm
 Randbereich: höchstens 0,5 mm
 PVM-20L2
 Mitte: höchstens 0,5 mm
 Randbereich: höchstens 0,7 mm

1) Bei RGB-Eingangssignalen ist eine Aperturkompensation nicht möglich.

Rastergrößenstabilität

H: 1,0%

V: 1,0%

Auflösung (Bildschirmmitte)

450 Fernsehzeilen (PVM-9L3)

250 Fernsehzeilen (PVM-9L2)

600 Fernsehzeilen (PVM-14L2/PVM-20L2)

Betriebsbedingungen

Temperatur 0 °C bis 35 °C

Luftfeuchtigkeit 30% bis 85% (nicht kondensierend)

Luftdruck 700 hPa bis 1060 hPa

Bedingungen bei Lagerung und Transport

Temperatur -10 °C bis 40 °C

Luftfeuchtigkeit 0% bis 90%

Luftdruck 700 hPa bis 1060 hPa

Mitgeliefertes Zubehör

Netzkabel (1)

Netzsteckerhalter (1)

Bedienungsanleitung (1)

Der PVM-9L3/PVM-9L2/PVM-14L2/PVM-20L2 ist ein Trinitron-Farbvideomonitor für den professionellen Gebrauch.

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

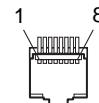
Stiftbelegung

Anschluss PARALLEL

REMOTE

Modularer Anschluss

(8-polig)



Stift Nr.	Funktionen
1	Stellt LINE A als Eingang ein
2	Stellt LINE B als Eingang ein
3	Schaltet die Kontrollanzeige ein oder aus
4	Wählt Underscan
5	MASSE
6	Schaltet den Modus "Nur Blau" ein oder aus
7	Wählt Bildseitenverhältnis 16:9
8	Wählt externe Synchronisation

Sie können die entsprechenden Funktionen im Menü FERN zuweisen.

Für die Fernbedienung erforderliche Verdrahtung

Verbinden Sie die Funktion, die über die Fernbedienung zur Verfügung stehen soll, mit der Masse (Stift 5).

ADVERTENCIA

Para evitar incendios o el riesgo de electrocución, no exponga la unidad a la lluvia ni a la humedad.

Dentro de la unidad existen altas tensiones peligrosas. No la abra. En caso de avería, solicite los servicios de personal cualificado.

En caso de mal funcionamiento o cuando sea necesario el servicio de mantenimiento, consulte a su proveedor Sony.

Para los usuarios en Europa

Este producto con la marca CE cumple con las Directivas EMC (89/336/CEE) y de Baja Tensión (73/23/CEE) emitidas por la Comisión de la Comunidad Europea.

El cumplimiento de estas directivas implica la conformidad con los siguientes estándares europeos:

- EN60950: Seguridad del producto
- EN55103-1: Interferencias electromagnéticas (Emisión)
- EN55103-2: Susceptibilidad electromagnética (Inmunidad)

Este producto está destinado a emplearse en los siguientes entornos electromagnéticos:

E1 (residenciales), E2 (comerciales e industria ligera), E3 (exteriores urbanos) y E4 (entornos con control EMC, por ejemplo, estudios de TV).

Estos productos están diseñados para utilizarse en los entornos E1 a E4. Durante la prueba de fatiga EMC, el rendimiento (evaluado de acuerdo con ITU/R 562-3 y ITU/R 500-4) puede degradarse como se muestra en la Tabla 1. Sin la prueba de fatiga EMC, el rendimiento conjunto recuperará su total funcionalidad.

Tabla 1

	Frecuencia	Nivel
PVM-14L2 (Monitor de 14 pulgadas)	210 – 340 MHz/ 625 – 655 MHz	3,5
PVM-20L2 (Monitor de 20 pulgadas)	259 – 346 MHz/ 385 – 457 MHz	3,5

ATENCIÓN – cuando se instala el producto en un soporte:

a) Temperatura ambiente de funcionamiento elevada

Si se instala en un conjunto de soportes múltiples o en uno de cerrado, la temperatura ambiente de funcionamiento del entorno del soporte puede ser mayor que la de la habitación en la que se encuentre. Por lo tanto, se debe tener en cuenta e instalar el equipo en un entorno compatible con la temperatura ambiente máxima establecida por el fabricante (Temp: 0°C a 35°C (32°F a 95°F)).

b) Circulación reducida de aire

La instalación del equipo en un soporte debe realizarse de tal modo que la cantidad de aire en circulación cumpla con la requerida para un funcionamiento seguro del equipo.

c) Carga mecánica

El montaje del equipo en un soporte debe realizarse de modo que no se produzcan situaciones de peligro debido a una carga mecánica irregular.

d) Sobrecarga del circuito

Se debe tener en cuenta la conexión del equipo al circuito de alimentación y el efecto que la sobrecarga de circuitos puede tener sobre la protección y los cables de suministro.

Se deben tener en cuenta los índices de la placa del equipo cuando se considere este asunto.

e) Toma de tierra segura

Se debe contar con una toma de tierra segura para el equipo montado en el soporte. Se debe prestar una atención especial a las conexiones de suministro distintas de las conexiones al circuito filial (por ejemplo, la utilización de bases para tomas de alimentación).

f) Márgenes de espacio

El espacio inferior y superior del equipo montado en un soporte debe ser de 44 mm (1 3/4 pulgadas).

Índice

Precaución	68
Seguridad	68
Instalación	68
Limpieza de la superficie del TRC	68
Limpieza	68
Reembalaje	68
Montaje en un soporte	68
Características	68
Conexiones	70
Conexión del cable de alimentación de CA	70
Localización y funciones de las piezas y los controles	70
Panel de control	70
Panel trasero	72
Selección del idioma del menú	73
Uso del menú	74
Ajuste mediante los menús	75
Elementos	75
Ajuste y cambio de los valores	75
Menú ESTADO	75
Menú BAL/TEMP COLOR	75
Menú CONTROL USUARIO	76
Menú CONFIG USUARIO	76
Menú REMOTO	77
Menú CONFIG OPCIÓN	77
Solución de problemas	77
Especificaciones	78
Dimensiones.....	i
Modo de instalación de la batería (sólo para PVM-9L3/PVM-9L2)	Cubierta posterior

ES

Español

Las explicaciones proporcionadas en este manual son aplicables a los modelos siguientes si no se indica lo contrario.

Si la explicación difiere entre los modelos, se indicará claramente en este manual.

- PVM-9L3 (monitor de 9 pulgadas)
- PVM-9L2 (monitor de 9 pulgadas)
- PVM-14L2 (monitor de 14 pulgadas)
- PVM-20L2 (monitor de 20 pulgadas)

A menos que se indique lo contrario, las ilustraciones del monitor de vídeo corresponden al modelo PVM-14L2.

Precaución

Seguridad

- Utilice la unidad sólo con una fuente de alimentación, tal como se indica en la sección "Especificaciones".
- En el panel trasero de la unidad se encuentra una placa de características que indica la tensión de alimentación, el consumo energético, etc.
- Si cae algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y solicite ayuda a un técnico especializado antes de proseguir con su uso.
- No deje caer el cable de alimentación ni coloque objetos pesados encima del mismo. Si el cable de alimentación se daña, apague la alimentación de inmediato, ya que es peligroso usar la unidad con un cable de alimentación dañado.
- Desconecte la unidad de la toma de pared cuando no vaya a utilizarla durante varios días.
- Desconecte el cable de alimentación de la toma de CA agarrando el enchufe, pero sin tirar del cable.
- La toma de corriente debe estar instalada cerca del equipo y ser de fácil acceso.

Instalación

- Permita que el aire circule adecuadamente para evitar el recalentamiento interno.
No instale la unidad sobre superficies (alfombras, mantas, etc.) ni cerca de telas (cortinas, tapices) que puedan bloquear los orificios de ventilación.
- No instale la unidad en las proximidades de fuentes de calor, como radiadores o conductos de aire, ni en lugares expuestos a luz solar directa, polvo excesivo, vibraciones mecánicas o golpes.

Limpieza de la superficie del TRC

- Limpie el TRC con un paño suave.
Si el TRC se ensucia con huellas dactilares o grasa, límpielo con un paño suave humedecido con una solución de detergente poco concentrada.
- No utilice líquidos limpiadores abrasivos, jabón alcalino, disolventes fuertes como alcohol, diluyentes o gasolina, ya que podrían dañar la superficie.
- No frote ni golpee la superficie del TRC con un objeto sólido.

Limpieza

Para mantener la unidad como nueva, límpielala periódicamente con una solución de detergente poco concentrada. No utilice nunca disolventes fuertes, como diluyentes o gasolina, ni limpiadores abrasivos, ya que pueden dañar la unidad. Como medida de seguridad, desconecte la unidad antes de limpiarla.

Reembalaje

No tire la caja ni los materiales de embalaje. Son un contenedor ideal para transportar la unidad. Cuando transporte la unidad a otra ubicación, vuélvala a empaquetar como se ilustra en la caja.

Montaje en un soporte

Deje un espacio de 1U encima y debajo del monitor para garantizar una adecuada circulación del aire o instale un ventilador para conservar su rendimiento.

Si tiene preguntas relacionadas con esta unidad, póngase en contacto con su proveedor autorizado Sony.

Características

Imagen

Tubo de imagen Trinitron¹⁾

El tubo Trinitron proporciona una imagen cuya resolución horizontal es superior a 600 líneas de TV en el centro de la imagen (sólo para los modelos PVM-14L2/PVM-20L2).

Filtro en peine

Cuando se reciben señales de vídeo NTSC, se activa un filtro en peine que proporciona una separación Y/C más exacta. Esto garantiza una menor disminución de la resolución y una menor presencia de fenómenos de diacromía y de luminancia.

Circuito de retroalimentación automática de corriente de haz

El circuito interno de retroalimentación automática de corriente de haz garantiza un balance de blancos estable.

Dos sistemas de color disponibles

El monitor puede mostrar señales NTSC y PAL. El sistema de color de la señal de entrada se detecta automáticamente.

1)"Trinitron" es una marca comercial registrada de Sony Corporation.

Entrada

Conecotores de entrada de componente o RGB analógicas (sólo para los modelos PVM-14L2/PVM-20L2)

Las señales de componente (Y, P_B, P_R) o RGB analógicas provenientes de equipos de video pueden recibirse por medio de estos conectores. Pulse el botón RGB/COMPONENT en el panel de control para supervisar la señal.

Conecotor de entrada Y/C (conector de entrada S)

Puede introducirse una señal de video, dividida en un componente de luminancia (Y) y uno de crominancia (C), mediante este conector para evitar que se generen interferencias entre ambos componentes y garantizar la calidad de la imagen.

Capacidad de entrada ampliable

Es muy fácil ampliar la capacidad de entrada si se instala una placa opcional (no incluida) en la ranura opcional situada en el panel trasero. Sólo se puede instalar una placa cada vez para ampliar la capacidad de entrada. Si instala dos placas, éstas no funcionarán.

Entrada de sincronización externa

Al pulsar una vez el botón EXT SYNC en el panel de control, se habilita el monitor para que funcione con la señal de sincronización suministrada por un generador de sincronización externa.

Terminación automática (sólo para conectores con la marca)

El conector de entrada se termina internamente con 75 ohmios cuando no hay ningún dispositivo conectado al conector de salida. Si hay un cable conectado al conector de salida, el terminal interno se libera automáticamente y las señales que recibe el conector de entrada se emiten por el conector de salida (derivada).

Funciones

Función de fase cromática automática

El croma y la fase se ajustan automáticamente.

Modo de azul solamente

En el modo de azul solamente, se muestra el componente azul de una señal de entrada. Esto facilita los ajustes de la saturación del color y la fase, así como la observación de ruido procedente de la videocámara.

Modo de subexploración

En el modo de subexploración, las líneas que habitualmente se exploran en el área invisible están visibles, de modo que pueda supervisar toda el área de la pantalla.

Nota

Cuando el monitor se encuentra en modo de subexploración, aparecen líneas de exploración RGB oscuras en la parte superior de la pantalla. Éstas tienen su origen en una señal de prueba interna.

Modo 16:9

Puede supervisar con precisión una señal con relación de aspecto de 16:9, además de la señal de 4:3.

Desmagnetización automática/manual

El monitor se desmagnetiza automáticamente cuando se enciende la alimentación. Puede desmagnetizar manualmente el monitor pulsando el botón DEGAUSS. Con el menú puede ajustar una hora para que el monitor se desmagnetice automáticamente después de que la alimentación haya estado activada durante un tiempo.

Menús en pantalla

Puede ajustar la temperatura del color, realizar un ajuste de croma y configurar otros parámetros utilizando los menús en pantalla.

Opciones

Abrazadera de montaje del soporte EIA de 19 pulgadas

El monitor puede montarse en un soporte estándar EIA de 19 pulgadas mediante las abrazaderas de montaje o los rieles deslizables siguientes.

Para el modelo PVM-9L3/PVM-9L2: MB-520

Para el modelo PVM-14L2: MB-502B (en Europa, utilice el MB-502C)

Para el modelo PVM-20L2: SLR-103A (en Europa, utilice el SLR-103C)

Para obtener más información sobre el montaje del monitor en el soporte, consulte el manual del usuario de la abrazadera de montaje o del riel deslizable.

Decodificador de subtítulos (subtítulos para sordos)

Si se instalan las piezas determinadas, el monitor podrá decodificar los subtítulos para sordos. Con el menú puede elegir si desea mostrar o no los subtítulos y seleccionar su estilo. Para obtener más información acerca de las piezas, póngase en contacto con su distribuidor Sony.

Conexiones

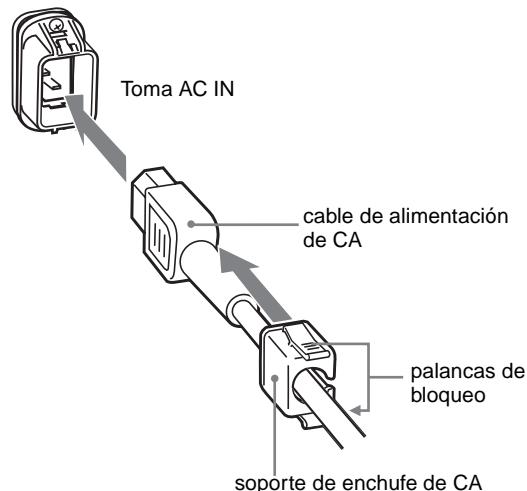
Conexión del cable de alimentación de CA

Para conectar el cable de alimentación de CA

Enchufe el cable de alimentación de CA a la toma AC IN. A continuación, conecte el soporte del enchufe de CA (incluido) al cable de alimentación de CA y deslícelo a lo largo del cable hasta que se bloquee.

Para retirar el cable de alimentación de CA

Tire del soporte del enchufe de CA al mismo tiempo que pulsa las palancas de bloqueo.

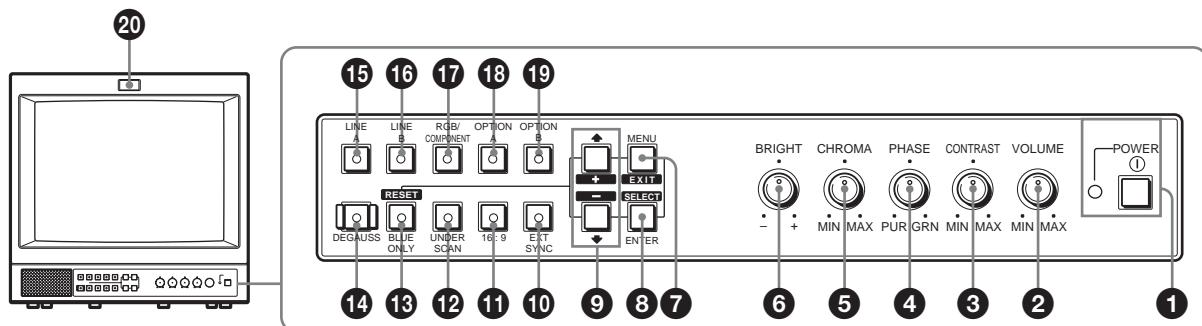


Para el modelo PVM-9L3/PVM-9L2, puede utilizar una batería Sony de iones de litio, BP-L60A/BP-L90A, o una batería Sony de hidruro metálico de níquel, BP-M50/BP-M100.

Para obtener más información sobre cómo instalar la batería, consulte "Modo de instalación de la batería" de la cubierta posterior.

Localización y funciones de las piezas y los controles

Panel de control



① Interruptor POWER ①

Pulse este interruptor para encender el monitor. La lámpara se encenderá. Pulse este interruptor de nuevo para apagar el monitor.

② Control VOLUME

③ Control CONTRAST

④ Control PHASE

Nota

Cuando utilice una señal de componente o PAL, no podrá ajustar la fase.

⑤ Control CHROMA

⑥ Control BRIGHT (brillo)

⑦ Botón MENU/EXIT

Pulse este botón para mostrar u ocultar los menús en pantalla.

⑧ Botón ENTER/SELECT

Pulse este botón para confirmar la selección de un elemento en el menú.

⑨ Botón ↑/+ (mover el cursor hacia arriba/ajustar el valor)

Botón ↓/- (mover el cursor hacia abajo/ajustar el valor)

Pulse estos botones para mover el cursor o para ajustar un elemento seleccionado en el menú.

⑩ Botón y lámpara EXT SYNC (sincronización externa)

Pulse este botón para emplear el monitor con una señal de sincronización externa aplicada a través del conector EXT SYNC.

⑪ Botón y lámpara 16:9

Pulse este botón para supervisar una señal cuya relación de aspecto sea de 16:9.

⑫ Botón y lámpara UNDERSCAN

Pulse este botón para la subexploración.

El tamaño de la visualización se reducirá aproximadamente en un 5%, por lo que serán visibles las cuatro esquinas de la imagen.

⑬ Botón y lámpara BLUE ONLY/RESET

- Pulsando el botón BLUE ONLY, podrá eliminar los componentes rojo y verde de las señales de entrada. En pantalla se muestra sólo el componente azul de una señal de entrada. Esto facilita los ajustes del croma y la fase, así como la observación de ruido procedente de la videocámara. (El ajuste de fase sólo es válido para las señales NTSC.)
- Pulsando el botón RESET, puede restablecer el elemento del menú a su valor anterior cuando seleccione y ajuste el elemento.

⑭ Botón y lámpara DEGAUSS

Pulse este botón sólo una vez. La pantalla se desmagnetizará. Espere como mínimo 10 minutos antes de volver a emplear este botón.

Nota

El botón DEGAUSS está desactivado mientras se muestra el menú en pantalla.

Para desmagnetizar manualmente el monitor, salga del menú de pantalla pulsando el botón MENU/EXIT.

⑮ Botón y lámpara LINE A

Pulse este botón para controlar la señal que se recibe a través de los conectores LINE A.

⑯ Botón y lámpara LINE B

Pulse este botón para controlar la señal que se recibe a través de los conectores LINE B.

⑰ Botón y lámpara RGB/COMPONENT (sólo para los modelos PVM-14L2/PVM-20L2)

Pulse este botón para controlar la señal que se recibe a través de los conectores RGB/COMPONENT.

⑱ Botón y lámpara OPTION A

Este botón funciona cuando se ha instalado una placa opcional en la ranura opcional del panel trasero. Pulse este botón para controlar la señal de vídeo que se recibe a través de la entrada 1 de la placa opcional y la señal de audio que se recibe a través de la toma OPTION AUDIO INPUT 1.

⑲ Botón y lámpara OPTION B

Este botón funciona cuando se ha instalado una placa opcional en la ranura opcional del panel trasero. Púlselo para controlar la señal de vídeo que se recibe a través de la entrada 2 de la placa opcional y la señal de audio que se recibe a través de la toma OPTION AUDIO INPUT 2. (Este botón se desactiva si se utiliza BKM-129X o BKM-155DV).

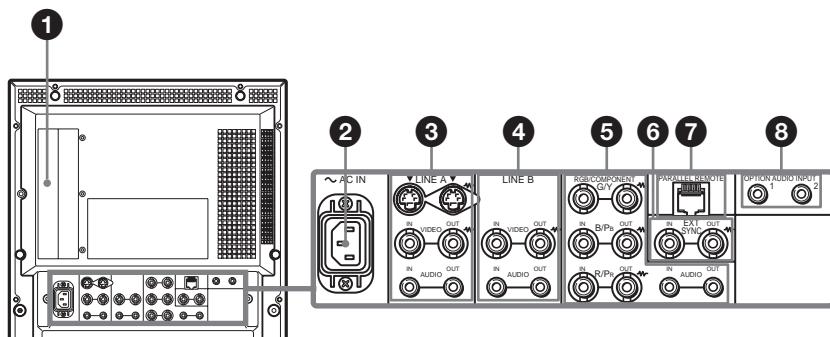
⑳ Lámpara indicadora

Se enciende cuando se selecciona una videocámara conectada a este monitor. Para que la lámpara indicadora funcione correctamente, se requiere un cableado determinado.

Para obtener más detalles sobre este cableado, consulte la página 80.

Panel trasero

PVM-14L2/PVM-20L2



① Ranura opcional

Puede instalar una placa opcional en esta ranura opcional para ampliar la capacidad de entrada. Si instala dos placas, éstas no funcionarán.

Para obtener más información sobre como instalar una placa, consulte el manual del usuario incluido con la placa opcional.

② Toma AC IN

Conecte el cable de alimentación de CA incluido a esta toma y, a continuación, a una toma de pared.

③ Conectores LINE A

Conectores de entrada de línea para señales Y/C separadas, de audio y vídeo compuestas y sus conectores de salida derivada.

Pulse el botón LINE A en el panel de control para supervisar la señal de entrada por estos conectores. Si envía señales tanto a Y/C IN como a VIDEO IN, se selecciona la señal enviada a Y/C IN.

Y/C IN/OUT (Mini DIN de 4 pines)

Son los conectores de entrada y salida para una señal de Y/C separada. Conéctelos a los conectores de entrada y salida de Y/C separada de equipos como una videocámara, una videocámara u otro monitor.

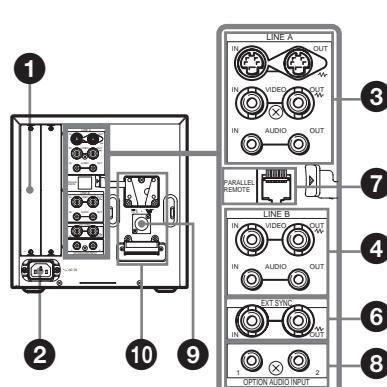
VIDEO IN/OUT (BNC)

Son los conectores de entrada y salida para una señal de vídeo compuesto. Conéctelos a los conectores de entrada y salida de vídeo compuesto de equipos como una videocámara, una videocámara u otro monitor.

AUDIO IN/OUT (toma fonográfica)

Son las tomas de entrada y salida para una señal de audio. Conéctelas a las tomas de entrada y salida de audio de equipos como una videocámara.

PVM-9L3/PVM-9L2



④ Conectores LINE B

Conectores de entrada de línea para señales de audio y vídeo compuesto y sus conectores de salida derivada. Pulse el botón LINE B en el panel de control para supervisar la señal que se recibe a través de estos conectores.

VIDEO IN/OUT (BNC)

Son los conectores de entrada y salida para una señal de vídeo compuesto. Conéctelos a los conectores de entrada y salida de vídeo compuesto de equipos como una videocámara, una videocámara u otro monitor.

AUDIO IN/OUT (toma fonográfica)

Son las tomas de entrada y salida para una señal de audio. Conéctelas a las tomas de entrada y salida de audio de equipos como una videocámara.

⑤ Conectores RGB/COMPONENT (sólo para los modelos PVM-14L2/PVM-20L2)

Son los conectores de entrada de señal RGB analógica o de componente (Y, P_B, P_R) y sus conectores de salida derivada.

Pulse el botón RGB/COMPONENT en el panel de control para supervisar la señal que se recibe a través de estos conectores.

G/Y, B/P_B, R/P_R IN/OUT (BNC)

Son los conectores de entrada y salida para una señal RGB analógica y de componente (Y, P_B, P_R). A menos que reciba una señal de sincronización externa, el monitor se sincroniza con la señal de sincronización contenida en la señal G/Y.

AUDIO IN/OUT (toma fonográfica)

Al usar una señal RGB analógica o de componente como señal de vídeo, use estas tomas para la entrada o salida de una señal de audio. Conéctelas a las tomas de entrada y salida de audio de equipos como una videocámara.

6 Conectores EXT SYNC (sincronización externa)

Pulse el botón EXT SYNC en el panel de control para usar una señal de sincronización externa.

IN/OUT (BNC)

Son los conectores de entrada y salida para una señal de sincronización externa. Envíe una señal de referencia producida por un generador de sincronización al conector IN. Conecte el conector OUT a una entrada de señal de sincronización externa del equipo que desea sincronizar con este monitor.

7 Terminal PARALLEL REMOTE (conector modular)

Forma un interruptor paralelo y controla el monitor externamente.

Para obtener más información sobre la asignación de pines y la función configurada de fábrica de cada pin, consulte la página 80.

8 Conectores de entrada OPTION AUDIO INPUT 1, 2

Si se ha instalado una placa opcional en la ranura opcional, envíe una señal de audio a estos conectores. Puede conectar hasta 2 sistemas. Para controlar las señales de audio que se reciben a través de OPTION AUDIO INPUT 1 ó 2, pulse el botón OPTION A o el OPTION B.

9 Conector DC 12V IN (XLR) (sólo para el modelo PVM-9L3/PVM-9L2)

Enchufe la fuente de alimentación de CC de 12 V a este conector para suministrar energía al monitor.

Está previsto que este producto se suministre mediante la unidad de alimentación mencionada con la marca "Clase 2" y con un voltaje nominal de 12 V de cc, 4,2 A.

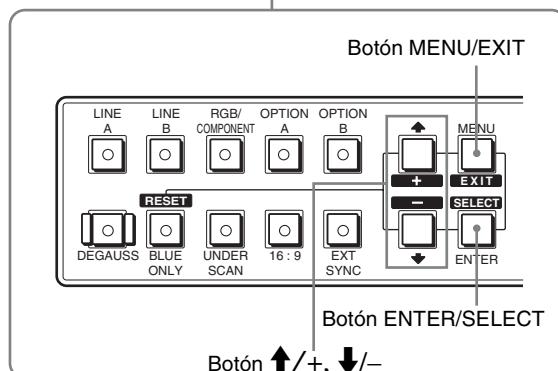
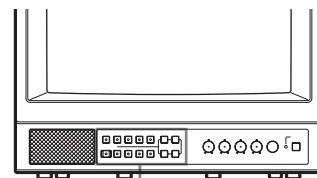
10 Acoplamiento para baterías (sólo para el modelo PVM-9L3/PVM-9L2)

Instale la batería aquí. Para el modelo PVM-9L3/PVM-9L2 puede utilizar una batería Sony de iones de litio, BP-L60A/BP-L90A, o una batería Sony de hidruro metálico de níquel, BP-M50/BP-M100.

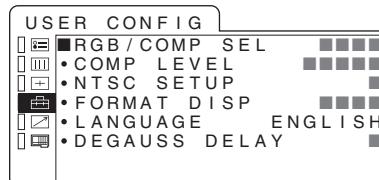
Selección del idioma del menú

Puede seleccionar uno de siete idiomas (inglés, alemán, francés, italiano, español, japonés o chino) para visualizar los menús y otros mensajes en pantalla. El idioma predeterminado de fábrica es ENGLISH (inglés).

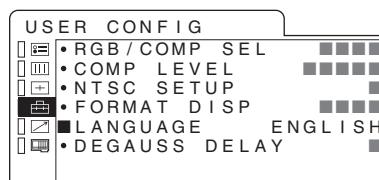
Los ajustes actuales aparecen en el área indicada mediante las marcas ■ en las ilustraciones de la pantalla del menú.



- 1 Pulse el botón MENU/EXIT para mostrar la pantalla del menú y pulse los botones ↑/+ o ↓/- para seleccionar (USER CONFIG). A continuación, pulse el botón ENTER/SELECT. Aparecerá el menú USER CONFIG.



- 2 Pulse los botones ↑/+ o ↓/- para seleccionar "LANGUAGE" y, a continuación, pulse el botón ENTER/SELECT. El elemento seleccionado se visualiza en amarillo.



- 3 Pulse el botón ↑/+ o ↓/- para seleccionar el idioma deseado y, a continuación, pulse el botón ENTER/SELECT. El idioma de la pantalla cambia al que seleccionó.



Para que el menú desaparezca

Pulse el botón MENU/EXIT.

El menú desaparecerá automáticamente si no pulsa ningún botón durante un minuto.

Uso del menú

El monitor está equipado con un menú en pantalla para realizar varios ajustes y configuraciones, como el control de imagen, la configuración de entrada y cambios de configuración, etc.

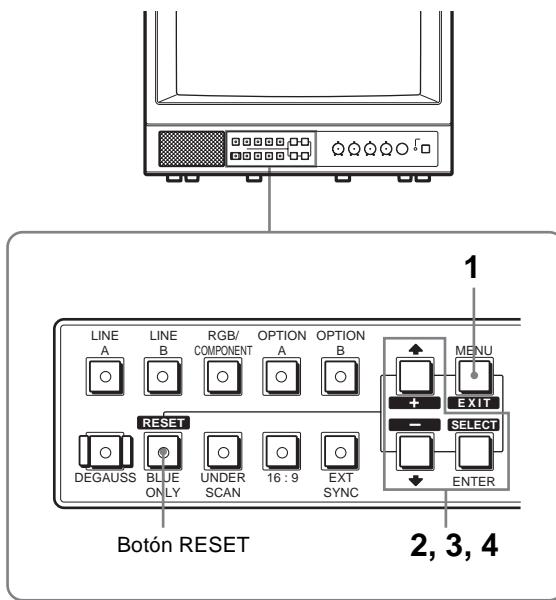
Siga las instrucciones que aparecen abajo para realizar ajustes o cambiar la configuración.

Para obtener más información sobre los elementos del menú, consulte “Ajuste mediante los menús” en la página 75.

También puede cambiar el idioma del menú en pantalla.

Para cambiar el idioma del menú, consulte “Selección del idioma del menú” en la página 73.

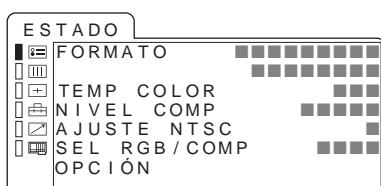
Los ajustes actuales aparecen en el área indicada mediante las marcas ■ en las ilustraciones de la pantalla del menú.



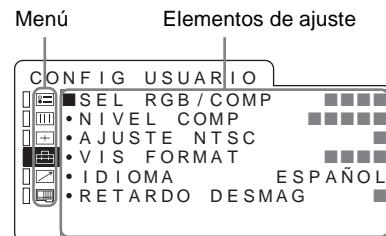
- 1 Pulse el botón MENU/EXIT.

Aparecerá el menú.

El menú actualmente seleccionado se indica con un botón amarillo.



- 2 Pulse el botón ↑/+ o ↓/- para seleccionar un menú y, a continuación, pulse el botón ENTER/SELECT. El ícono del menú seleccionado se visualizará en color amarillo y se mostrarán los elementos de ajuste.



- 3 Use los botones ↑/+ o ↓/- para seleccionar el elemento deseado y, a continuación, pulse el botón ENTER/SELECT. El elemento que se debe cambiar se muestra en amarillo.

Nota

Si el menú consta de varias páginas, pulse el botón ↑/+ o ↓/- para ir a la página que desea del menú.

- 4 Realice los ajustes en el elemento.

Al cambiar el nivel de ajuste:

Para aumentar el número, pulse el botón ↑/+.

Para disminuir el número, pulse el botón ↓/-.

Pulse el botón ENTER/SELECT para confirmar el número y, a continuación, restaure la pantalla original.

Al cambiar el ajuste:

Pulse el botón ↑/+ o ↓/- para cambiar el ajuste.

Pulse el botón ENTER/SELECT para confirmar el ajuste.

Nota

No se puede acceder a los elementos que se muestran en azul. Puede acceder al elemento si aparece en color blanco.

Para que el menú desaparezca

Pulse el botón MENU/EXIT.

El menú desaparecerá automáticamente si no pulsa ningún botón durante un minuto.

Conservar los ajustes

Los ajustes se almacenan automáticamente en la memoria del monitor.

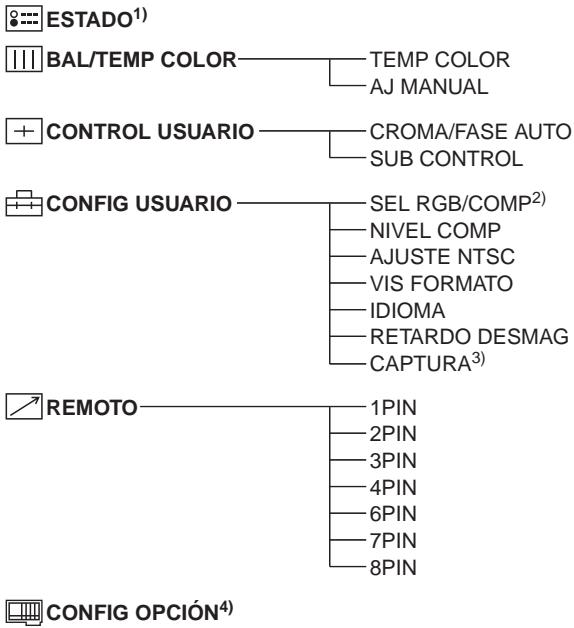
Para restaurar los elementos que está ajustando

Pulse el botón RESET mientras selecciona y ajusta el nuevo elemento del menú. Se ignorará cualquier cambio que se haya realizado en el ajuste del nuevo elemento y se restablecerá el anterior.

Ajuste mediante los menús

Elementos

El menú en pantalla de este monitor consta de los elementos siguientes.



- 1) Los elementos del menú ESTADO indican los ajustes vigentes.
- 2) sólo para los modelos PVM-14L2/PVM-20L2
- 3) La opción CAPTURA sólo aparece cuando se ha instalado el decodificador de subtítulos.
- 4) Los elementos del menú CONFIG OPCIÓN serán distintos según la placa opcional que se instale.

Ajuste y cambio de los valores

Menú ESTADO

El menú ESTADO se utiliza para mostrar el estado actual del monitor.

Submenú	Ajuste
FORMATO	Sólo mostrar
TEMP COLOR	Sólo mostrar
NIVEL COMP	Sólo mostrar
AJUSTE NTSC	Sólo mostrar
SEL RGB/COMP	Sólo mostrar (sólo para los modelos PVM-14L2/PVM-20L2)
OPCIÓN	Sólo mostrar

Menú BAL/TEMP COLOR

El menú BAL/TEMP COLOR se utiliza para ajustar el balance de blancos de la imagen.

Para ajustar el balance de blancos deberá utilizar un instrumento de medición.

Submenú	Ajuste
TEMP COLOR	Seleccione la temperatura de color entre D65, D93 y ajuste de USUARIO.
AJ MANUAL	Si fija TEMP COLOR en el ajuste USUARIO, el elemento que se visualiza cambia de azul a blanco, lo que significa que puede ajustar la temperatura de color. <ul style="list-style-type: none">• AJUSTE GAN...: Ajusta el balance de color (GANANCIA).• AJUSTE POL...: Ajusta el balance de color (POL).• COPIAR DE: Si selecciona D65 o D93 con el botón ↑/+ o ↓/-, los datos del balance de blancos correspondientes a la temperatura de color seleccionada se copiarán en el ajuste USUARIO.

Menú CONTROL USUARIO

El menú CONTROL USUARIO se usa para ajustar la imagen.

Los elementos que no se pueden ajustar dependiendo de la señal de entrada se visualizan en azul.

Submenú	Ajuste
CROMA FASE/AUTO	<p>Ajusta la intensidad del color (CHROMA) y los tonos (PHASE).</p> <ul style="list-style-type: none"> • VALOR AJ AUTO: Elige los valores que se aplicarán al croma y a la fase a partir del ajuste automático o la configuración de fábrica. ACT.: valores de ajuste automático DESACT: valores predeterminados de fábrica <ul style="list-style-type: none"> • INICIAR: Muestra las señales de barras de color (Full/ SMPTE/EIA) en la pantalla. Para seleccionar una, pulse el botón ENTER/SELECT. Se inicia la función de ajuste automático. Después de realizar correctamente el ajuste, VALOR AJ AUTO se ajusta automáticamente en ACT. Pulse el botón MENU/ EXIT para salir de la pantalla de ajustes. <p>Nota</p> <p>Si ha seleccionado barras de color completas, introduzca ocho barras de color.</p>
SUB CONTROL	<p>Puede ajustar con precisión el intervalo de valores de los controles siguientes en el panel de control: CONTRAST, PHASE, CHROMA y BRIGHT.</p> <ul style="list-style-type: none"> • AJUSTE....: Ajusta los siguientes elementos. CONTRASTE...: Ajusta el contraste de la imagen. BRILLO...: Ajusta el brillo de la imagen. CROMA...: Ajusta la intensidad del color. Cuanto mayor sea el valor, mayor será la intensidad. Cuanto menor sea el ajuste, menor será la intensidad. FASE...: Ajusta los tonos de color. Cuanto mayor sea el ajuste, la imagen adquirirá un tono más verdoso. Cuanto menor sea el ajuste, la imagen adquirirá un tono más morado. APERTURA...: Ajusta la nitidez de la imagen. Cuanto mayor sea el ajuste, mayor será la nitidez de la imagen.

Menú CONFIG USUARIO

El menú CONFIG USUARIO se emplea para seleccionar un idioma para los menús y los mensajes en pantalla o para determinar el tipo de señal de vídeo aceptable en los conectores RGB/COMPONENT (RGB o de componente analógicos).

Submenú	Ajuste
SEL RGB/COMP (sólo para los modelos PVM-14L2/PVM-20L2)	Elija RGB o COMPONENTE, según el tipo de señal de vídeo que desee enviar a los conectores RGB/COMPONENT.
NIVEL COMP	Seleccione el nivel de componente entre los tres modos. SMPTE: Señal 100/0/100/0 BETA 7,5: Señal 100/7,5/75/7,5 BETA 0: Señal 100/0/75/0
AJUSTE NTSC	Seleccione el nivel de ajuste NTSC entre dos modos. El nivel de configuración 7,5 se usa principalmente en América del Norte. El nivel de configuración 0 se usa principalmente en Japón.
VIS FORMATO	Determina si el formato de una señal de entrada se muestra o no en la pantalla. ACT.: Siempre se muestra el formato. DESACT: Siempre se oculta el formato. AUTO: El formato se muestra durante aproximadamente 10 segundos cuando comienza la entrada de la señal.
IDIOMA	Puede seleccionar el idioma deseado para los menús o mensajes entre las opciones siguientes. 日本語: Japonés ENGLISH: Inglés DEUTSCH: Alemán FRANÇAIS: Francés ITALIANO: Italiano ESPAÑOL: Español 中文: Chino
RETARDO DESMAG	Ajusta el tiempo para que la desmagnetización automática empiece a funcionar una vez que encienda la alimentación. Este tiempo puede fijarse entre 0 y 99 segundos.
CAPTURA (disponible sólo cuando se ha instalado el decodificador de subtítulos.)	Selecciona el modo de visualización de subtítulos entre las opciones siguientes: DESACT, CAPTURA 1, CAPTURA 2, TEXTO 1 y TEXTO 2.

Menú REMOTO

El menú REMOTO se emplea para asignar las funciones a los pines del terminal PARALLEL REMOTE. Se pueden usar los pines 1 a 4 y 6 a 8. A continuación se indican las funciones que puede asignar a los pines

- -- (No se ha asignado ninguna función.)
- LINEA A
- LINEA B
- RGB/COMP (sólo para los modelos PVM-14L2/PVM-20L2)
- OPCION A
- OPCION B
- INDICADOR
- SUBEXPLO
- 16:9
- SINC EXT
- SÓLO AZUL
- DESMAG.

Nota

Si utiliza la función remota paralela, deberá conectar los cables.

Para obtener más información, consulte la página 80.

Menú CONFIG OPCIÓN

El menú CONFIG OPCIÓN se utiliza para configurar la placa opcional instalada en la ranura opcional del panel trasero. En función de la placa instalada, puede variar la pantalla que se muestra. Si no hay ninguna placa instalada, no aparecen los ajustes de los elementos. Despues de asignar la señal de entrada, ajuste CROMA FASE/AUTO del monitor.

Cuando se instala la placa opcional BKM-150CP:

Submenú	Ajuste
FORMATO	Fija el tipo de señal. Seleccione SDTI-CP o D1-SDI.
AUDIO	Selecciona el canal de audio. D1-SDI Seleccione desde CH1+CH2 hasta CH15+CH16, o desde CH1 hasta CH16. SDTI-CP Seleccione desde CH1+CH2 hasta CH7+CH8, o desde CH1 hasta CH8. Se ignora la entrada de señal de audio a la toma OPTION AUDIO INPUT 1/2.
CÓDIGO TIEMPO	Selecciona la pantalla de código de tiempo. D1-SDI Seleccione VITC, RP188 o DESACT. SDTI-CP Seleccione VITC, CP-TC1, CP-TC2, ES-TC1, ES-TC2 o DESACT.

A continuación se indican las abreviaturas del menú y sus nombres completos:

- CP-TC1: SMPTE 331M Elemento del sistema USER DATE/TIME STAMP
- CP-TC2: SMPTE 331M Elemento del sistema CREATION DATE/TIME STAMP
- ES-TC1: SMPTE 328M Información de edición MPEG ES TIME CODE1
- ES-TC2: SMPTE 328M Información de edición MPEG ES TIME CODE2
- RP188: SMPTE RP188 Código de tiempo
- VITC: SMPTE 12M VITC, SMPTE 266M D-VITC

Cuando se instala la placa opcional BKM-155DV:

Submenú	Ajuste
AUDIO	Selecciona el canal de audio. Seleccione entre CH1+CH2, CH3+CH4, CH1/3, CH2/4, CH1/3+CH2/4, o CH1 a través de CH4. Se ignora la entrada de señal de audio a la toma OPTION AUDIO INPUT 1/2.

Cuando se instala la placa opcional BKM-120D o BKM-129X:

El número de serie de la placa se muestra en el menú CONFIG OPCIÓN.

Si el ventilador de enfriamiento de la unidad BKM-150CP o la BKM-155DV se detiene, la pantalla muestra el siguiente mensaje en rojo: "BKM-xxxxx ERROR VENTILAD" En este caso, no puede seleccionar la Opción A ni la Opción B.

Solución de problemas

Este apartado le puede ayudar a averiguar el motivo de un problema para evitar tener que solicitar asistencia técnica.

- **La pantalla es de color verde o púrpura. →**
Seleccione la entrada correcta pulsando uno de los botones relacionados con la entrada.
- **La señal que se recibe a través de los conectores de entrada RGB/COMPONENT no aparece en la pantalla (sólo para los modelos PVM-14L2/PVM-20L2). →** Ajuste correctamente SEL RGB/COMP en el menú CONFIG USUARIO según el tipo de señal de entrada.
- **La BKM-150CP o la BKM-155DV se ha instalado. Aparece el mensaje de error "BKM-xxxxx ERROR VENTILAD" y no puede seleccionar la Opción A ni la Opción B. →** Repare la BKM-xxxxx.

Especificaciones

Generales

PVM-9L3/PVM-9L2

TRC: HR Trinitron, material luminiscente P22 (PVM-9L3)
Trinitron, material luminiscente P22 (PVM-9L2)

Alimentación: CA de 100 a 240 V, 50/60 Hz.

Consumo de energía:

Máximo de 58 W. De 0,6 a 0,3 A
(cuando se ha instalado la placa opcional BKM-150CP) 12 V CC,
4,2 A, 48 W
Estándar: 47 W. De 0,5 a 0,25 A (sin placa opcional) 12 V CC, 3,3 A, 38 W

Corriente de irrigación pico:

(1) Alimentación activada, método de sondeo de corriente: 70 A (240 V)
(2) Corriente de irrigación de conmutación en caliente, medida de acuerdo con el estándar europeo EN55103-1: 12 A (230 V)

Dimensiones (máx.):

Aprox. 217 × 218 × 373 mm
(8 5/8 × 8 5/8 × 14 3/4 pulgadas)
(an/al/prf)

Peso: Aprox. 8,0 kg (17 lb. 10 oz.)

PVM-14L2

TRC: Trinitron, material luminiscente P22

Alimentación: CA de 100 a 240 V, 50/60 Hz.

Consumo de energía:

Máximo de 85 W. De 0,9 a 0,4 A
(cuando se ha instalado la placa opcional BKM-150CP)
Estándar: 75 W. De 0,8 a 0,35 A (sin placa opcional)

Corriente de irrigación pico:

(1) Alimentación activada, método de sondeo de corriente: 53 A (240 V)
(2) Corriente de irrigación de conmutación en caliente, medida de acuerdo con el estándar europeo EN55103-1: 35 A (230 V)

Dimensiones (máx.):

Aprox. 346 × 340 × 430 mm
(13 5/8 × 13 1/2 × 17 pulgadas)
(an/al/prf)

Peso: Aprox. 18,0 kg (39 lb. 11 oz.)

PVM-20L2

TRC: Trinitron, material luminiscente P22

Alimentación: CA de 100 a 240 V, 50/60 Hz.

Consumo de energía:

Máximo de 108 W. De 1,1 a 0,5 A
(cuando se ha instalado la placa opcional BKM-150CP)

Estándar: 98 W. De 1,0 a 0,4 A (sin placa opcional)

Corriente de irrigación pico:

- (1) Alimentación activada, método de sondeo de corriente: 53 A (240 V)
- (2) Corriente de irrigación de conmutación en caliente, medida de acuerdo con el estándar europeo EN55103-1: 35 A (230 V)

Dimensiones (máx.):

Aprox. 453 × 463 × 529 mm
(17 7/8 × 18 1/4 × 20 7/8 pulgadas)
(an/al/prf)

Peso: Aprox. 33,0 kg (72 lb. 12 oz.)

Conectores de entrada/salida

Entrada

Conejeros de entrada LINE A

Entrada Y/C mini DIN (1) de 4 pines

Entrada VIDEO

Tipo BNC (1) sincronización negativa
1 Vp-p +3 dB -6 dB

Entrada AUDIO

Toma fonográfica (1) -5 dBu 47 kΩ o superior

Conejeros de entrada LINE B

Entrada VIDEO

Tipo BNC (1) sincronización negativa
1 Vp-p +3 dB -6 dB

Entrada AUDIO

Toma fonográfica (1) -5 dBu 47 kΩ o superior

Conejeros de entrada RGB/componente

Tipo BNC (3) (sólo para los modelos PVM-14L2/PVM-20L2)

Entrada RGB 0,7 Vp-p +3 dB -6 dB (sinc. en verde, sinc. negativa de 0,3 Vp-p)

Entrada de componente

0,7 Vp-p +3 dB -6 dB (señal de barras de color estándar con 75% de crominancia)

Entrada AUDIO

Toma fonográfica (1) -5 dBu 47 kΩ o superior

Conejero de entrada sincronizada externamente

Tipo BNC (1) 0,3 a 8 Vp-p bipolaridad ternaria ± o polaridad binaria negativa

Tomas de entrada AUDIO opcionales

Toma fonográfica (2) -5 dBu 47 kΩ o superior

Terminal de entrada remota

Remota paralela

Conejero modular de 8 pines (1)

Salida

Conectores de salida LINE A

Salida Y/C mini DIN de cuatro pines (1) derivada con función de terminal automática de $75\ \Omega$

Salida VIDEO

Tipo BNC (1) derivada con función de terminal automática de $75\ \Omega$

Salida AUDIO

Toma fonográfica (1) derivada

Conectores de salida LINE B

Salida VIDEO

Tipo BNC (1) derivada con función de terminal automática de $75\ \Omega$

Salida AUDIO

Toma fonográfica (1) derivada

Conectores de salida de RGB/componente (sólo para los modelos PVM-14L2/PVM-20L2)

Salida de RGB/componente

Tipo BNC (3) derivada con función de terminal automática de $75\ \Omega$

Salida AUDIO

Toma fonográfica (1) derivada

Conector de salida sincronizada externamente

Tipo BNC (1) derivada con función de terminal automática de $75\ \Omega$

Salida de altavoz incorporado

0,8 W (monoaural)

PVM-20L2

H: 5% o menos

V: 5% o menos

Temperatura de color

D65, D93, USUARIO (Temperatura de color ajustable: 5000 K y 10000 K)

Error de convergencia

PVM-9L3/PVM-9L2

Central: 0,4 mm (1/32 pulgadas) o menos

Periférico: 0,5 mm (1/32 pulgadas) o menos

PVM-14L2

Central: 0,4 mm (1/32 pulgadas) o menos

Periférico: 0,5 mm (1/32 pulgadas) o menos

PVM-20L2

Central: 0,5 mm (1/32 pulgadas) o menos

Periférico: 0,7 mm (1/32 pulgadas) o menos

Estabilidad del tamaño de trama

H: 1,0%

V: 1,0%

Resolución (en el centro de la pantalla)

450 líneas de TV (PVM-9L3)

250 líneas de TV (PVM-9L2)

600 líneas de TV (PVM-14L2/PVM-20L2)

Señal de vídeo

Frecuencia de respuesta

PVM-9L3/PVM-9L2

50 Hz a 6 MHz (0 dB/-3 dB)

PVM-14L2/PVM-20L2

50 Hz a 10 MHz (0 dB/-3 dB)

Compensación de apertura¹⁾

DEACT: 0 dB

ACT.: 2 dB a 6 dB

Rendimiento de la imagen

Exploración normal

6% de sobreexploración del área de pantalla efectiva del TRC (PVM-9L3/PVM-9L2)

7% de sobreexploración del área de pantalla efectiva del TRC (PVM-14L2/PVM-20L2)

Subexploración 5% de subexploración del área de pantalla efectiva del TRC

Linealidad PVM-9L3/PVM-9L2

H: 4% o menos

V: 4% o menos

PVM-14L2

H: 4% o menos

V: 4% o menos

Condiciones de funcionamiento

Temperatura 0 °C a 35 °C (32 °F a 95 °F)

Humedad 30% a 85% (sin condensación)

Presión 700 hPa a 1060 hPa

Condiciones de almacenamiento y transporte

Temperatura -10 °C a 40 °C (14 °F a 104 °F)

Humedad 0% a 90%

Presión 700 hPa a 1060 hPa

Accesorios suministrados

Cable de alimentación de CA (1)

Soporte de enchufe de CA (1)

Manual de instrucciones (1)

El modelo PVM-9L3/PVM-9L2/PVM-14L2/PVM-20L2 es un monitor de vídeo en color Trinitron para uso profesional.

El diseño y las especificaciones están sujetos a cambios sin previo aviso.

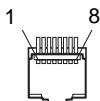
1) La abertura no se puede compensar para las señales de entrada RGB.

Asignación de pines

Terminal PARALLEL REMOTE

Conector modular

(8 pines)



Número de pin	Funciones
1	Configurar la señal de entrada LINE A
2	Configurar la señal de entrada LINE B
3	Activar o desactivar la lámpara indicadora
4	Seleccionar subexploración
5	GND
6	Activar y desactivar sólo azul
7	Seleccionar relación de aspecto de 16:9
8	Seleccionar sincronización externa

Puede asignar las funciones usando el menú REMOTO.

Para utilizar el mando a distancia debe disponer de un conjunto de cables

Conecte a tierra (pin 5) la función que desea utilizar con un mando a distancia.

ATTENZIONE

**Per evitare incendi o cortocircuiti,
l'apparecchio non deve essere esposto alla
pioggia o all'umidità.**

**All'interno del televisore sono presenti tensioni
pericolosamente alte. Non aprire l'apparecchio.
Per le riparazioni, rivolgersi esclusivamente a
personale specializzato.**

Nel caso di malfunzionamenti o di necessarie
riparazioni dell'apparecchio, consultare un rivenditore
autorizzato Sony.

Per i clienti in Europa

Questo prodotto recante il marchio CE è conforme sia
alla direttiva sulla compatibilità elettromagnetica
(EMC) (89/336/CEE) che alla direttiva sulle basse
tensioni (73/23/CEE) emesse dalla Commissione della
Comunità Europea.

La conformità a queste direttive implica la conformità
alle seguenti normative europee:

- EN60950: Sicurezza dei prodotti
- EN55103-1: Interferenza elettromagnetica
(Emissione)
- EN55103-2: Sensibilità ai disturbi elettromagnetici
(Immunità)

Questo prodotto è destinato all'uso nei seguenti
ambienti elettromagnetici:

E1 (residenziali), E2 (commerciali e industriali leggeri),
E3 (esterni urbani) e E4 (ambienti EMC controllati, ad
esempio studi televisivi).

I presenti prodotti sono stati progettati per l'utilizzo
negli ambienti da E1 a E4. Durante la tensione EMC, il
grado di prestazione (valutato in base a ITU/R 562-3 e
ITU/R 500-4) potrebbe diminuire, come mostrato nella
tabella 1. In assenza di tensione EMC, il grado di
prestazione torna al livello di funzionamento completo.

Tabella 1

	Frequenza	Livello
PVM-14L2 (Monitor da 14")	210 – 340 MHz/ 625 – 655 MHz	3,5
PVM-20L2 (Monitor da 20")	259 – 346 MHz/ 385 – 457 MHz	3,5

ATTENZIONE – Se il prodotto viene installato su un rack:

a) Temperatura ambientale di utilizzo elevata

Se installato in un rack chiuso o per più apparecchi,
la temperatura ambientale di funzionamento del rack
potrebbe essere superiore a quella della stanza.
Pertanto, prestare attenzione ad installare
l'apparecchio in un ambiente compatibile con la
temperatura nominale massima dell'ambiente
indicata dal produttore (da 0°C a 35°C).

b) Flusso dell'aria ridotto

L'installazione dell'apparecchio all'interno di un
rack non deve impedire il ricircolo dell'aria
necessaria per il funzionamento sicuro
dell'apparecchio.

c) Carico meccanico

L'installazione dell'apparecchio in un rack deve
impedire il verificarsi di condizioni di rischio dovute
ad un carico meccanico impari.

d) Sovraccarico del circuito

Prestare particolare attenzione al collegamento
dell'apparecchio al circuito di alimentazione e agli
effetti che il sovraccarico dei circuiti potrebbero
avere sulla protezione da sovraccorrente e sui cavi di
alimentazione.

A tale proposito, fare riferimento a quanto indicato
nella targhetta indicante la potenza nominale
dell'apparecchio.

e) Messa a terra affidabile

Mantenere la messa a terra dell'apparecchio montato
su rack ad un elevato livello di affidabilità. Prestare
particolare attenzione ai collegamenti
all'alimentazione oltre ai collegamenti diretti al
circuito secondario (p. es. utilizzo di ciabatte).

f) Spazio

Lo spazio sottostante e soprastante l'apparecchio
montato sul rack deve essere pari a 44 mm.

Indice

Precauzioni	84
Sicurezza	84
Installazione	84
Pulizia della superficie del tubo a raggi catodici	84
Pulizia	84
Reimballaggio	84
Installazione su un rack	84
Caratteristiche	84
Collegamenti	86
Collegamento del cavo di alimentazione CA ...	86
Individuazione e funzione delle parti e dei comandi	86
Pannello di controllo	86
Pannello posteriore	88
Selezione della lingua dei menu	89
Uso del menu	90
Regolazioni mediante i menu	91
Voci	91
Regolazione e modifica delle impostazioni	91
Menu STATO	91
Menu TEMP/BILANC. COLORE	92
Menu CONTROLLO UTENTE	92
Menu CONFIG UTENTE	93
Menu REMOTO	93
Menu CONFIG. OPZIONI	94
Guida alla soluzione dei problemi	94
Caratteristiche tecniche	95
Dimensioni	i
Installazione della batteria (solo per PVM-9L3/PVM-9L2)	Pannello anteriore

IT
Italiano

Le istruzioni contenute in questo manuale si riferiscono ai modelli descritti di seguito, salvo diverso avvertimento.

Nel caso in cui vi siano differenze tra i modelli, queste vengono indicate chiaramente nel manuale.

- PVM-9L3 (monitor 9 pollici)
- PVM-9L2 (monitor 9 pollici)
- PVM-14L2 (monitor 14 pollici)
- PVM-20L2 (monitor 20 pollici)

Salvo diversamente indicato, le illustrazioni del monitor video si riferiscono al modello PVM-14L2.

Precauzioni

Sicurezza

- Utilizzare l'apparecchio solo con una fonte di alimentazione tra quelle specificate nella sezione "Caratteristiche tecniche".
- La targhetta indicante la tensione operativa, il consumo energetico e così via è situata nella parte posteriore.
- Nel caso in cui oggetti solidi o liquidi dovessero penetrare all'interno del rivestimento, scollegare l'apparecchio e farlo controllare da personale qualificato prima di riutilizzarlo.
- Non far cadere o collocare oggetti pesanti sul cavo di alimentazione. Se il cavo di alimentazione è danneggiato, disattivare subito l'alimentazione, in quanto l'uso dell'apparecchio potrebbe essere pericoloso.
- Se l'apparecchio non viene utilizzato per diversi giorni, scolgarlo dalla presa a muro.
- Scollegare il cavo di alimentazione dalla presa CA afferrandolo per la spina e mai per il cavo.
- La presa per l'alimentazione deve essere situata vicino all'apparecchio e di facile accesso.

Installazione

- Consentire una circolazione di aria adeguata per prevenire il surriscaldamento interno.
Non collocare l'apparecchio su superfici quali stoffe e coperte o vicino a materiali quali tessuti e tendaggi, che potrebbero bloccare le prese di ventilazione.
- Non collocare l'apparecchio vicino a fonti di calore quali termosifoni o condotti d'aria né in luoghi soggetti a luce solare diretta, polvere eccessiva, urti o vibrazioni meccaniche.

Pulizia della superficie del tubo a raggi catodici

- Pulire il tubo a raggi catodici con un panno morbido. Se il tubo a raggi catodici è unto o vi sono impronte, pulirlo utilizzando un panno morbido inumidito con una soluzione detergente neutra.
- Non utilizzare detergenti abrasivi, sapone alcalino, né solventi quali alcol, acquaragia o benzene, onde evitare di danneggiare la superficie.
- Non strofinare la superficie del tubo a raggi catodici con oggetti solidi né colpirla con alcunché.

Pulizia

Per mantenere nuovo l'aspetto dell'apparecchio, pulirlo periodicamente con una soluzione detergente delicata. Non utilizzare mai prodotti aggressivi quali benzina o solventi né prodotti di pulizia abrasivi che potrebbero danneggiare il rivestimento. Per una maggiore sicurezza, scollegare l'apparecchio prima di effettuare la pulizia.

Reimballaggio

Non gettare via la scatola e il materiale di imballaggio, in quanto possono essere riutilizzati per trasportare l'apparecchio. Se occorre spedire l'apparecchio in un altro luogo, reimballarlo come illustrato sulla scatola.

Installazione su un rack

Lasciare libero almeno uno scomparto del rack al di sopra e al di sotto del monitor, per garantire un'adeguata circolazione dell'aria o installare una ventola per mantenerne le prestazioni elevate.

Per eventuali domande, rivolgersi al rivenditore Sony autorizzato.

Caratteristiche

Immagine

Cinescopio a coloriTrinitron¹⁾

Il cinescopio Trinitron fornisce un'immagine con risoluzione orizzontale superiore a 600 linee TV al centro dell'immagine (solo per PVM-14L2/PVM-20L2).

Filtro a pettine

Quando vengono ricevuti segnali video NTSC, si attiva un filtro a pettine che consente una separazione Y/C più accurata. Questa funzione contribuisce a diminuire i problemi di risoluzione, le interferenze a colori sovrapposti e i disturbi relativi alla luminanza.

Circuito BCF

Il circuito BCF (Beam Current Feedback, corrente del fascio di reazione) incorporato assicura un bilanciamento del bianco stabile.

Disponibilità di due sistemi di colore

Il monitor è in grado di visualizzare segnali NTSC e PAL. Il sistema di colore appropriato viene selezionato automaticamente.

1)"Trinitron" è un marchio di fabbrica registrato di Sony Corporation

Ingresso

Connettori di ingresso analogico RGB/componente (solo per PVM-14L2/PVM-20L2)

I segnali analogici RGB o componente (Y, P_B, P_R) trasmessi dall'apparecchiatura video possono essere immessi attraverso questi connettori. Premere il tasto RGB/COMPONENT sul pannello di controllo per controllare il segnale.

Connettori di ingresso Y/C (connettore di ingresso S)

Il segnale video, diviso in segnale di luminanza (Y) e segnale di crominanza (C), può essere immesso attraverso questo connettore, eliminando l'interferenza tra i due componenti e garantendo la qualità del video.

Capacità di ingresso espandibile

È possibile espandere facilmente la capacità di ingresso installando una scheda opzionale (non in dotazione) nell'alloggiamento opzionale situato nel pannello posteriore. Per espandere la capacità di ingresso, è possibile installare una sola scheda per volta. Due schede installate contemporaneamente non funzionano.

Ingresso sincrono esterno

Premendo una volta il tasto EXT SYNC del pannello di controllo, il monitor funziona in base al segnale sincrono fornito da un generatore di sincronizzazione esterno.

Terminazione automatica (solo per i connettori contrassegnati da $\wedge\wedge$)

Quando non vi sono collegamenti con il connettore di uscita, il connettore di ingresso viene terminato a 75 ohm internamente. Se al connettore di uscita viene collegato un cavo, il terminale interno viene rilasciato automaticamente e i segnali immessi nel connettore di ingresso vengono inviati al connettore di uscita (circuito aperto).

Funzioni

Funzione fase e colore automatica

Il colore e la fase vengono regolati automaticamente.

Modo solo blu

Nel modo solo blu, viene visualizzato il componente blu di un segnale di ingresso. Questo facilita le regolazioni della saturazione del colore e della fase e la visualizzazione dei disturbi del videoregistratore.

Modo di sottoscansione

Nel modo di sottoscansione, le linee solitamente scansionate al di fuori dell'area di visualizzazione normale diventano visibili così da rendere possibile il controllo dell'intera area dello schermo.

Nota

Quando il monitor è nel modo di sottoscansione, sul bordo superiore dello schermo potrebbero apparire le linee di scansione RGB scure. Tali linee sono provocate da un segnale di prova interno.

Modo 16:9

È possibile controllare in modo accurato i segnali con rapporto di formato pari a 16:9, oltre ai segnali in formato 4:3.

Smagnetizzazione automatica e manuale

Il monitor viene automaticamente smagnetizzato quando si attiva l'alimentazione. È possibile smagnetizzare manualmente il monitor premendo il tasto DEGAUSS.

Tramite il menu, è possibile selezionare un valore temporale per impostare la smagnetizzazione automatica dopo l'attivazione dell'alimentazione.

Menu a schermo

Tramite i menu a schermo, è possibile effettuare l'impostazione della temperatura di colore, del colore e altre impostazioni.

Opzioni

Possibilità di utilizzo di una staffa di montaggio su rack da 19 pollici conforme a EIA

Il monitor può essere montato su un rack da 19 pollici conforme a EIA mediante le seguenti staffe di montaggio o guide a scorrimento.

Per il modello PVM-9L3/PVM-9L2: MB-520

Per il modello PVM-14L2: MB-502B (in Europa, utilizzare il modello MB-502C)

Per il modello PVM-20L2: SLR-103A (in Europa, utilizzare il modello SLR-103C)

Per ulteriori informazioni sul montaggio del monitor sul rack, consultare le istruzioni per l'uso della staffa di montaggio o della guida a scorrimento.

Decodificatore sottotitoli (Closed Caption)

Installando i componenti specifici, il monitor è in grado di decodificare i sottotitoli. Tramite il menu, è possibile selezionare o meno l'attivazione dei sottotitoli, nonché il relativo tipo di carattere. Per informazioni sui componenti, rivolgersi al proprio rivenditore Sony.

Collegamenti

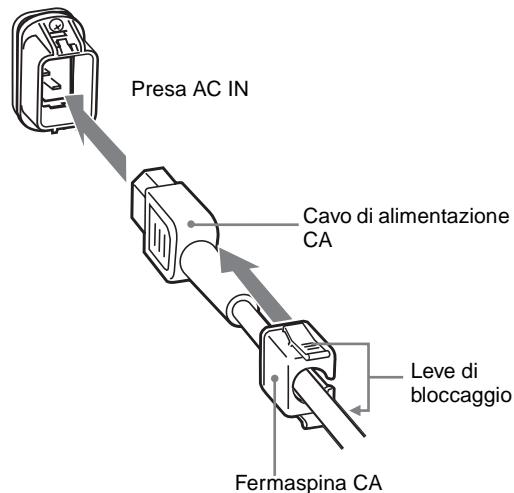
Collegamento del cavo di alimentazione CA

Per collegare il cavo di alimentazione CA

Inserire il cavo di alimentazione CA nella presa AC IN. Quindi, applicare al cavo di alimentazione CA l'apposito fermaspina (in dotazione) e farlo scorrere lungo il cavo fino a bloccarlo in posizione.

Per rimuovere il cavo di alimentazione CA

Estrarre il fermaspina CA tenendo premute le leve di bloccaggio.

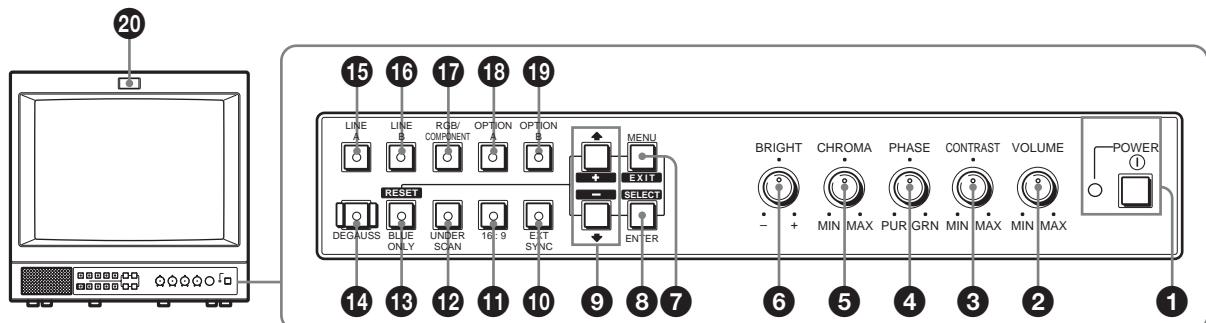


Per il modello PVM-9L3/PVM-9L2, è possibile utilizzare la batteria agli ioni di litio Sony BP-L60A/BP-L90A o la batteria all'idruro di nichel Sony BP-M50/BP-M100.

Per ulteriori informazioni sull'installazione della batteria, vedere "Installazione della batteria" a Pannello anteriore.

Individuazione e funzione delle parti e dei comandi

Pannello di controllo



① Interruttore ①POWER

Premere l'interruttore per accendere il monitor. La spia si illumina. Premere di nuovo l'interruttore per spegnere il monitor.

② Comando VOLUME

③ Comando CONTRAST

④ Comando PHASE

Nota

Se viene utilizzato un segnale componente o PAL, non è possibile regolare la fase.

⑤ Comando CHROMA

⑥ Comando BRIGHT (luminosità)

Premere questo tasto per visualizzare o disattivare i menu.

⑦ Tasto MENU/EXIT

Premere questo tasto per confermare una voce selezionata in un menu.

⑧ Tasto ENTER/SELECT

Premere questo tasto per confermare una voce selezionata in un menu.

9 Tasto ↑/+ (consente di spostare il cursore verso l'alto/regolare il valore)

Tasto ↓/- (consente di spostare il cursore verso il basso/regolare il valore)

Premere questi tasti per spostare il cursore o regolare una voce selezionata in un menu.

10 Tasto e spia EXT SYNC (sincronizzazione esterna)

Premere questo tasto per utilizzare il monitor con un segnale di sincronizzazione esterno immesso mediante il connettore EXT SYNC.

11 Tasto e spia 16:9

Premere questo tasto per controllare i segnali con rapporto di formato pari a 16:9.

12 Tasto e spia UNDERSCAN

Premere questo tasto per eseguire una sottoscansione. La dimensione dell'area di visualizzazione viene ridotta di circa il 5% in modo tale da rendere visibili quattro angoli dell'immagine.

13 Tasto e spia BLUE ONLY/RESET

- Premere il tasto BLUE ONLY, per eliminare i componenti rosso e verde del segnale di ingresso. Verrà visualizzato il solo componente blu del segnale di ingresso. Questo facilita le regolazioni del colore e della fase e la visualizzazione dei disturbi del videoregistratore (la regolazione della fase ha effetto sui soli segnali NTSC).
- Premere il tasto RESET durante la selezione o la regolazione di una voce di menu per riportare i valori di impostazione della voce stessa su quelli precedenti.

14 Tasto e spia DEGAUSS

Premere questo tasto una volta per smagnetizzare lo schermo. Prima di utilizzare nuovamente il tasto, attendere almeno 10 minuti.

Nota

Il tasto DEGAUSS non è disponibile durante la visualizzazione del menu a schermo.
Per smagnetizzare manualmente il monitor, chiudere il menu a schermo premendo il tasto MENU/EXIT.

15 Tasto e spia LINE A

Premere questo tasto per controllare i segnali trasmessi mediante i connettori LINE A.

16 Tasto e spia LINE B

Premere questo tasto per controllare i segnali trasmessi mediante i connettori LINE B.

17 Tasto e spia RGB/COMPONENT (solo per PVM-14L2/PVM-20L2)

Premere questo tasto per controllare i segnali trasmessi mediante i connettori RGB/COMPONENT.

18 Tasto e spia OPTION A

Questo tasto è disponibile solo se è stata installata una scheda opzionale nell'alloggiamento opzionale del pannello posteriore. Premere questo tasto per controllare il segnale video trasmesso mediante l'ingresso 1 della scheda opzionale e il segnale audio trasmesso dalla presa OPTION AUDIO INPUT 1.

19 Tasto e spia OPTION B

Questo tasto è disponibile solo se è stata installata una scheda opzionale nell'alloggiamento opzionale del pannello posteriore. Premere questo tasto per controllare il segnale video trasmesso mediante l'ingresso 2 della scheda opzionale e il segnale audio trasmesso dalla presa OPTION AUDIO INPUT 2.

(Questo tasto non è operativo se si usa BKM-129X o BKM-155DV.)

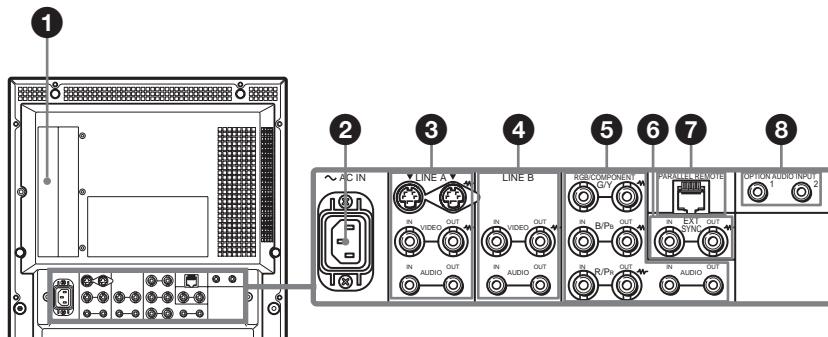
20 Spia di controllo

Si illumina quando viene selezionata una videocamera collegata al monitor. Per garantire il funzionamento corretto della spia, è necessario eseguire un collegamento specifico.

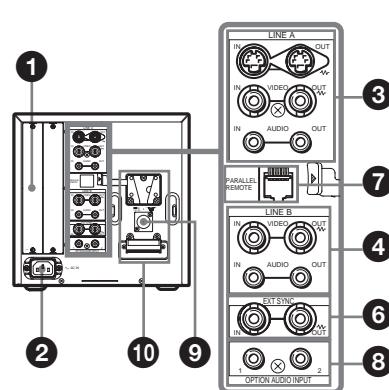
Per ulteriori informazioni, vedere a pagina 97.

Pannello posteriore

PVM-14L2/PVM-20L2



PVM-9L3/PVM-9L2



1 Alloggiamento opzionale

È possibile installare in questo alloggiamento una scheda opzionale per l'espansione della capacità di ingresso. Due schede installate contemporaneamente non funzionano.

Per informazioni sull'installazione della scheda, fare riferimento al manuale dell'utente in dotazione con la scheda opzionale.

2 Presa AC IN

Collegare il cavo di alimentazione CA alla presa, quindi alla presa di rete.

3 Connettori LINE A

Connettori di ingresso di linea per i segnali Y/C separati, video composito e audio e relativi connettori di uscita a circuito aperto.

Premere il tasto LINE A sul pannello di controllo per controllare il segnale immesso mediante tali connettori. Se i segnali vengono immessi sia mediante Y/C IN sia mediante VIDEO IN, viene selezionato il segnale trasmesso a Y/C IN.

Y/C IN/OUT (mini DIN a 4 piedini)

Si tratta dei connettori di ingresso/uscita per i segnali separati Y/C. Collegare questi connettori ai connettori di ingresso/uscita per i segnali separati Y/C di un videoregistratore, una video camera o un altro monitor.

VIDEO IN/OUT (BNC)

Si tratta dei connettori di ingresso/uscita per i segnali video composti. Collegare questi connettori ai connettori di ingresso/uscita per i segnali video di un videoregistratore, una video camera o un altro monitor.

AUDIO IN/OUT (presa fono)

Si tratta dei connettori di ingresso/uscita per i segnali audio. Collegare questi connettori alle prese di ingresso/uscita audio, ad esempio, di un videoregistratore.

4 Connettori LINE B

Connettori di ingresso di linea per i segnali video e audio e relativi connettori di uscita a circuito aperto.

Premere il tasto LINE B sul pannello di controllo per controllare il segnale immesso mediante tali connettori.

VIDEO IN/OUT (BNC)

Si tratta dei connettori di ingresso/uscita per i segnali video composti. Collegare questi connettori ai connettori di ingresso/uscita per i segnali video di un videoregistratore, una video camera o un altro monitor.

AUDIO IN/OUT (presa fono)

Si tratta dei connettori di ingresso/uscita per i segnali audio. Collegare questi connettori alle prese di ingresso/uscita audio, ad esempio, di un videoregistratore.

5 Connettori RGB/COMPONENT (solo per PVM-14L2/PVM-20L2)

Connettori di ingresso del segnale analogico RGB o componente (Y, P_B, P_R) e relativi connettori di uscita a circuito aperto.

Premere il tasto RGB/COMPONENT sul pannello di controllo per controllare il segnale immesso mediante tali connettori.

G/Y, B/P_B, R/P_R IN/OUT (BNC)

Si tratta dei connettori di ingresso/uscita per i segnali analogici RGB e componente (Y, P_B, P_R). A meno che non sia immesso un segnale sincrono esterno, il monitor utilizza il segnale di sincronizzazione presente nel segnale G/Y.

AUDIO IN/OUT (presa fono)

Durante l'uso di un segnale analogico RGB o componente come segnale video, utilizzare queste prese per l'ingresso e l'uscita di un segnale audio. Collegare questi connettori alle prese di ingresso/uscita audio, ad esempio, di un videoregistratore.

6 Connettori EXT SYNC (sincronizzazione esterna)

Premere il tasto EXT SYNC sul pannello di controllo per utilizzare un segnale sincrono esterno.

IN/OUT (BNC)

Si tratta dei connettori di ingresso/uscita per i segnali di sincronizzazione esterni. Consentono di trasmettere al connettore IN un segnale di riferimento creato da un generatore di sincronizzazione. Collegare il connettore OUT al connettore di ingresso del segnale sincrono esterno presente sull'apparecchio con cui si desidera sincronizzare il monitor.

7 Terminale PARALLEL REMOTE (connettore modulare)

Rappresenta un interruttore parallelo per la regolazione esterna del monitor.

Per ulteriori informazioni sull'assegnazione dei piedini e sulle funzioni predefinite assegnate a ciascun piedino, vedere a pagina 97.

8 Connettori di ingresso 1, 2 OPTION AUDIO INPUT

Se nell'alloggiamento opzionale è stata installata una scheda opzionale, immettere un segnale audio in questi connettori. È possibile collegare un massimo di 2 sistemi. Per controllare i segnali audio trasmessi a OPTION AUDIO INPUT 1 o 2, premere il tasto OPTION A o OPTION B.

9 Connettore (XLR) DC 12V IN (solo per PVM-9L3/PVM-9L2)

Collegare l'alimentazione CC a 12 V a questo connettore per l'alimentazione del monitor. Il presente prodotto deve essere alimentato mediante un'unità di alimentazione approvata di "Classe 2" con capacità nominale pari a 12 V CC, 4,2 A.

10 Attacco batteria (solo per PVM-9L3/PVM-9L2)

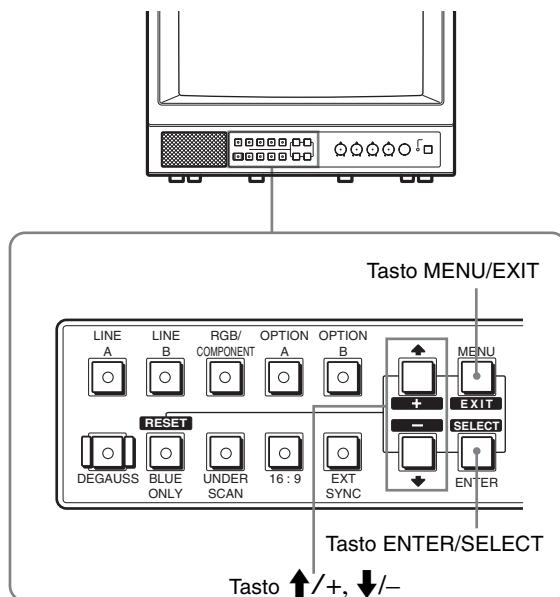
Installare in questo punto la batteria. Per il modello PVM-9L3/PVM-9L2, sono disponibili la batteria agli ioni di litio BP-L60A/BP-L90A o la batteria all'idruro di nichel BP-M50/BP-M100 Sony.

Selezione della lingua dei menu

È possibile selezionare una delle sette lingue (inglese, tedesco, francese, italiano, spagnolo, giapponese e cinese) per la visualizzazione dei menu e dei messaggi a schermo.

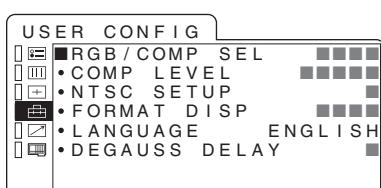
La lingua predefinita è ENGLISH (inglese).

Le impostazioni correnti vengono visualizzate nell'area indicata dai simboli ■ sulle illustrazioni della schermata dei menu.

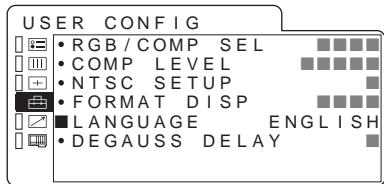


- Premere il tasto MENU/EXIT per visualizzare la schermata dei menu, il tasto ↑/+ o ↓/- per selezionare (USER CONFIG), quindi il tasto ENTER/SELECT.

Viene visualizzato il menu USER CONFIG.



- 2** Premere il tasto $\uparrow/+$ o $\downarrow/-$ per selezionare "LANGUAGE", quindi premere il tasto ENTER/SELECT.
La voce selezionata viene visualizzata in giallo.



- 3** Premere il tasto $\uparrow/+$ o $\downarrow/-$ per selezionare la lingua desiderata, quindi premere il tasto ENTER/SELECT.
La lingua visualizzata cambia in base alla voce selezionata.



Per disattivare il menu

Premere il tasto MENU/EXIT.
Il menu scompare automaticamente se entro un minuto non viene premuto alcun tasto.

Uso del menu

Il monitor è dotato di un menu a schermo per effettuare varie regolazioni e impostazioni quali il controllo dell'immagine, l'impostazione dell'ingresso, la modifica delle impostazioni e così via.

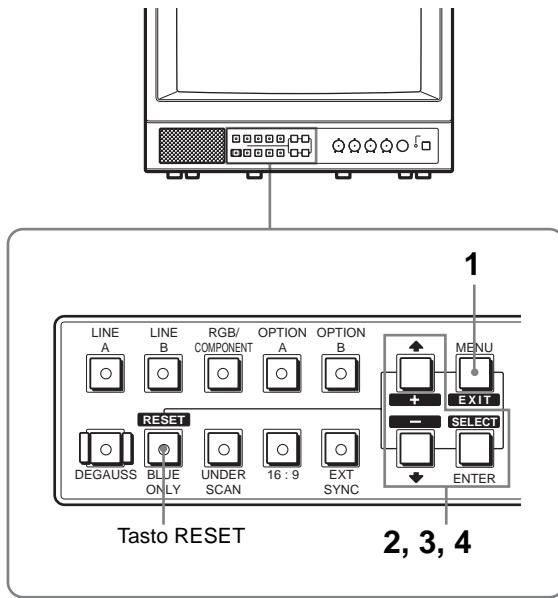
Per modificare regolazioni e impostazioni, attenersi alle istruzioni indicate di seguito.

Per informazioni sulle voci di menu, vedere "Regolazioni mediante i menu" a pagina 91.

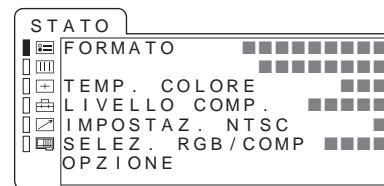
È inoltre possibile modificare la lingua del menu visualizzato a schermo.

Per modificare la lingua del menu, vedere "Selezione della lingua dei menu" a pagina 89.

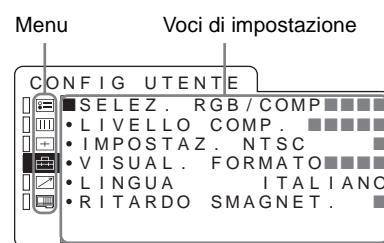
Le impostazioni correnti vengono visualizzate nell'area indicata dai simboli ■ sulle illustrazioni della schermata dei menu.



- 1** Premere il tasto MENU/EXIT.
Il menu viene visualizzato.
Il menu correntemente selezionato viene indicato da un tasto giallo.



- 2** Premere il tasto $\uparrow/+$ o $\downarrow/-$ per selezionare un menu, quindi premere il tasto ENTER/SELECT.
L'icona del menu correntemente selezionato è visualizzata in giallo e vengono visualizzate le voci di impostazione disponibili.



- 3** Premere il tasto $\uparrow/+$ o $\downarrow/-$ per selezionare la voce desiderata, quindi premere il tasto ENTER/SELECT.
La voce da modificare viene visualizzata in giallo.

Nota

Se il menu contiene più pagine, premere il tasto $\uparrow/+$ o $\downarrow/-$ per passare alla pagina desiderata.

- 4** Effettuare l'impostazione o la regolazione di una voce.

Quando si modifica il livello di regolazione:
Per aumentare il numero, premere il tasto \uparrow/\pm .
Per diminuire il numero, premere il tasto \downarrow/\pm .
Premere il tasto ENTER/SELECT per confermare il numero, quindi tornare alla schermata originale.

Quando si modifica l'impostazione:
Premere il tasto \uparrow/\pm o \downarrow/\pm per modificare l'impostazione.
Premere il tasto ENTER/SELECT per confermare l'impostazione.

Nota

Non è possibile accedere alle voci visualizzate in blu. È possibile accedere alle voci solo se sono visualizzate in bianco.

Per disattivare il menu

Premere il tasto MENU/EXIT.
Il menu scompare automaticamente se entro un minuto non viene premuto alcun tasto.

Informazioni sulla memoria delle impostazioni

Le impostazioni vengono memorizzate automaticamente nella memoria del monitor.

Per reimpostare le voci che sono state regolate

Premendo il tasto RESET durante la selezione e la regolazione delle voci di menu, le modifiche effettuate vengono ignorate e le impostazioni delle voci stesse vengono riportate sui valori precedenti.

Regolazioni mediante i menu

Voci

Il menu a schermo del presente monitor contiene le voci che seguono.



STATO¹⁾



TEMP. COLORE

REGOL. MANUALE



CONTROLLO UTENTE

COLORE/FASE AUTOM.

COMANDO SECONDARIO



CONFIG UTENTE

SELEZ. RGB/COMP²⁾

LIVELLO COMP.

IMPOSTAZ. NTSC

VISUAL. FORMATO

LINGUA

RITARDO SMAGNET.

SCRITTA³⁾



REMOTO

PIED1

PIED2

PIED3

PIED4

PIED6

PIED7

PIED8



CONFIG. OPZIONI⁴⁾

1) Le voci del menu STATO indicano le impostazioni correnti.

2) solo per PVM-14L2/PVM-20L2

3) SCRITTA è disponibile solo se è stato installato il decodificatore per i sottotitoli (Closed Caption).

4) Le voci del menu CONFIG. OPZIONI variano in base al tipo di scheda opzionale installato.

Regolazione e modifica delle impostazioni

Menu STATO

Il menu STATO consente di visualizzare lo stato corrente del monitor.

Sottomenu	Impostazione
FORMATO	Sola visualizzazione
TEMP. COLORE	Sola visualizzazione
LIVELLO COMP.	Sola visualizzazione
IMPOSTAZ. NTSC	Sola visualizzazione
SELEZ. RGB/COMP	Sola visualizzazione (solo per PVM-14L2/PVM-20L2)
OPZIONE	Sola visualizzazione

Menu TEMP/BILANC. COLORE

Il menu TEMP/BILANC. COLORE consente di regolare il bilanciamento del bianco dell'immagine. Per regolare il bilanciamento del bianco occorre utilizzare uno strumento di misurazione.

Sottomenu	Impostazione
TEMP. COLORE	Selezionare la temperatura di colore tra le impostazioni D65, D93 e UTENTE.
REGOL. MANUALE	<p>Se TEMP. COLORE viene impostato su UTENTE, la voce visualizzata passa dal blu al bianco ed è possibile regolare la temperatura del colore.</p> <ul style="list-style-type: none">• REGOLAZ. GUADAGNO...: consente di regolare il bilanciamento del colore (GAIN).• REGOLAZ. BIAS...: consente di regolare il bilanciamento del colore (BIAS).• COPIA DA: selezionando D65 o D93 mediante il tasto  o , i dati del bilanciamento del bianco relativi alla temperatura di colore selezionata verranno copiati in UTENTE.

Menu CONTROLLO UTENTE

Il menu CONTROLLO UTENTE consente di regolare l'immagine. Le voci non regolabili a seconda del segnale di ingresso sono visualizzate in blu.

Sottomenu	Impostazione
COLORE/FASE	Consente di regolare l'intensità (CHROMA) e le tonalità (PHASE) del colore.
AUTOM.	<ul style="list-style-type: none">• VAL. REGOL AUTO: consente di impostare i valori di colore e fase in base alla regolazione automatica o alle impostazioni predefinite.<ul style="list-style-type: none">ON: l'impostazione avviene in base alla regolazione automaticaOFF: l'impostazione avviene in base alle impostazioni predefinite• AVVIO: consente di visualizzare sullo schermo i segnali della barra di colore (pieno/ SMPTE/EIA). Per selezionare il valore desiderato, premere il tasto ENTER/SELECT. Viene attivata la funzione di regolazione automatica. Una volta effettuata la regolazione, VAL. REGOL AUTO viene automaticamente impostato su ON. Premere il tasto MENU/EXIT per uscire dalla schermata di regolazione.

Nota

Se sono state selezionate le barre di colore complete, inserire otto barre di colore.

Sottomenu	Impostazione
COMANDO SECONDARIO	<p>È possibile regolare accuratamente sul pannello di controllo la gamma di regolazione dei comandi relativi a CONTRAST, PHASE, CHROMA e BRIGHT.</p> <ul style="list-style-type: none"> • ADJUST...: consente di regolare le voci che seguono. CONTRASTO...: consente di regolare il contrasto dell'immagine. LUMINOSITÀ ...: consente di regolare la luminosità dell'immagine. COLORE...: consente di regolare l'intensità del colore. Maggiore è il valore dell'impostazione, superiore è l'intensità. Minore è il valore dell'impostazione, inferiore è l'intensità. FASE...: consente di regolare i toni del colore. Aumentando il valore dell'impostazione, l'immagine diventa più verdastra. Diminuendo il valore dell'impostazione, l'immagine diventa più violacea. APERTURA...: consente di regolare la nitidezza dell'immagine. Maggiore è il valore dell'impostazione, superiore è la nitidezza dell'immagine.

Menu CONFIG UTENTE

Il menu CONFIG UTENTE consente di selezionare la lingua dei menu e dei messaggi a schermo o di indicare il tipo di segnale video accettabile dai connettori RGB/COMPONENT (analogico RGB o componente analogico).

Sottomenu	Impostazione
SELEZ. RGB/COMP (solo per PVM-14L2/PVM-20L2)	In base al tipo di segnale video che si desidera trasmettere ai connettori RGB/COMPONENT, selezionare RGB o COMPONENT.
LIVELLO COMP.	Selezionare il livello del componente tra i tre modi disponibili. SMPTE: segnale 100/0/100/0 BETA 7.5: segnale 100/7.5/75/7.5 BETA 0: segnale 100/0/75/0

Sottomenu	Impostazione
IMPOSTAZ. NTSC	<p>Selezionare il livello di impostazione NTSC tra i due modi disponibili.</p> <p>Il livello di impostazione 7.5 è utilizzato soprattutto nell'America Settentrionale. Il livello di impostazione 0 è utilizzato soprattutto in Giappone.</p>
VISUAL. FORMATO	<p>Consente di attivare o meno la visualizzazione sullo schermo del formato del segnale di ingresso.</p> <p>ON: il formato è sempre visualizzato.</p> <p>OFF: il formato non viene visualizzato.</p> <p>AUTO: il formato viene visualizzato per circa 10 secondi a partire dall'inizio della trasmissione del segnale.</p>
LINGUA	<p>È possibile selezionare la lingua dei menu o dei messaggi a schermo scegliendo una delle opzioni seguenti</p> <p>日本語: giapponese ENGLISH: inglese DEUTSCH: tedesco FRANÇAIS: francese ITALIANO: italiano ESPAÑOL: spagnolo 中文: cinese</p>
RITARDO SMAGNET.	Consente di impostare il ritardo di attivazione della smagnetizzazione automatica dopo l'accensione dell'apparecchio. Il ritardo può essere impostato tra 0 e 99 secondi.
SCRITTA	<p>Consente di selezionare il modo di visualizzazione dei sottotitoli tra le opzioni che seguono:</p> <p>OFF, SCRITTA 1, SCRITTA 2, TESTO 1 e TESTO 2.</p>

Menu REMOTO

Il menu REMOTO consente di assegnare le funzioni ai piedini del terminale PARALLEL REMOTE.

È possibile utilizzare i piedini da 1 a 4 e da 6 a 8. Di seguito vengono elencate le funzioni assegnabili ai piedini.

- -- (nessuna funzione assegnata)
- LINEA A
- LINEA B
- RGB/COMP (solo per PVM-14L2/PVM-20L2)
- OPZIONE A
- OPZIONE B
- CONTROLLO
- SOTTOSCANSIONE
- 16:9
- SINC. EST
- SOLO BLUE
- SMAGNETIZZ.

Nota

Se viene utilizzata la funzione remota parallela, occorre eseguire il collegamento dei cavi.

Per ulteriori informazioni, vedere a pagina 97.

■ Menu CONFIG. OPZIONI

Il menu CONFIG. OPZIONI consente di impostare la scheda opzionale installata nell'alloggiamento opzionale del pannello posteriore. A seconda della scheda installata, quanto visualizzato potrebbe variare. Se non è stata installata alcuna scheda, le impostazioni della voce non vengono visualizzate. Dopo avere assegnato il segnale di ingresso, accertarsi di regolare i valori COLORE/FASE AUTOM. del monitor.

Se viene installata la scheda opzionale BKM-150CP:

Sottomenu	Impostazione
FORMATO	Consente di impostare il tipo di segnale. Selezionare SDTI-CP o D1-SDI.
CAN. AUDIO	Consente di selezionare un canale audio. D1-SDI Selezionare un valore compreso tra CH1+CH2 e CH15+CH16, o CH1 e CH16. SDTI-CP Selezionare un valore compreso tra CH1+CH2 e CH7+CH8, o CH1 e CH8. Il segnale audio trasmesso alla presa 1/2 OPTION AUDIO INPUT viene ignorato.
TIME CODE	Consente di impostare la visualizzazione del codice temporale. D1-SDI Selezionare VITC, RP188 o OFF. SDTI-CP Selezionare VITC, CP-TC1, CP-TC2, ES-TC1, ES-TC2 o OFF.

Di seguito vengono elencate le abbreviazioni utilizzate nei menu e i relativi nomi per esteso:

- CP-TC1: SMPTE 331M voce di sistema USER DATE/TIME STAMP
- CP-TC2: SMPTE 331M voce di sistema CREATION DATE/ TIME STAMP
- ES-TC1: SMPTE 328M MPEG ES informazioni di editing TIME CODE1
- ES-TC2: SMPTE 328M MPEG ES informazioni di editing TIME CODE2
- RP188: SMPTE RP188 codice temporale
- VITC: SMPTE 12M VITC, SMPTE 266M D-VITC

Se viene installata la scheda opzionale BKM-155DV:

Sottomenu	Impostazione
CAN. AUDIO	Per selezionare un canale audio. Scegliere fra CH1+CH2, CH3+CH4, CH1/3, CH2/4, CH1/3+CH2/4, o CH1 fino a CH4. Il segnale audio trasmesso alla presa 1/2 OPTION AUDIO INPUT viene ignorato.

Se viene installata la scheda opzionale BKM-120D o BKM-129X:

Il numero di serie della scheda viene visualizzato nel menu CONFIG. OPZIONI.

Se la ventola di raffreddamento nell'unità BKM-150CP o nell'unità BKM-155DV si arresta, sullo schermo viene visualizzato il seguente messaggio di errore in rosso "ERRORE VENTOLA BKM-xxxxx". In questo caso, non è possibile selezionare Opzione A o Optione B.

Guida alla soluzione dei problemi

Questa sezione contiene informazioni utili per individuare la causa di un problema evitando la necessità di assistenza tecnica.

- **Viene visualizzato lo schermo verde o viola. →**
Selezionare l'ingresso appropriato premendo uno dei tasti correlati all'ingresso.
- **Il segnale trasmesso mediante i connettori di ingresso RGB/COMPONENT non viene visualizzato sullo schermo (solo per PVM-14L2/PVM-20L2). →** Eseguire l'impostazione corretta di SELEZ. RGB/COMP nel menu CONFIG UTENTE in base al tipo di segnale immesso.
- **È stata installata l'unità BKM-150CP o l'unità BKM-155DV. Viene visualizzato il messaggio di errore "ERRORE VENTOLA BKM-xxxxx" e non è possibile selezionare Opzione A o Opzione B. →** Riparare l'unità BKM-xxxxx.

Caratteristiche tecniche

Generali

PVM-9L3/PVM-9L2

Tubo a raggi catodici:

HR Trinitron, materiale luminescente
P22 (PVM-9L3)
Trinitron, materiale luminescente P22
(PVM-9L2)

Alimentazione: CA da 100 a 240 V, 50/60 Hz

Consumo: massimo 58 W, da 0,6 a 0,3 A (se è installata la scheda opzionale BKM-150CP) 12 V CC, 4,2 A, 48 W
standard: 47 W, da 0,5 a 0,25 A (senza scheda opzionale) 12 V CC, 3,3 A, 38 W

Corrente di entrata di picco:

(1) Alimentazione attivata, metodo di verifica della corrente: 70 A (240 V)
(2) Corrente di entrata con commutazione a caldo, misurata in base allo standard europeo EN55103-1: 12 A (230 V)

Dimensioni (massime):

circa 217 × 218 × 373 mm (l/a/p)

Peso: circa 8,0 kg

PVM-14L2

Tubo a raggi catodici: Trinitron, materiale luminescente P22

Alimentazione: CA da 100 a 240 V, 50/60 Hz

Consumo: massimo 85 W, da 0,9 a 0,4 A (se è installata la scheda opzionale BKM-150CP)
standard: 75 W, da 0,8 a 0,35 A (senza scheda opzionale)

Corrente di entrata di picco:

(1) Alimentazione attivata, metodo di verifica della corrente: 53 A (240 V)
(2) Corrente di entrata con commutazione a caldo, misurata in base allo standard europeo EN55103-1: 35 A (230 V)

Dimensioni (massime):

circa 346 × 340 × 430 mm (l/a/p)

Peso: circa 18,0 kg

PVM-20L2

Tubo a raggi catodici: Trinitron, materiale luminescente P22

Alimentazione: CA da 100 a 240 V, 50/60 Hz

Consumo: massimo 108 W, da 1,1 a 0,5 A (se è installata la scheda opzionale BKM-150CP)

standard: 98 W, da 1,0 a 0,4 A (senza scheda opzionale)

Corrente di entrata di picco:

(1) Alimentazione attivata, metodo di verifica della corrente: 53 A (240 V)
(2) Corrente di entrata con commutazione a caldo, misurata in base allo standard europeo EN55103-1: 35 A (230 V)

Dimensioni (massime):

circa 453 × 463 × 529 mm (l/a/p)

Peso: circa 33,0 kg

Connettori ingresso/uscita

Ingresso

Connettori di ingresso LINE A

Ingresso Y/C mini-DIN a 4 piedini (1)

Ingresso VIDEO

Tipo BNC (1) 1 Vp-p +3 dB -6 dB
sincronizzazione negativa

Ingresso AUDIO

Presa fono (1) -5 dBu 47 kΩ o
superiore

Connettori di ingresso LINE B

Ingresso VIDEO

Tipo BNC (1) 1 Vp-p +3 dB -6 dB
sincronizzazione negativa

Ingresso AUDIO

Presa fono (1) -5 dBu 47 kΩ o
superiore

Connettori di ingresso RGB/componente

Tipo BNC (3) (solo per PVM-14L2/
PVM-20L2)

Ingresso RGB 0,7 Vp-p +3 dB -6 dB
(sincronizzazione su verde, 0,3 Vp-p sincronizzazione negativa)

Ingresso componente

0,7 Vp-p +3 dB -6 dB (segnale barra di colore standard crominanza 75%)

Ingresso AUDIO

Presa fono (1) -5 dBu 47 kΩ o
superiore

Connettore di ingresso sincronizzato esternamente

Tipo BNC (1) da 0,3 a 8 Vp-p
± ternario bipolarità o binario
polarità negativa

Prese di ingresso AUDIO opzionali

Presa fono (2) -5 dBu 47 kΩ o
superiore

Terminale ingresso remoto

Remoto parallelo

Connettore modulare a 8 piedini (1)

Uscita

Connettori di uscita LINE A

Uscita Y/C mini-DIN a 4 piedini (1) a circuito aperto, con funzione terminale automatica $75\ \Omega$

Uscita VIDEO

Tipo BNC (1) a circuito aperto, con funzione terminale automatica $75\ \Omega$

Uscita AUDIO

Presa fono (1) a circuito aperto

Connettori di uscita LINE B

Uscita VIDEO

Tipo BNC (1) a circuito aperto, con funzione terminale automatica $75\ \Omega$

Uscita AUDIO

Presa fono (1) a circuito aperto

Connettori di uscita RGB/componente (solo per PVM-14L2/PVM-20L2)

Uscita RGB/componente

Tipo BNC (3) a circuito aperto, con funzione terminale automatica $75\ \Omega$

Uscita AUDIO

Presa fono (1) a circuito aperto

Connettore di uscita sincronizzato esternamente
Tipo BNC (1) a circuito aperto, con funzione terminale automatica $75\ \Omega$

Uscita diffusore incorporato

0,8 W (monofonica)

Segnale video

Risposta in frequenza

PVM-9L3/PVM-9L2

da 50 Hz a 6 MHz (0 dB/-3 dB)

PVM-14L2/PVM-20L2

da 50 Hz a 10 MHz (0 dB/-3 dB)

Compensazione apertura¹⁾

OFF: 0 dB

ON: da 2 dB a 6 dB

Prestazioni dell'immagine

Scansione normale

sovrascansione 6% dell'area di visualizzazione effettiva del tubo a raggi catodici (PVM-9L3/PVM-9L2)

sovrascansione 7% dell'area di visualizzazione effettiva del tubo a raggi catodici (PVM-14L2/PVM-20L2)

Sottoscansione sottoscansione 5% dell'area di visualizzazione effettiva del tubo a raggi catodici

Linearità

PVM-9L3/PVM-9L2

O: 4% o inferiore

V: 4% o inferiore

PVM-14L2

O: 4% o inferiore

V: 4% o inferiore

PVM-20L2

O: 5% o inferiore

V: 5% o inferiore

Temperatura di colore

D65, D93, UTENTE (temperatura di colore regolabile: da 5000 K a 10000 K)

Errore di convergenza

PVM-9L3/PVM-9L2

Centro: 0,4 mm o inferiore

Periferico: 0,5 mm o inferiore

PVM-14L2

Centro: 0,4 mm o inferiore

Periferico: 0,5 mm o inferiore

PVM-20L2

Centro: 0,5 mm o inferiore

Periferico: 0,7 mm o inferiore

Stabilità dimensione quadro

O: 1,0%

V: 1,0%

Risoluzione (al centro dello schermo)

450 linee TV (PVM-9L3)

250 linee TV (PVM-9L2)

600 linee TV (PVM-14L2/PVM-20L2)

Condizioni di funzionamento

Temperatura da 0 °C a 35 °C

Umidità da 30% a 85% (senza condensa)

Pressione da 700 hPa a 1060 hPa

Condizioni di deposito e trasporto

Temperatura da -10 °C a 40 °C

Umidità da 0% a 90%

Pressione da 700 hPa a 1060 hPa

Accessori in dotazione

Cavo di alimentazione CA (1)

Fermaspina CA (1)

Istruzioni per l'uso (1)

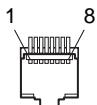
Il modello PVM-9L3/PVM-9L2/PVM-14L2/PVM-20L2 è un monitor video a colori Trinitron per l'uso professionale.

Il design e le caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

1) Nei segnali RGB l'apertura non può essere compensata.

Assegnazione dei piedini

Terminale PARALLEL
REMOTE
Connettore modulare
(8 piedini)



N. piedino	Funzioni
1	Impostazione segnale di ingresso LINE A
2	Impostazione segnale di ingresso LINE B
3	Attivazione o disattivazione spia di controllo
4	Selezione della sottoscansione
5	Terra
6	Attivazione o disattivazione modo solo blu
7	Selezione del rapporto di formato 16:9
8	Selezione della sincronizzazione esterna

Per assegnare le funzioni utilizzare il menu REMOTO.

Collegamenti necessari per l'uso del telecomando

Collegare a terra la funzione che si desidera utilizzare con il telecomando (piedino 5).

警告

为防止火灾或电击的危险，切勿让本机受到雨淋或受潮。

机内有危险的高压电。

请勿擅自打开机壳。维修工作仅请委托专业人员进行。

在发生故障或需要维修时，请与经授权的 SONY 经销商联系。

注意 - 本产品安装在机架内时：

a) 工作环境温度升高

如果将本装置安装在密闭或内置式框架内，框架的工作环境温度可能会比室内温度高。因此，应注意将本装置安装在符合厂家规定的最大额定环境温度（0°C ~ 35°C）的场所。

b) 通风不良

将本机安装在机架内时，必须保持本装置安全工作所需的良好的通风状态。

c) 机械性负载

将本装置安装在机架内时，必须避免处于因不均匀的机械性负载而造成的危险状态。

d) 电路过载

对本装置与电路的连接以及电路过载可能给过电流保护和电源线造成的影响，必须多加注意。

e) 可靠接地

安装在机架内的装置应可靠接地。特别应注意非直接连接至支电路的电源连接。

f) 保持间隙

安装在机架内的装置的上部和下部间隙应保持在 44 mm 以上。

目录

使用前须知	100
关于安全	100
关于安装	100
关于 CRT 表面清洁	100
关于清洁	100
关于重新装箱	100
关于机架上安装	100
特点	100
连接	101
如何连接交流电源线	101
部件及控制器的位置和功能	102
控制面板	102
后面板	103
选择菜单语言	104
使用菜单	105
使用菜单进行调整	106
项目	106
调整和改变设置	106
状态菜单	106
色温／白平衡菜单	106
用户控制菜单	107
用户设定菜单	107
遥控菜单	108
选择卡设定菜单	108
故障排除	109
规格	109
尺寸图	i
如何安装电池 (仅限于 PVM-9L3/PVM-9L2)	封底

CS

中
文

除另有说明外，本手册中的说明适用于以下机型。

机型间的差异将在本手册中有清楚地说明。

- PVM-9L3 (9- 英寸监视器)
- PVM-9L2 (9- 英寸监视器)
- PVM-14L2 (14- 英寸监视器)
- PVM-20L2 (20- 英寸监视器)

除另有说明外，视频监视器的图示均为 PVM-14L2。

使用前须知

关于安全

- 本机仅在“规格”章节指定的电源下使用。
- 标有工作电压、功率消耗等的铭牌位于本机后面板上。
- 万一有异物或液体掉入机中, 请拔下本机的电源插头, 并在请有资格的专业人员检查之后再继续使用。
- 不要让重物掉落或压在电源线上。如果电源线受损, 请立即关掉电源。在电源线受损的情况下使用本机是危险的。
- 如果数日或更长时间不使用本机, 请将电源插头从墙上插座拔下。
- 从交流电源插座拔取电源线时, 请拿住插头拔取, 不可拉扯电线。
- 电源插座应靠近设备安装且应便于插拔。

关于安装

- 保证有适当的空气流动以防止机内温度上升。请勿将本机安放在会堵塞通风孔的表面(如地毯、毛毯等)上或物品(如窗帘、帷幕等)附近。
- 请勿将本机安放在散热器或暖气管等热源附近, 或受阳光直射、极度多尘、机械震动或冲击之处。

关于 CRT 表面清洁

- 用软布清洁 CRT。当 CRT 被油手印弄脏时, 请用蘸上中性洗涤剂的软布进行清洁。
- 切勿使用擦洗剂、碱性肥皂和酒精、稀释剂或挥发性汽油等烈性溶剂, 否则会损坏表面。
- 请勿用硬物摩擦或撞击 CRT 表面。

关于清洁

为使本机看起来常新, 请定期用中性洗涤剂进行清洁。切勿使用稀释剂、挥发性汽油等烈性溶剂或擦洗剂, 否则会损坏机壳。为保证安全, 请在清洁前拔下电源插头。

关于重新装箱

请勿扔掉纸箱和包装材料。它们是搬运本机时的理想包装物。当要把本机装运到其它地方时, 请按纸箱上的图示重新装箱。

关于机架上安装

在监视器上、下应留出 1U 的空间以确保充分的空气流通, 或安装风扇以保持监视器的性能。

若对本机有任何疑问, 请与 Sony 授权经销商联系。

特点

图像

Trinitron¹⁾ 显像管

Trinitron 管提供的图像, 其图像中心的水平清晰度超过 600 电视线(仅限于 PVM-14L2/PVM-20L2)。

梳形滤波器

接收 NTSC 视频信号时, 用梳形滤波器来提高 Y/C 分离的精度。这可减少清晰度下降、串色及交叉亮度的现象。

电子束电流反馈电路

内藏的电子束电流反馈电路保证稳定的白平衡。

两种彩色制式兼容

监视器可以显示 NTSC 和 PAL 信号。可自动选择相应的彩色制式。

输入

模拟 RGB / 分量输入连接器 (仅限于 PVM-14L2/PVM-20L2)

来自视频装置的模拟 RGB 或分量 (Y, P_B, P_R) 信号可以通过这些连接器输入。按下控制面板上的 RGB/COMPONENT 按钮来监视信号。

Y/C 输入连接器 (S 输入连接器)

视频信号(分为色度信号(C)和亮度信号(Y))可以通过此连接器输入, 以消除两个分量信号间的干扰, 确保视频质量。

1) “Trinitron” 是 Sony 公司的注册商标。

可扩展输入能力

通过在后面板上的可选插槽中安装可选板卡（不附带），可以轻松扩展输入能力。扩展输入能力一次只能安装一块板卡。若安装了两块，它们将不工作。

外部同步信号输入

按下控制面板上的 EXT SYNC 按钮，监视器即可由外部同步信号发生器提供的同步信号进行操作。

自动终端（仅限于带有 标记的连接器）

当没有电缆和输出连接器相连时，输入连接器自动接上 75 欧内部终端负载。当有电缆接在输出连接器上时，内部终端负载自动解除，且输入到输入连接器上的信号被输出到输出连接器上（环通）。

功能

自动色度相位功能

自动调整色度和相位。

全蓝方式

在全蓝方式下，显示输入信号的蓝色分量。这有助于色彩饱和相位的调整，以及 VCR 噪声的观察。

欠扫描方式

欠扫描方式中，通常在正常显示区域以外扫描到的行线可见，使您可以监视整个屏幕区域。

注意

监视器处于欠扫描方式时，暗色的 RGB 扫描线可能出现在屏幕的上边缘。这是由内部测试信号引起的。

16:9 方式

除了 4:3 信号外，您还可以精确监视纵横比为 16:9 的信号。

自动／手动去磁

监视器可以在电源接通时自动去磁，也可以通过按下 DEGAUSS 按钮手动去磁。

可以使用菜单预设在电源接通一段时间以后自动去磁的时间。

在屏显示菜单

色温、色度设定及其它设定可以用在屏显示菜单进行设定。

选件

使用 EIA 19- 英寸机架安装托架

监视器可以使用以下安装托架或滑轨安装在 EIA- 标准的 19- 英寸机架上。

PVM-9L3/PVM-9L2:MB-520

PVM-14L2:MB-502B

PVM-20L2:SLR-103A

欲知在机架上安装监视器的详情，请参见用户手册中有关安装托架或滑轨的有关内容。

字幕图像（隐藏字幕）译码器

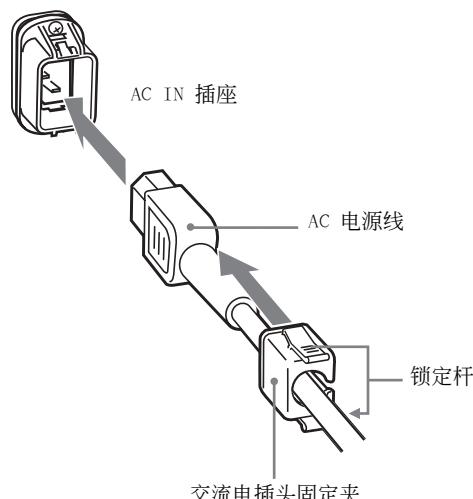
安装选购部件使监视器能对隐藏字幕译码。使用菜单，你可以选择是否显示字幕，并可以选择字幕显示风格。有关这些部件的详情，请与 Sony 经销商联系。

连接

如何连接交流电源线

连接交流电源线

把交流电源线接至 AC IN 插座。然后，将交流电插头固定夹（附带）套在交流电源线上并移动至电源线锁定位置。



拔下交流电源线

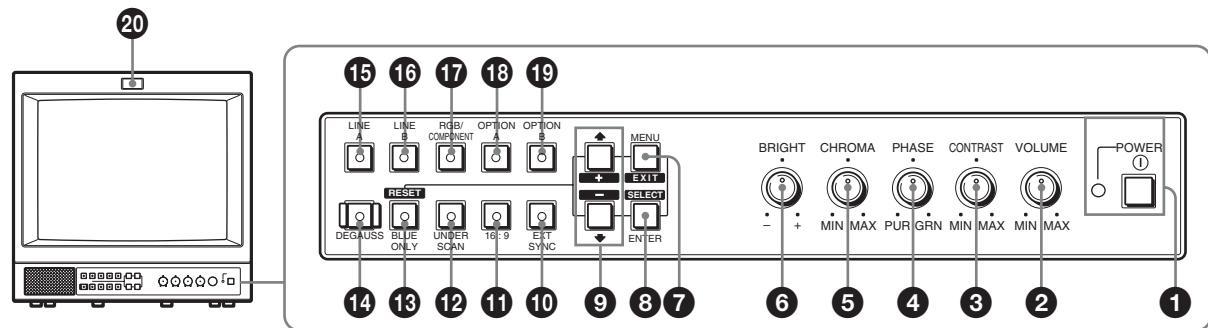
按住锁定杆的同时拉出交流电插头固定夹。

对于 PVM-9L3/PVM-9L2，您可以使用 Sony 锂电池 BP-L60A/BP-L90A，或使用 Sony 镍金属氢化物电池 BP-M50/BP-M100。

欲知电池安装详情，请参见封底上的“如何安装电池”。

部件及控制器的位置和功能

控制面板



① POWER ① 开关

按下此开关以打开监视器。指示灯亮起。再次按则关闭监视器。

② VOLUME (音量) 控制旋钮

③ CONTRAST (对比度) 控制旋钮

④ PHASE (相位) 控制旋钮

注意

使用 PAL 或分量信号时，相位不可调。

⑤ CHROMA (色度) 控制旋钮

⑥ BRIGHT (亮度) 控制旋钮

⑦ MENU/EXIT(菜单／退出) 按钮

按下此按钮显示或隐藏在屏显示菜单。

⑧ ENTER/SELECT(进入／选择) 按钮

按下此按钮以决定菜单上的选择项目。

⑨ ↑/+ (上移光标／调整值) 按钮

↓/- (下移光标／调整值) 按钮

按下这些按钮以移动光标或调整菜单上的选择项目。

⑩ EXT SYNC (外部同步) 按钮和指示灯

按下此按钮可以通过 EXT SYNC 连接器输入的外部同步信号同步操作监视器。

⑪ 16:9 按钮和指示灯

按下此按钮以监视纵横比为 16:9 的信号。

⑫ UNDERSCAN (欠扫描) 按钮和指示灯

按下此按钮进行欠扫描。

显示尺寸减小了约 5%，使图像的四角可见。

⑬ BLUE ONLY/RESET (全蓝／复原) 按钮和指示灯

作为 BLUE ONLY 按钮使用时，按下此按钮以消除输入信号的红色和绿色分量。输入信号中仅蓝色分量显示在屏幕上。这有助于色度和相位的调整，以及 VCR 噪声的观察。(相位调整仅对 NTSC 信号有效。)

作为 RESET 按钮使用时，若新的项目被选择和调整，按下此按钮可以将菜单项目设定恢复到以前的设置。

⑭ DEGAUSS (去磁) 按钮和指示灯

仅按下此按钮一次。屏幕将被去磁。再次使用此按钮前必须等 10 分钟以上。

注意

显示屏幕菜单时，DEGAUSS 按钮无效。

要给监视器手动去磁，请首先按下 MENU/EXIT 按钮退出屏幕菜单。

⑮ LINE A (线路 A) 按钮和指示灯

按下此按钮来监视通过 LINE A 连接器输入的信号。

⑯ LINE B (线路 B) 按钮和指示灯

按下此按钮来监视通过 LINE B 连接器输入的信号。

⑯ RGB/COMPONENT (RGB / 分量) 按钮和指示灯

(仅限于 PVM-14L2/PVM-20L2)

按下此按钮来监视通过 RGB/COMPONENT 连接器输入的信号。

⑰ OPTION A (选择 A) 按钮和指示灯

当可选板卡安装在后面板上的可选插槽中时, 此按钮有效。按下此按钮以监视通过可选板卡输入 1 输入的视频信号和通过 OPTION AUDIO INPUT 1 插孔输入的音频信号。

⑲ OPTION B (选择 B) 按钮和指示灯

当可选板卡安装在后面板上的可选插槽中时, 此按钮有效。按下此按钮以监视通过可选板卡输入 2 输入的视频信号和通过 OPTION AUDIO INPUT 2 插孔输入的音频信号。

(在使用 BKM-129X 或 BKM-155DV 时, 该按钮无效。)

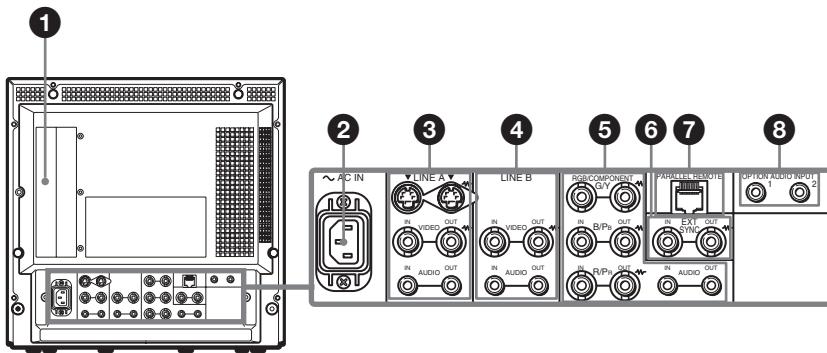
⑳ 演播指示灯

当选择了连接到监视器的摄像机时, 该灯亮起。要使指示灯工作正常, 需进行必要的接线。

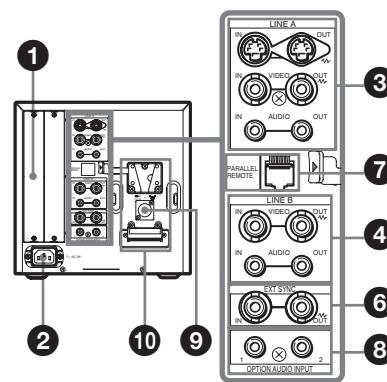
欲知接线详情, 请参见第 110 页。

后面板

PVM-14L2/PVM-20L2



PVM-9L3/PVM-9L2



① 可选插槽

您可以通过在可选插槽中安装可选板卡来扩展输入能力。若安装两块板卡, 它们将不工作。

欲知如何安装板卡, 请参考随可选板卡附带的用户手册。

② AC IN (交流输入) 插座

将附带的交流电源线连接至此插座, 再连接至墙上插座。

③ LINE A (线路 A) 连接器

Y/C 分离、复合视频和音频信号的线路输入连接器, 以及它们的环通输出连接器。

按下控制面板上的 LINE A 按钮来监视通过这些连接器输入的信号。

若信号输入至 Y/C IN 和 VIDEO IN, 则选择输入到 Y/C IN 的信号。

Y/C IN/OUT (Y/C 输入/输出) (4 芯微型 DIN)

这些是 Y/C 分离信号的输入/输出连接器。将它们连接到录像机、摄像机或其它监视器等设备的 Y/C 分离输入/输出连接器上。

VIDEO IN/OUT (视频输入/输出) (BNC)

这些是复合视频信号的输入/输出连接器。将它们连接到设备的复合视频输入/输出连接器上, 如 VCR、摄像机或另一个监视器。

AUDIO IN/OUT (音频输入/输出) (拾音插孔)

这些是音频信号的输入/输出插孔。将它们连接到录像机等设备的音频输入/输出插孔上。

④ LINE B (线路 B) 连接器

复合视频和音频信号的线路输入连接器以及它们的环通输出连接器。

按下控制面板上的 LINE B 按钮以监视通过这些连接器输入的信号。

VIDEO IN/OUT (视频输入/输出) (BNC)

这些是复合视频信号的输入/输出连接器。将它们连接到录像机、摄像机或其它监视器等设备的复合视频输入/输出连接器上。

AUDIO IN/OUT (音频输入/输出) (拾音插孔)

这些是音频信号的输入/输出插孔。将它们连接到录像机等设备的音频输入/输出插孔上。

⑤ RGB/COMPONENT(RGB / 分量) (仅限于 PVM-14L2/PVM-20L2)

模拟 RGB 信号或分量 (Y, P_B, P_R) 信号输入连接器以及它们的环通输出连接器。按下控制面板上的 RGB/COMPONENT 按钮以监视通过这些连接器输入的信号。

G/Y, B/P_B, R/P_R IN/OUT (G/Y, B/P_B, R/P_R 输入/输出) (BNC)

这些都是模拟 RGB 和分量 (Y, P_B, P_R) 信号的输入/输出连接器。除非输入外部同步信号, 否则监视器和 G/Y 信号中所包含的同步信号同步。

AUDIO IN/OUT(音频输入/输出) (拾音插孔)

当将模拟 RGB 或分量信号作为视频信号使用时, 将这些插孔用作音频信号的输入/输出。将它们连接到设备的音频输入/输出插孔上。

⑥ EXT SYNC (外部同步) 连接器

按下控制面板上的 EXT SYNC 按钮以使用外部同步信号。

IN/OUT(输入/输出) (BNC)

这些都是外部同步信号的输入/输出连接器。将由同步发生器产生的基准信号输入到 IN 连接器中。将 OUT 连接器连接到要与监视器同步之设备的外部同步信号输入连接器上。

⑦ PARALLEL REMOTE (并行遥控) 端子 (模块连接器)

形成并行开关, 并从外部控制监视器。

欲知插芯分配和每个插芯的出厂设定功能详情, 请参见第 110 页。

⑧ OPTION AUDIO INPUT (选择音频输入) 1,2 输入连接器

若可选板卡安装在可选插槽中, 输入一个音频信号至这些连接器。您最多可与两个系统相连。要监视输入到 OPTION AUDIO INPUT 1 或 2 中的视频信号, 请按下 OPTION A 或 OPTION B 按钮。

⑨ DC 12V IN 连接器 (XLR) (仅限于 PVM-9L3/PVM-9L2)

将 DC 12 V 电源插入到此连接器上以向监视器供电。

用于本产品供电的外部电源为“2 级”, 额定值 DC 12 V、4.2 A。

⑩ 电池附件 (仅限于 PVM-9L3/PVM-9L2)

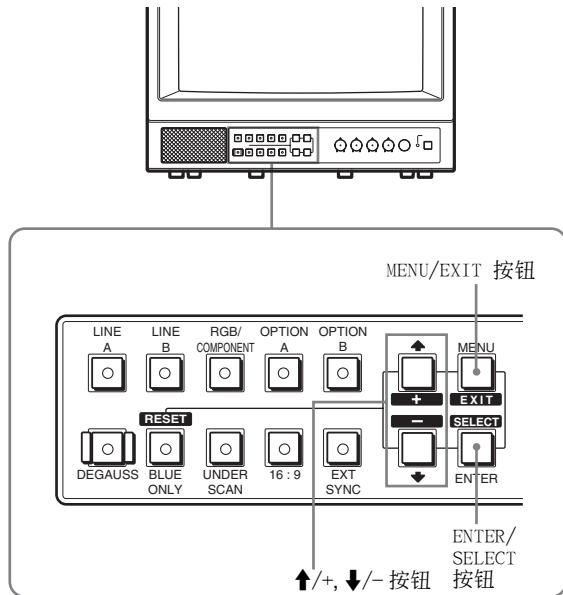
在此安装电池。对于 PVM-9L3/PVM-9L2, 可用 Sony 锂电池 BP-L60A/BP-L90A 或 Sony 镍金属氢化物电池 BP-M50/BP-M100。

选择菜单语言

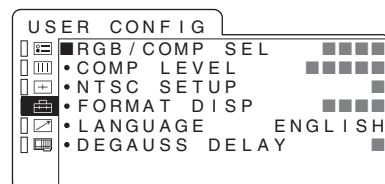
您可以从七种语言 (英语, 德语, 法语, 意大利语, 西班牙语, 日语, 汉语) 中选择一种来显示菜单和其它在屏信息。

出厂预置语言是 ENGLISH (英语)。

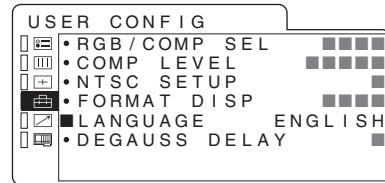
菜单屏幕图上的 ■ 标记表明当前的设置位置。



- 1 按下 MENU/EXIT 按钮来显示菜单屏幕, 按下 $\uparrow/+$ 或 $\downarrow/-$ 按钮来选择 ■ (USER CONFIG), 然后按下 ENTER/SELECT 按钮。USER CONFIG 菜单出现。



- 2 按下 $\uparrow/+$ 或 $\downarrow/-$ 按钮以选择 “LANGUAGE”, 然后按下 ENTER/SELECT 按钮。选中的项以黄色显示。



- 3** 按下 $\uparrow/+$ 或 $\downarrow/-$ 按钮以选择需要的语言，然后按下 ENTER/SELECT 按钮。
在屏显示的语言变为您所选择的语言。



清除菜单

按下 MENU/EXIT 按钮。
若在一分钟内未按下按钮，菜单自动消失。

使用菜单

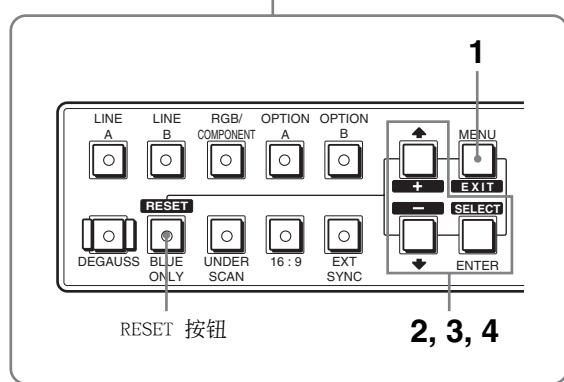
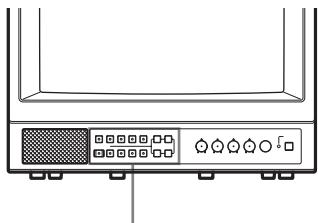
监视器配备在屏显示菜单，以便进行各种调整和设置，如图像控制、输入设置和设定设置变更等。请按下面的指示进行调整或更改设置。

欲知菜单项目详情，请参见第 106 页的“使用菜单进行调整”。

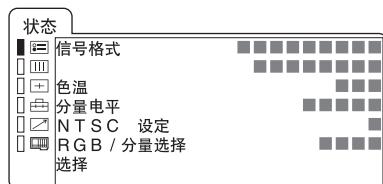
您也可更改在屏显示菜单的菜单语言。

要更改菜单语言，请参见第 104 页的“选择菜单语言”。

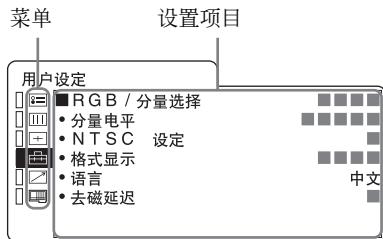
菜单屏幕图上的 ■ 标记表明当前的设置位置。



- 1** 按下 MENU/EXIT 按钮。
菜单出现。
当前选中的菜单以黄色按钮表示。



- 2** 按下 $\uparrow/+$ 或 $\downarrow/-$ 按钮以选择菜单，然后按下 ENTER/SELECT 按钮。
当前所选的菜单图标以黄色表示，并显示可用的设置项目。



- 3** 使用 $\uparrow/+$ 或 $\downarrow/-$ 按钮以选择所需的项目，然后按下 ENTER/SELECT 按钮。
要改变的项目以黄色显示。

注意

若菜单包含多页，请按下 $\uparrow/+$ 或 $\downarrow/-$ 按钮转到所需的菜单页面。

- 4** 在项目中进行设定或调整。

当改变调整等级时：

要增加数字，请按下 $\uparrow/+$ 按钮。

要减小数字，请按下 $\downarrow/-$ 按钮。

按下 ENTER/SELECT 按钮来确认数字，然后恢复初始屏幕。

当改变设置时：

按下 $\uparrow/+$ 或 $\downarrow/-$ 按钮以改变设置。

按下 ENTER/SELECT 按钮来确认设置。

注意

无法选取以蓝色显示的项目。若项目以白色显示，您可以选取它。

要清除菜单

请按下 MENU/EXIT 按钮。
若在一分钟内未按下按钮，菜单自动消失。

关于保存设置

设置自动存储在监视器存储器中。

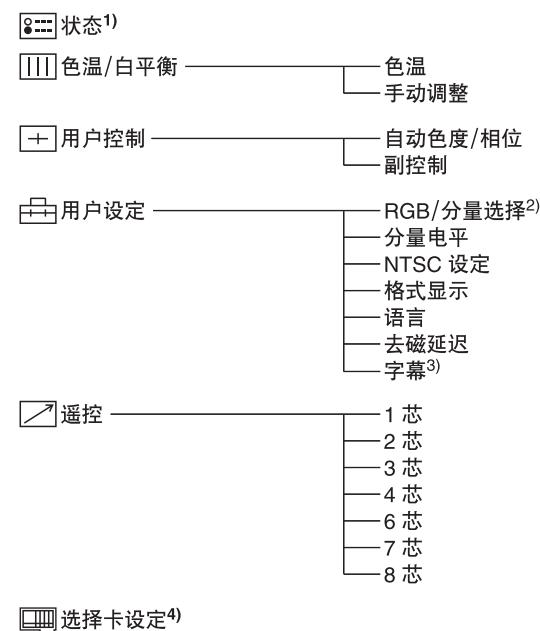
要恢复被调整的项目

在选择和调整新的菜单项目时，按下 RESET 按钮。对此新项目设置的任何改变将被忽视且此项目将恢复至先前的设置。

使用菜单进行调整

项目

此监视器的屏幕菜单包含以下的项目。



1) 状态菜单上的项目表示当前设置。

2) 仅限于 PVM-14L2/PVM-20L2。

3) 字幕仅在安装字幕图像（隐藏字幕）译码器时可用。

4) 选择卡设定菜单上的项目根据所安装的可选板卡而异。

调整和改变设置

状态菜单

状态菜单用于显示监视器的当前状态。

子菜单	设置
信号格式	仅显示
色温	仅显示
分量电平	仅显示
NTSC 设定	仅显示
RGB/ 分量选择	仅显示 (仅限于 PVM-14L2/ PVM-20L2)
选择	仅显示

III 色温／白平衡菜单

色温／白平衡菜单用于调整图像白平衡。

您需要使用测量仪器来调整白平衡。

子菜单	设置
色温	从 D65、D93 和用户设置中选择色温。
手动调整	<p>若将色温设置为用户，显示的项目从蓝色变为白色，这意味着您可以调整色温。</p> <ul style="list-style-type: none">• 调整增益 ... : 调整彩色平衡 (GAIN)。• 调整偏置 ... : 调整彩色平衡 (BIAS)。• 复制 : 若您使用 ↑/+ 或 ↓/- 按钮选择 D65 或 D93，所选色温的白平衡数据将被复制到用户。

用户控制菜单

用户控制菜单用于调整图像。

根据输入信号不能调整的项目以蓝色显示。

子菜单	设置
自动色度／相位	<p>调整色度 (CHROMA) 和色调 (PHASE)。</p> <ul style="list-style-type: none">自动调整值：从自动调整或出厂设定中选择要使用的色度和色调的值。 开：自动调整值 关：出厂设定值开始：在屏幕上显示彩条信号 (Full/SMPTE/EIA)。要选择其中的一个，请按下 ENTER/SELECT 按钮。自动调整功能启动。正确完成调整后，自动调整值将被自动设置到开。按下 MENU/EXIT 按钮以退出调整屏幕。
副控制	<p>您可以精调控制面板上下列控制器的调整范围：CONTRAST、PAHSE、CHROMA 和 BRIGHT 控制器。</p> <ul style="list-style-type: none">调整 ...：调整下列项目。 对比度 ...：调整图像对比度。 亮度 ...：调整图像亮度。 色度 ...：调整彩色亮度。设置越高，浓度越高。设置越低，浓度越低。相位 ...：调整色调。设置越高，图像变得越绿。设置越低，图像变得越紫。光圈 ...：调整图像清晰度。设置越高，图像越清晰。

用户设定菜单

用户设定菜单用于选择菜单和在屏显示信息语言，或决定 RGB/COMPONENT 连接器可接受的视频信号类型 (模拟 RGB 或分量)。

子菜单	设置
RGB／分量 选择 (仅限于 PVM-14L2/ PVM-20L2)	根据您想输入到 RGB/COMPONENT 连接器的视频信号类型，在 RGB 和分量之间进行选择。
分量电平	从下面三个方式中选择分量电平。 SMPTE: 100/0/100/0 信号 BETA 7.5: 100/7.5/75/7.5 信号 BETA 0: 100/0/75/0 信号
NTSC 设定	从下面两个方式选择 NTSC 设定等级。 7.5 设定等级主要用于北美。0 设置等级主要用于日本。
格式显示	决定输入信号格式是否在屏幕上显示。 开：始终显示格式。 关：始终隐藏格式。 自动：当信号开始输入时，格式显示约 10 秒。
语言	您可以从下列的语言选项中选出菜单或信息所需的语言。 日本語：日语 ENGLISH：英语 DEUTSCH：德语 FRANÇAIS：法语 ITALIANO：意大利语 ESPAÑOL：西班牙语 中文
去磁延迟	设置电源打开后自动去磁开始工作的延迟时间。延迟时间可设定在 0 至 99 秒内。
字幕 (字幕仅在安装字幕图像 (隐藏字幕) 译码器时可用)	从下面的选项中选择字幕显示方式： 关，字幕 1，字幕 2，文本 1，文本 2。

■ 遥控菜单

遥控菜单用于将功能分配到 PARALLEL REMOTE 端子的插芯上。可使用芯 1 至芯 4 和芯 6 至芯 8。下面列出了您可以分配给插芯的功能。

- --- (未分配功能。)
- LINE A
- LINE B
- RGB/COMP (仅限于 PVM-14L2/PVM-20L2)
- OPTION A
- OPTION B
- 演播指示灯
- 欠扫描
- 16:9
- 外部同步
- 全蓝
- 去磁

注意

若使用并行遥控功能，您需要连接电缆。

欲知更多详情，请参见第 110 页。

■ 选择卡设定菜单

选择卡设定菜单用于设定安装在后面板上可选插槽中的可选板卡。根据所安装的板卡，所显示的屏幕可能不同。若没有安装板卡，项目设定不显示。分配输入信号后，请务必调整监视器的自动色度／相位。

安装 BKM-150CP 可选板卡时：

子菜单	设置
格式	设置信号类型。 选择 SDTI-CP 或 D1-SDI。
音频	选择一条音频声道。 D1-SDI 从 CH1+CH2 至 CH15+CH16 中选择，或从 CH1 至 CH16 中选择。 SDTI-CP 从 CH1+CH2 至 CH7+CH8 中选择，或从 CH1 至 CH8 中选择。 输入到 OPTION AUDIO INPUT 1/2 插孔的音频信号将被忽略。
时间代码	选择时间代码显示。 D1-SDI 选择 VITC、RP188 或关。 SDTI-CP 选择 VITC、CP-TC1、CP-TC2、ES-TC1、ES-TC2 或关。

下面列出了菜单中的缩略语和它们的全称：

- CP-TC1: SMPTE 331M 系统项目 USER DATE/TIME STAMP
- CP-TC2: SMPTE 331M 系统项目 CREATION DATE/TIME STAMP
- ES-TC1: SMPTE 328M MPEG ES 编辑信息 TIME CODE1
- ES-TC2: SMPTE 328M MPEG ES 编辑信息 TIME CODE2
- RP188: SMPTE RP188 时间码
- VITC: SMPTE 12M VITC, SMPTE 266M D-VITC

安装 BKM-155DV 可选板卡时：

子菜单	设置
音频	选择音频声道。 在 CH1+CH2, CH3+CH4, CH1/3, CH2/4, CH1/3+CH2/4, 或 CH1 至 CH4 中进行选择。 输入到 OPTION AUDIO INPUT 1/2 插孔的音频信号将被忽略。

安装 BKM-120D 或 BKM-129X 可选板卡时： 板卡的序列号在选择卡设定菜单上显示。

如果 BKM-150CP 或 BKM-155DV 装置的冷却风扇停机，则屏幕以红色显示下列信息“BKM-XXXXXX FAN ERROR”(BKM-XXXXXX 风扇故障)。此时，您不能选择 Option A 或 Option B。

故障排除

本章节可以帮助您区分问题的原因，从而减少寻求技术支持的需要。

- **显示色彩为绿色或紫色。** → 通过按下有关输入的某个按钮选择正确的输入。
- **通过 RGB/COMPONENT 输入连接器输入的信号没有在屏幕上出现（仅限于 PVM-14L2/PVM-20L2）。** → 根据输入信号的类型，正确设置用户设定菜单上的 RGB／分量 选择。
- **已安装 BKM-150CP 或 BKM-155DV。显示故障信息“BKM-xxxxx FAN ERROR”（BKM-xxxxx 风扇故障），并且您无法选择 Option A 或 Option B。** → 修理 BKM-xxxxx。

规格

一般

PVM-9L3/PVM-9L2

CRT: HR Trinitron, P22 发光材料 (PVM-9L3)

Trinitron, P22 发光材料 (PVM-9L2)

电源: 100–240 V 交流电源, 50/60 Hz

功率消耗: 最大为 58 W, 0.6 至 0.3 A (安装 BKM-150CP 可选板卡时) 12 V 直流电源, 4.2 A, 48 W

标准: 47 W, 0.5 至 0.25 A (无可选板卡) 12 V 直流电源, 3.3 A, 38 W

起动冲量电流峰值:

(1) 电源开启, 电流检测方式:
70 A (240 V)

(2) 热切换起动冲量电流, 根据欧洲标准 EN55103-1
测量: 12 A (230 V)

尺寸 (最大): 约 217 × 218 × 373 mm (宽/高/深)

重量: 约 8.0 kg

PVM-14L2

CRT: Trinitron, P22 发光材料

100–240 V 交流电源, 50/60 Hz

功率消耗: 最大为 85 W, 0.9 至 0.4 A (安装 BKM-150CP 可选板卡时)

标准: 75 W, 0.8 至 0.35 A (无可选板卡)

起动冲量电流峰值:

(1) 电源开启, 电流检测方式:
53 A (240 V)

(2) 热切换起动冲量电流, 根据欧洲标准 EN55103-1
测量: 35 A (230 V)

尺寸 (最大): 约 346 × 340 × 430 mm (宽/高/深)

重量: 约 18.0 kg

PVM-20L2

CRT: Trinitron, P22 发光材料

100–240 V 交流电源, 50/60 Hz

功率消耗: 最大为 108 W, 1.1 至 0.5 A (安装 BKM-150CP 可选板卡时)

标准: 98 W, 1.0 至 0.4 A (无可选板卡)

起动冲量电流峰值:

(1) 电源开启, 电流检测方式:

53 A (240 V)

(2) 热切换起动冲量电流, 根据欧洲标准 EN55103-1
测量: 35 A (230 V)

尺寸 (最大): 约 453 × 463 × 529 mm (宽/高/深)

重量: 约 33.0 kg

输入/输出连接器

输入

LINE A 输入连接器

Y/C 输入 4 芯微型 DIN (1)

VIDEO 输入

BNC 类型 (1) 1 Vp-p +3 dB -6 dB
负同步

AUDIO 输入

拾音插孔 (1) -5 dBu 47 kΩ 或更高

LINE B 输入连接器

VIDEO 输入

BNC 类型 (1) 1 Vp-p +3 dB -6 dB
负同步

AUDIO 输入

拾音插孔 (1) -5 dBu 47 kΩ 或更高

RGB / 分量输入连接器

BNC 类型 (3) (仅限于 PVM-14L2/
PVM-20L2)

RGB 输入 0.7 Vp-p +3 dB -6 dB (绿色同步,
0.3 Vp-p 负同步)

分量输入 0.7 Vp-p +3 dB -6 dB (75% 色度
的标准彩条信号)

AUDIO 输入

拾音插孔 (1) -5 dBu 47 kΩ 或更高

外部同步输入连接器

BNC 类型 (1) 0.3 至 8 Vp-p ± 三
元双极性或二元负极性

可选的 AUDIO 输入插孔

拾音插孔 (2) -5 dBu 47 kΩ 或更高

遥控输入端子

并行遥控

模块连接器 8 芯 (1)

输出

LINE A 输出连接器

Y/C 输出 4 芯微型 DIN (1) 环通, 75 Ω 自
动终端功能

VIDEO 输出

BNC 类型 (1) 环通, 75 Ω 自动终端
功能

AUDIO 输出

拾音插孔 (1) 环通

LINE B 输出连接器	
VIDEO 输出	BNC 类型 (1) 环通, 75 Ω 自动终端功能
AUDIO 输出	拾音插孔 (1) 环通
RGB / 分量输出连接器 (仅限于 PVM-14L2/PVM-20L2)	
RGB / 分量输出	BNC 类型 (3) 环通, 75 Ω 自动终端功能
AUDIO 输出	拾音插孔 (1) 环通
外部同步输出连接器	BNC 类型 (1) 环通, 75 Ω 自动终端功能
内藏扬声器输出	0.8 W (单声道)

视频信号

频率响应

PVM-9L3/PVM-9L2	50 Hz 至 6 MHz (0 dB/-3 dB)
PVM-14L2/PVM-20L2	50 Hz 至 10 MHz (0 dB/-3 dB)

光圈补偿¹⁾

关: 0 dB
开: 2 dB 至 6 dB

图像性能

正常扫描	CRT 有效屏幕区域的 6% 过扫描 (PVM-9L3/PVM-9L2)
	CRT 有效屏幕区域的 7% 过扫描 (PVM-14L2/PVM-20L2)
欠扫描	CRT 有效屏幕区域的 5% 欠扫描
线性	PVM-9L3/PVM-9L2 水平: 4% 或更小 垂直: 4% 或更小
	PVM-14L2 水平: 4% 或更小 垂直: 4% 或更小
	PVM-20L2 水平: 5% 或更小 垂直: 5% 或更小
色温	D65, D93, 用户 (可调色温: 5000 K 至 10000 K)
会聚误差	PVM-9L3/PVM-9L2 中心区域: 0.4 mm 或更小 外围区域: 0.5 mm 或更小
	PVM-14L2 中心区域: 0.4 mm 或更小 外围区域: 0.5 mm 或更小
	PVM-20L2 中心区域: 0.5 mm 或更小 外围区域: 0.7 mm 或更小

1) RGB 输入信号不能进行光圈补偿。

光栅尺寸稳定性

水平: 1.0%
垂直: 1.0%
分辨率 (屏幕中心区域)
450 电视线 (PVM-9L3)
250 电视线 (PVM-9L2)
600 电视线 (PVM-14L2/PVM-20L2)

工作条件

温度	0°C 至 35°C
湿度	30% 至 85% (无结露)
压力	700 hPa 至 1060 hPa

存储和搬运条件

温度	-10°C 至 40°C
湿度	0% 至 90%
压力	700 hPa 至 1060 hPa

附件

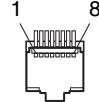
交流电源线 (1)
交流电插头固定夹 (1)
操作说明书 (1)

PVM-9L3/PVM-9L2/PVM-14L2/PVM-20L2 是专业用途的 Trinitron 彩色视频监视器。

设计和规格若有变更,恕不另行通知。

插芯分配

PARALLEL REMOTE 端子
模块连接器 (8 芯)



插芯数目	功能
1	设置输入信号 LINE A
2	设置输入信号 LINE B
3	设置演播指示灯亮或灭
4	选择欠扫描
5	接地
6	设置全蓝方式打开或关闭
7	选择纵横比为 16:9
8	选择外部同步

您可使用遥控菜单分配功能。

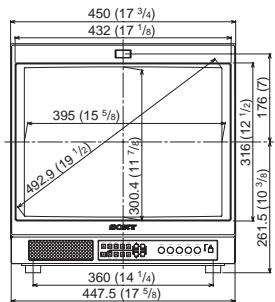
使用遥控所需的配线

将您想通过遥控器使用的功能接地 (插芯 5)。

寸法図 / Dimensions / Dimensions / Abmessungen / Dimensiones / Dimensioni / 尺寸图

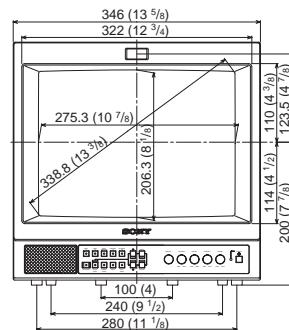
PVM-20L2

前面
Front
Avant
Vorderseite
Frontal
Anteriore
前面

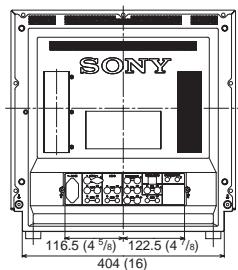


PVM-14L2

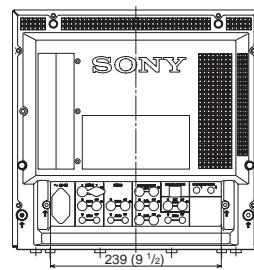
前面
Front
Avant
Vorderseite
Frontal
Anteriore
前面



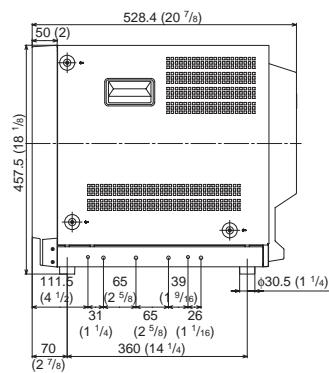
背面
Rear
Arrière
Rückseite
Posterior
Posteriore
后面



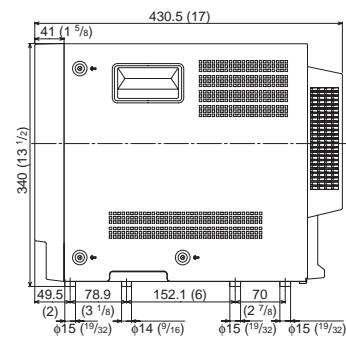
背面
Rear
Arrière
Rückseite
Posterior
Posteriore
后面



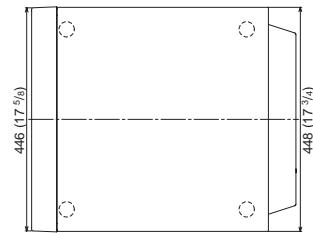
側面
Side
Côté
Seitenansicht
Lado
Laterale
侧面



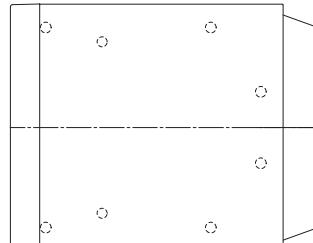
側面
Side
Côté
Seitenansicht
Lado
Laterale
侧面



上面
Top
Partie
supérieure
Draufsicht
Superior
Superiore
上面



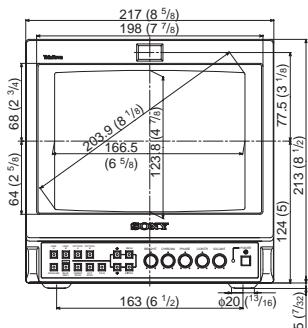
上面
Top
Partie
supérieure
Draufsicht
Superior
Superiore
上面



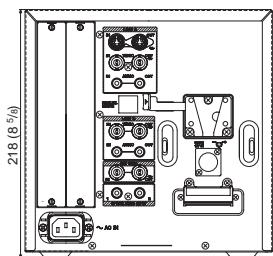
単位 : mm (インチ) / Unit: mm (inches) /
 Appareil : mm (pouce) / Einheit: mm (Zoll) /
 Unidad: mm (pulgadas) / Unità di misura: mm (pollici) /
 単位 : mm (英寸)

PVM-9L3/PVM-9L2

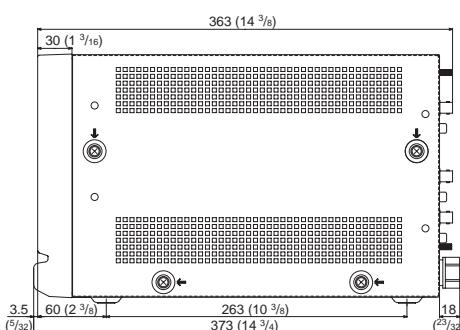
前面
Front
Avant
Vorderseite
Frontal
Anteriore
前面



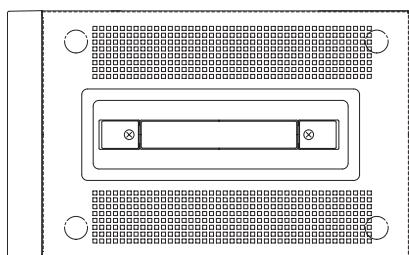
背面
Rear
Arrière
Rückseite
Posterior
Posteriore
后面



側面
Side
Côté
Seitenansicht
Lado
Laterale
侧面



上面
Top
Partie
supérieure
Draufsicht
Superior
Superiore
上面

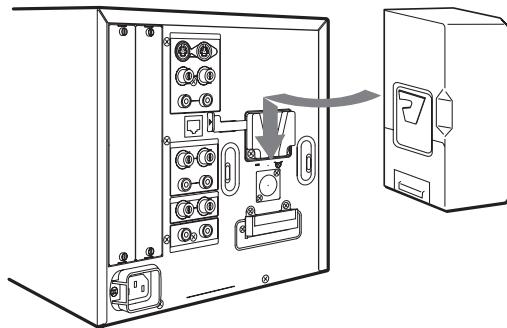


単位 : mm (インチ) / Unit: mm (inches) /
Appareil : mm (pouce) / Einheit: mm (Zoll) /
Unidad: mm (pulgadas) / Unità di misura: mm (pollici) /
单位 : mm (英寸)

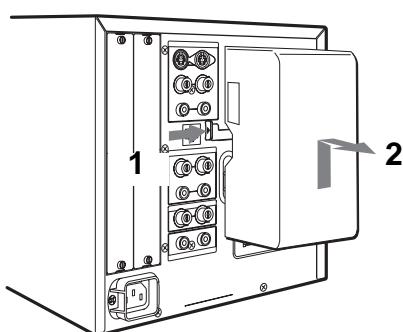
バッテリーの取り付けかた (PVM-9L3 /
PVM-9L2のみ) / How to install the
battery (for the PVM-9L3/PVM-9L2 only) /
Comment insérer la batterie (pour le
PVM-9L3/PVM-9L2 uniquement) /
Anbringen des Akkus (nur für PVM-9L3/
PVM-9L2) / Modo de instalación de la
batería (sólo para PVM-9L3/PVM-9L2) /
Installazione della batteria (solo per
PVM-9L3/PVM-9L2) /

如何安装电池 (仅限于 PVM-9L3/PVM-9L2)

取り付けかた / To install / Insertion / Anbringen / Para
introducirla / Per installare / 安裝



取りはずしかた / To remove / Retrait / Abnehmen / Para
extraerla / Per rimuovere / 卸除



Printed on 100% recycled paper
using VOC (Volatile Organic
Compound)-free vegetable oil based
ink.

<http://www.sony.net/>

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

Sony Corporation Printed in Japan